



AQUOS sense2 SH-01L

取扱説明書 '18.10

はじめに

「SH-01L」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
ご使用の前やご利用中に、本書をお読みいただき、正しくお使いください。

操作方法を確認する

クイックスタートガイド(本体付属品)

各部の名称と機能について説明しています。

取扱説明書(本端末のアプリ)

機能の詳しい案内や操作について説明しています。
ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ▶[取扱説明書]
※ はじめてご利用される際にはアプリをダウンロードする必要があります。

取扱説明書(PDFファイル)

機能の詳しい案内や操作について説明しています。
ドコモのホームページでダウンロード
<https://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/sh01l/index.html>
※ 最新情報がダウンロードできます。なお、URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

- 本書に記載している画面やイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書はホームアプリがdocomo LIVE UX、きせかえの設定が[Champagne Gold]の場合で説明しています。ホームアプリを変更すると、操作手順などが本書の説明と異なる場合があります。
- 本書の本文中においては、「SH-01L」を「本端末」または「端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書ではmicroSDカード、microSDHCカード、microSDXCカードを、「microSDカード」または「microSD」と記載しています。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。

本体付属品



SH-01L本体



クイックスタートガイド



ご利用にあたっての注意事項

- 本端末に対応するオプション品(別売)は、ドコモのオンラインショップでも確認、購入いただけます。
<https://www.mydocomo.com/onlineshop/options/index.html>

目次

本体付属品	1
本端末のご利用について	5
安全上のご注意(必ずお守りください)	6
取り扱い上のご注意	16
防水／防塵性能	22

ご使用前の確認と設定

各部の名称と機能	27
ドコモnanoUIMカード	30
microSDカード	33
充電	35
電源を入れる／切る	37
基本操作	38
文字入力	43
初期設定	50
着信／充電ランプ	50
画面表示／アイコン	51
アプリ使用履歴	57
マルチウィンドウ	58
ホーム切替	59
アプリ初回起動時の確認画面について	59

docomo LIVE UX

ホーム画面の見かた	61
ホーム画面の管理	62

おすすめアプリを利用	69
アプリを探す	69
ホーム画面のバックアップと復元	70
マイマガジン	70
ホームアプリの情報	71

電話

電話をかける	72
電話を受ける	76
通話中の操作	77
発着信履歴	79
通話音声・伝言メモ	80
通話設定／その他	81
電話帳	85

メール／ウェブブラウザ

ドコモメール	92
+メッセージ	92
Eメール	97
Gmail™	101
緊急速報「エリアメール」	104
Chrome	106

カメラ

カメラについて	109
アルバム	118

アプリ

dメニュー	122
dマーケット	122
Play ストア	122
おサイフケータイ	124
GPS／ナビ	128
YouTube	130
時計	130
スケジュール	133
メモ	134
電卓	135
エモパー	135
からだメイト	138
ドコモデータコピー	140

本体設定

設定メニュー	144
ネットワークとインターネット	145
接続済みの端末	150
アプリと通知	151
省エネ&バッテリー	152
ディスプレイ	153
音	155
AQUOS便利機能	156
ストレージ	159
セキュリティと現在地情報	161
ドコモのサービス／クラウド	170
ユーザーとアカウント	170

ユーザー補助	172
Google™	172
システム	173
お困りのときは	177

ファイル管理

ストレージ構成	179
ファイル操作	179

データ通信

Bluetooth®機能	181
NFC通信	185

外部機器接続

パソコンとの接続	187
プリントサービスによる印刷／保存	188
USBホスト機能	188
キャスト	189
VPN(仮想プライベートネットワーク)	190

海外利用

国際ローミング(WORLD WING)の概要	191
海外で利用可能なサービス	191
海外でご利用になる前に	191
海外で利用するための設定	192
滞在先で電話をかける／受ける	194

国際ローミングの設定	195
帰国後の確認	197

付録／索引

トラブルシューティング(FAQ)	198
あんしん遠隔サポート	204
保証とアフターサービス	205
ソフトウェアアップデート	207
主な仕様	210
携帯電話機の比吸収率(SAR)について	213
Specific Absorption Rate (SAR) of Mobile Phones...	214
CAUTION	219
Inquiries	220
輸出管理規制	221
知的財産権について	221
SIMロック解除	225
索引	226

本端末のご利用について

- 本端末は、LTE・W-CDMA・GSM／GPRS・無線LAN方式に対応しています。
- 本端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない場所、屋外でも電波の弱い場所、LTEサービスエリアおよびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしの良い場所であってもご使用にならない場合があります。なお、電波が強く電波状態は[■]を表示している状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 本端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、LTE・W-CDMA・GSM／GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞き取れません。
- 本端末は、音声デジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い場所へ移動するなど、送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身で本端末に登録されたデータは、定期的にメモを取ったり、microSDカードやパソコンなどの外部記録媒体に保管して下さるようお願いいたします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- 本端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリやアクセスしたサイトなどによっては、本端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報や本端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用されたりする可能性があります。このため、ご利用になるアプリやサイトなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上ご利用ください。
- 本端末は、データの同期や最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、アプリのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケットバック／パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- お客様がご利用のアプリやサービスによっては、Wi-Fi通信中であってもパケット通信料が発生する場合があります。
- microSDカードや端末の空き容量が少ない場合、起動中のアプリが正常に動作しなくなることがあります。その場合は保存されているデータを削除してください。
- 本端末は、品質改善や機能の追加のため、オペレーティングシステム(OS)のバージョンアップを行うことがあります。その際、操作方法が変更になったりすることがありますので、機能の追加や操作方法の変更などに関する最新情報は、ドコモのホームページをご確認ください。
- また、古いOSバージョンで使用していたアプリが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。
- 紛失に備え画面ロックのパスワードなどを設定し、本端末のセキュリティを確保してください。

- 万が一紛失した場合は、Gmail、Google Play™などのGoogle サービスやSNSなどを他の人に利用されないように、パソコンより各種サービスアカウントのパスワード変更や認証の無効化を行ってください。
- Google LLCが提供するアプリを含む第三者提供サービスおよびアプリのご利用にあたっては、Googleおよび各提供元が定める利用規約などをご確認ください。当該サービスおよびアプリに起因するすべての不具合について、当社としては一切の責任を負いかねます。
- 利用規約などが表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
- アプリおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- spモード、mopera Uおよびビジネスmoperaインターネット以外のプロバイダはサポートしておりません。
- ご利用の料金など詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。
- ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られていますが、一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在する場合があります。これはディスプレイの特性であり故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 市販のオプション品については、当社では動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。

安全上のご注意(必ずお守りください)

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷(※1)を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷(※1)を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷(※2)を負う可能性が想定される場合および物的損害(※3)の発生が想定される」内容です。

- ※1 重傷：失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。
- ※2 軽傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などを指します。

- ※3 物的損害:家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。

■ 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

 禁止	禁止(してはいけないこと)を示す記号です。	 濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
 分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。	 指示	指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示す記号です。
 水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。	 電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

本端末、アダプタ、ドコモnanoUIMカードの取り扱いについて(共通)

⚠危険



禁止

高温になる場所や熱のこもりやすい場所(火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で使用、保管、放置しないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高圧容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

砂や土、泥をかけたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

防水／防塵性能については以下をご参照ください。
☞ P.22「防水／防塵性能」



禁止

水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)で濡れた状態では、充電しないでください。

また、風呂場などの水に触れる場所では、充電しないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

防水性能については以下をご参照ください。

☞ P.22「防水／防塵性能」



禁止

本端末に強い圧力を加えたり、折損させたりしないでください。特に衣類のポケットに入れて持ち運ぶ場合は、ぶつけたり、物に挟んだりしないでください。内蔵電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

※ ご注意ください例

- ズボンやスカートのポケットに入れた状態で座ったり、しゃがんだりする
- 上着のポケットに入れた状態で、扉や自動車のドアに挟む
- ソファやベッド、布団など柔らかい物の上や、床の上で踏みつける



禁止

本端末の内蔵電池を取り外そうとしないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



分解禁止

分解、改造をしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



水濡れ禁止

水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)で濡らさないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

防水性能については以下をご参照ください。

☞ P.22「防水／防塵性能」



水濡れ禁止

充電端子や外部接続端子に水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)を入れないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

防水性能については以下をご参照ください。

☞ P.22「防水／防塵性能」



指示

オプション品は、NTTドコモが指定したものを使用してください。

指定以外のものを使用すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



警告



禁止

落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物(金属片、鉛筆の芯など)を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。

火災、やけどなどの原因となります。



指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。

過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。

引火性ガスなどが発生する場所で使用すると、爆発や火災などの原因となります。

ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご使用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください。

(NFC／おサイフケータイ ロックを設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください)



指示

使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は次の作業を行ってください。

- 電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜く。
- 本端末の電源を切る。

上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠️ 注意



禁止

破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。パイプレータ設定中は特にご注意ください。

落下して、けがなどの原因となります。



禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。

防水／防塵性能については以下をご参照ください。

☞ P.22「防水／防塵性能」



禁止

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。

けがなどの原因となります。



禁止

乳幼児の手の届く場所に置かないでください。

誤飲、けが、感電などの原因となります。



指示

本端末を継続して使用される場合や充電中は温度が高くなることがありますのでご注意ください。また、衣類のポケットに入れたり、眠ってしまったりするなどして、意図せず継続して触れることがないようにご注意ください。

アプリ、通話、データ通信や動画視聴など、長時間の使用や充電中は、本端末やアダプタの温度が高くなることがあります。温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。

本端末の取り扱いについて

⚠危険



禁止

火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

鋭利なもの(釘など)を刺したり、硬いもの(ハンマーなど)で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

本端末内部の物質が目や口などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

本端末内部の物質などの影響により、失明や体調不良などの原因となります。

⚠警告



禁止

モバイルライトの発光部を人の目に近づけて点灯、発光させないでください。特に、乳幼児に対しては十分に距離を離してください。

視力障害などの原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。



禁止

自動車などの運転者に向けてモバイルライトを点灯、発光しないでください。

運転の妨げとなり、事故などの原因となります。



禁止

点滅を繰り返す画面を長時間見ないでください。
けいれんや意識喪失などの原因となります。



禁止

本端末内のドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイの挿入口に水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)や金属片(カッターの刃やホチキスの針など)、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

また、ドコモnanoUIMカードやmicroSDカードの挿入場所や向きを間違えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

カメラのレンズに直射日光などを長時間当てないでください。

レンズの集光作用により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

航空機へのご搭乗にあたり、本端末の電源を切るか、機内モードに設定してください。

航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。

電波により航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。

なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。



指示

病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。

使用を禁止されている場所では、本端末の電源を切ってください。

電波により電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

ハンズフリーに設定して通話するときや、大きな音で着信音が鳴っているとき、待ち受け中などは、必ず本端末を耳から離してください。

また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや動画・音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。

ハンズフリーに設定して通話すると、本端末から大きな音が出ます。

待ち受け中であっても、突然の着信音やアラーム音が鳴動する場合があります。

大きな音を長時間連続して聞くと、難聴など耳への障害の原因となります。

また、音量が大きすぎると周囲の音が聞こえにくく、事故の原因となります。



指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ(振動)や着信音量の設定に注意してください。

突然の着信バイブレータ(振動)や着信音の鳴動に驚き、心臓に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

電波により医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。



指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。

電波により電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用になる方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。



指示

ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。

破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

内蔵電池が漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。



指示

ペットなどが本端末に噛みつかないようにご注意ください。

内蔵電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

⚠️ 注意



禁止

モーションセンサーや地磁気センサーのご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。けがなどの事故の原因となります。



禁止

ディスプレイを破損し、内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。不要となった本端末は、ドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。



禁止

内蔵電池内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

車種によっては、電波により車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。



指示

本端末の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。

各箇所の材質については以下をご参照ください。

【P.15「材質一覧」】



指示

本端末の受話口／スピーカー部に磁気を発生する部品を使用しているため、金属片(カッターの刃やホチキスの針など)が付着していないことを確認してください。付着物により、けがなどの原因となります。



指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、ある程度の距離をとってください。

暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。

アダプタの取り扱いについて



警告



禁止

アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。
感電などの原因となります。



禁止

コンセントやアクセサリソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

アダプタのコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

ACアダプタに海外旅行用の変圧器(トラベルコンバーター)を使用しないでください。
発火、発熱、感電などの原因となります。



禁止

本端末にアダプタを接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



濡れ手禁止

濡れた手でアダプタのコードや充電端子、電源プラグに触れないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

指定の電源、電圧で使用してください。
また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。

誤った電源、電圧で使用するとう火災、やけど、感電などの原因となります。

ACアダプタ: AC100V(家庭用交流コンセントのみに接続すること)

海外で使用可能なACアダプタ: AC100V~240V(家庭用交流コンセントのみに接続すること)

DCアダプタ: DC12V・24V(マイナスアース車専用)



指示

DCアダプタのヒューズを交換する場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。

指定以外のヒューズを使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。指定のヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。



指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

アダプタをコンセントやアクセサリソケットに差し込むときは、確実に差し込んでください。
確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜く場合は、アダプタのコードを引っ張るなど無理な力を加えず、アダプタを持って抜いてください。アダプタのコードを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

本端末にアダプタを抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

充電端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。充電端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



電源プラグ
を抜く

使用しない場合は、電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜いてください。電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



電源プラグ
を抜く

水などの液体(飲料水、汗、海水、ベットの尿など)が付着した場合は、直ちに電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜いてください。付着物などによるショートにより、火災、やけど、感電などの原因となります。



電源プラグ
を抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜いて行ってください。抜かずに行くと、火災、やけど、感電などの原因となります。

⚠注意



禁止

コンセントやアクセサリソケットにつないだ状態でアダプタに継続して触れないでください。やけどなどの原因となります。

ドコモnanoUIMカードの取り扱いについて

⚠注意



指示

ドコモnanoUIMカードを取り扱う際は指などの体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。切断面が鋭利になっている場合があります、けがなどの原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて



指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末を15cm以上離して携行および使用してください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づくおそれがある場合には、事前に本端末を電波の出ない状態に切り替えてください(機内モードまたは電源オフなど)。

付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医療機関内における本端末の使用については、各医療機関の指示に従ってください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

材質一覧

端末

使用箇所	材質／表面処理
ディスプレイ面	強化ガラス／AFコート
ディスプレイ面の周囲	アルミニウム／塗装、ハードコート
背面	PBT樹脂(ガラス入り)+アルミニウム／塗装、ハードコート
電源キー	アルミニウム／アルマイト処理
音量UP／DOWNキー	アルミニウム／アルマイト処理
指紋センサー	エポキシ樹脂／ハードコート
指紋センサー飾り	ステンレス／蒸着
カメラパネル	強化ガラス／AFコート、ARコート
カメラ飾り	アルミニウム／アルマイト処理
モバイルライト	PC樹脂
受話口／スピーカーメッシュ	PC樹脂
イヤホンマイク端子の周囲(内側側面)	PBT樹脂(ガラス入り)
USB Type-C™接続端子の周囲(内側側面)	PBT樹脂(ガラス入り)
ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイ(外装部)	PC樹脂／塗装
ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイ	POM樹脂
ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイのパッキン	シリコンゴム
IMEIプレート	PET樹脂／ラミネート

取り扱い上のご注意

共通のお願い

- SH-01Lは防水／防塵性能を有しておりますが、本端末内部に水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)や粉塵などの異物を入れたり、オプション品にこれらを付着させたりしないでください。
アダプタ、ドコモnanoUIMカードは防水／防塵性能を有していません。風呂場などの湿気の多い場所や雨などがかかる場所でのご使用はおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となります。修理につきましては、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。
- お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。
 - ・ 強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
 - ・ ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
 - ・ アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 端子や指紋センサーなどは時々清掃し、きれいな状態で使用してください。
端子などが汚れた状態で使用すると、正常にご利用いただけない場合があります。
また、清掃する際には端子などの破損に十分ご注意ください。
- エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

- 本端末に無理な力がかからないように使用してください。
多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、内蔵電池などの故障、破損の原因となります。
また、外部接続機器を外部接続端子に差した状態の場合、故障、破損の原因となります。
- オプション品は、NTTドコモが指定したものを使用してください。
指定以外のものを使用すると、故障、破損の原因となります。
- 対応の各オプション品に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。
- 落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障、破損の原因となります。

本端末についてのお願い

- ディスプレイを強く押したり、先の尖ったもので操作したりしないでください。
傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。
- 極端な高温、低温は避けてください。
温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
風呂場でのご使用については以下をご参照ください。
※ P.22「SH-01Lが有する防水／防塵性能でできること」
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。
- お客様ご自身で本端末に登録されたデータは、microSDカード、パソコン、クラウドなどにバックアップ、別にメモを取るなどして保管してください。
万が一登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- 外部接続端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。
故障、破損の原因となります。
- 使用中や充電中に本端末が温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- カメラのレンズを直射日光の当たる場所に放置しないでください。
素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- 通常はドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイを閉じた状態でご使用ください。
水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)や粉塵などの異物が入り故障の原因となります。
- 指紋センサーに強い衝撃を与えたり、表面に傷をつけたりしないでください。
指紋センサーの故障の原因となるだけでなく、認証操作ができなくなる場合があります。
- microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。
- 磁気カードや磁気を帯びたものを本端末に近づけないでください。
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
また、強い磁気を近づけると本端末の誤動作の原因となります。
- 本端末をフィルムやシールで装飾しないでください。
近接センサーを使用する各種機能が正常に動作しない場合があります。
近接センサーの位置は、以下をご参照ください。
P.27「各部の名称と機能」

- 内蔵電池は消耗品のため、保証対象外です。
内蔵電池の使用条件により、寿命が近づくにつれて内蔵電池が膨れる場合があります。
十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときや、内蔵電池が膨らんでいるときは内蔵電池の交換時期です。内蔵電池の交換につきましては、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。
- 充電は、適正な周囲温度(5℃～35℃)の場所で行ってください。
- 内蔵電池の使用時間は、使用環境や内蔵電池の劣化度により異なります。
- 本端末を保管される場合は、内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となるため、下記のような状態で保管しないでください。
 - ・ フル充電状態(充電完了後すぐの状態)での保管
 - ・ 電池残量なしの状態(本端末の電源が入らない程消費している状態)での保管
 なお、保管に適した電池残量の目安は40パーセント程度です。
- 本端末の内蔵電池の種類は次のとおりです。

表示	電池の種類
Li-ion00	リチウムイオン電池

- 本端末の表面にアルミ材を使用しております。アルミは柔らかい素材のため、打痕・擦り傷が残りがちとなっておりますので、ご注意ください。

アダプタについてのお願い

- 充電は、適正な周囲温度(5℃～35℃)の場所で行ってください。
- 次のような場所では、充電しないでください。
 - ・ 湿気、ほこり、振動の多い場所
 - ・ 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- 充電中にアダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
故障の原因となります。

ドコモnanoUIMカードについてのお願い

- ドコモnanoUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどにドコモnanoUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- IC部分は時々清掃し、きれいな状態で使用してください。
IC部分が汚れた状態で使用すると、正常にご利用いただけない場合があります。
- お手入れは、乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。
- お客様ご自身で、ドコモnanoUIMカードに登録されたデータは、microSDカード、パソコン、クラウドなどにバックアップ、別にメモを取るなどして保管してください。
万が一登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 環境保全のため、不要になったドコモnanoUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
- ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。
- ドコモnanoUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障の原因となります。
- ドコモnanoUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
故障の原因となります。
- ドコモnanoUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けしないでください。
故障の原因となります。

Bluetooth機能を利用する場合のお願い

- 本端末は、Bluetooth機能を利用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を利用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetooth機能を利用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 周波数帯について

本端末のBluetooth機能が利用する周波数帯は、ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ▶[設定]▶[システム]▶[認証]で確認できます。ラベルの見かたは次のとおりです。



⑥

- ① 2.4:2400MHz帯を利用する無線設備を表します。
- ② FH:変調方式がFH-SS方式であることを示します。
- ③ 4:想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
- ④ XX:変調方式がその他の方式であることを示します。
- ⑤ 8:想定される与干渉距離が80m以下であることを示します。
- ⑥ ■■■■■■■■:2400MHz~2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

● Bluetooth機器使用上の注意事項

本端末の利用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで利用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略します)が運用されています。

1. 本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに利用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

無線LAN(WLAN)についてのお願い

- 無線LAN(WLAN)は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されたりする可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、利用することを推奨します。
- 無線LAN機能を利用した通信時にデータや情報の漏洩が発生し、ましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

● 無線LANについて

電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで利用しないでください。

- ・ 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなったりすることがあります(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。
- ・ テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。
- ・ 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを利用していると、正しく検索できない場合があります。

● 周波数帯について

本端末の無線LAN機能が利用する周波数帯は、ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ▶[設定]▶[システム]▶[認証]で確認できます。ラベルの見かたは次のとおりです。



- ① 2.4:2400MHz帯を利用する無線設備を表します。
- ② DS:変調方式がDS-SS方式であることを示します。
- ③ OF:変調方式がOFDM方式であることを示します。
- ④ 4:想定される干渉距離が40m以下であることを示します。
- ⑤ ■■■■ ■■■■ ■■■■ :2400MHz～2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

本端末の無線LANで設定できるチャンネルは1～13です。これ以外のチャンネルのアクセスポイントには接続できませんので、ご注意ください。

利用可能なチャンネルは国により異なります。

航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。

● 2.4GHz機器使用上の注意事項

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

● 5GHz機器使用上の注意事項

5GHzの周波数帯においては、5.2GHz/5.3GHz/5.6GHz帯(W52/W53/W56)の3種類の帯域を利用することができます。

- ・ W52(5.2GHz帯/36、40、44、48ch)
- ・ W53(5.3GHz帯/52、56、60、64ch)
- ・ W56(5.6GHz帯/100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch)

5.2GHz/5.3GHz帯無線LAN(W52/W53)の屋外利用は電波法で禁止されています(5.2GHz帯高出力データ通信システムのアクセスポイント/中継局と通信する場合を除く)。

電波障害自主規制について

- 本製品は、VCCI自主規制措置運用規程に基づく技術基準に適合しており、その適合マークを本製品の電子銘板に表示しています。電子銘板は、本製品で以下の操作を行うことで、ご確認いただくことができます。
ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ▶[設定]▶[システム]▶[認証]

FeliCaおよびNFCリーダー／ライターについて

- 本端末のFeliCaおよびNFCリーダー／ライター、P2P機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を利用しています。
- 使用周波数は13.56MHz帯です。周囲で他のFeliCaおよびNFCリーダー／ライター、P2P機能をご利用の場合、十分に離してお使いください。
また、他の同一周波数帯を利用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。
- 航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。ご利用の国によっては利用が制限されている場合があります。
その国／地域の法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

注意

- 改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法／電気通信事業法に抵触します。
本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「技適マーク」が本端末の電子銘板に表示されております。電子銘板は、本端末で次の手順でご確認いただけます。
ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ▶[設定]▶[システム]▶[認証]
本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- 自動車などを運転中の使用にはご注意ください。
運転中に本端末を手で保持しての使用は罰則の対象となります。ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。
- 本端末のFeliCaおよびNFCリーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。
海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をあらかじめご確認ください。
- 基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。
ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

防水／防塵性能

SH-01Lは、ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイをしっかりと閉じた状態でIPX5※1、IPX8※2の防水性能、IP6X※3の防塵性能を有しています。

- ※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5L/分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、通信機器としての機能を有することを意味します。
- ※2 IPX8とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mのところに携帯電話を静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに通信機器としての機能を有することを意味します。
- ※3 IP6Xとは、保護度合いをさし、直径75μm以下の塵埃(じんあい)が入った装置に携帯電話を8時間入れてかくはんさせ、取り出したときに内部に塵埃が侵入しない機能を有することを意味します。

SH-01Lが有する防水／防塵性能でできること

- 雨の中で傘をささずに通話ができます(1時間の雨量が20mm程度)。
- 汚れを洗い流すことができます。洗うときは、やや弱め的水流(6L/分以下、常温(5℃～35℃)の水道水)で蛇口やシャワーから約10cm離して洗います。ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイが開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。洗ったあとは、水抜きをしてから使用してください(※P.25「水に濡れたときの水抜きについて」)。
- プールサイドで使用できます。ただし、プールの水をかけたり、プールの水に浸けたりしないでください。

- 風呂場で使用できません。
 - 常温の水道水以外の液体(温泉水やせっけん、洗剤、入浴剤の入った水など)を付着させたり、湯船に浸けたりしないでください。故障の原因となります。万が一、水道水以外の液体が付着したり、湯船に落としてしまった場合は、直ちに所定の方法で洗い流してください。
 - 風呂場では、室温は5℃～40℃、湿度は99%以下、使用時間は2時間以内の範囲でご使用ください。
なお、すべての機能の連続動作を保証するものではありません。
 - 水に濡れたあとは、必ず所定の方法(※P.25「水に濡れたときの水抜きについて」)で水抜き・自然乾燥を行ってください。
風呂場での使用後やカメラのレンズ内側などに結露が発生した場合も自然乾燥を行ってください。
- 急激な温度変化は、結露の原因となります。
寒い場所から暖かい風呂場などに本端末を持ち込むときは、本体が常温になってから持ち込んでください。
また、風呂場で暖まった本端末に冷たい水をかけないでください。故障の原因となります。
- 風呂場では絶対に充電を行わないでください。
- 風呂場の構造・環境によっては電波が届かず、通話、データ通信ができない場合があります。
- 濡れた手で操作をする場合、反応しなかったり、誤動作したりする可能性があります。
- 風呂場で、イヤホンや外部接続機器を接続して使用しないでください。

ご利用にあたって

防水／防塵性能を維持するために、必ず次の点を確認してください。

- ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイをしっかりと閉じてください。開閉するときは、ゴムパッキンに無理な力を加えないように注意してください。
- ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイが浮いていないように完全に閉じたことを確認してください。
- 防水／防塵性能を維持するため、ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイはしっかり閉じる構造となっております。無理に開けようとすると爪や指などを傷つける可能性がありますので、ご注意ください。
- ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイの開閉についてはP.31「取り付けかた」

- 防水／防塵性能を維持するため、異常の有無にかかわらず2年に1回、部品の交換をおすすめします。部品の交換は端末をお預かりして有料にて承ります。ドコモ指定の故障取扱窓口にお持ちください。

注意事項

- 手が濡れているときや端末に水滴や異物がついているときには、ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイの開閉はしないでください。
- ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイはしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1つ、微細な繊維など）が挟まると、液体や粉塵が入る原因となります。
- ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切り、ドコモ指定の故障取扱窓口へご連絡ください。
- ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイと本体の接触面のゴムパッキンは防水／防塵性能を維持する上で重要な役割を担っています。はがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。ゴムパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、ドコモ指定の故障取扱窓口へご連絡ください。
- ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイのすき間に、先の尖ったものを差し込まないでください。ゴムパッキンが傷つき、液体や粉塵が入る原因となります。
- 水中で端末を使用（キー操作を含む）しないでください。故障の原因となります。
- 規定以上の強い水流（6L/分を超える）を直接当てないでください。SH-01LはIPX5の防水性能を有しておりますが、故障の原因となります。
- 常温（5℃～35℃）の水以外の液体をかけたり、浸けたりしないでください。常温の水以外の液体をかけたり、浸けたりした場合は、そのまま使用せず、常温の水で洗ってください。
- 洗濯機などで洗わないでください。

- 結露防止のため、寒い場所から暖かい場所へ移動するときは端末が常温になってから持ち込んでください。
- 温泉やせっけん、洗剤、入浴剤の入った水には絶対に浸けないでください。
- 熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風（ドライヤーなど）を当てたりしないでください。
- 海水には浸けないでください。
- 砂／泥の上に直接置かないでください。
- 万が一、塩水や海水、飲料、調味料、食品、泥や土などの異物が付着した場合には、すぐに洗い流してください。
乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、傷や故障の原因となります。
- 濡れたまま放置しないでください。寒冷地で凍結するなど、故障の原因となります。
- 本端末は水に浮きません。
- 落下させないでください。傷の発生などにより防水／防塵性能の劣化を招くことがあります。
- 送話口／マイク、受話口／スピーカー、イヤホンマイク端子に水滴を残さないでください。通話不良となる恐れがあります。
- 送話口／マイク、受話口／スピーカー、USB Type-C接続端子、イヤホンマイク端子などを尖ったものでつつかないでください。
- 端末が水に濡れた状態でイヤホンマイクを挿さないでください。故障の原因となります。
- オプション品は防水／防塵性能を有していません。風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りでは使用しないでください。



せっけん／
洗剤／入浴剤



海水



プール



温泉



砂／泥

- 実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

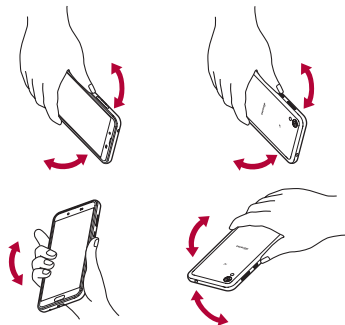
水に濡れたときの水抜きについて

端末を水に濡らした場合、拭き取れなかった水があとから漏れてくる場合がありますので、次の手順で水抜きを行ってください。

- 1 端末表面の水分を乾いた清潔な布などでよく拭き取る



- 2 端末をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振る

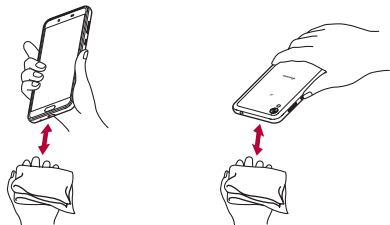


水抜きのため、
送話口／マイクを
下にして振る

水抜きのため、
受話口／スピーカーを
下にして振る

3 送話口／マイク、受話口／スピーカー、キー、USB Type-C接続端子、イヤホンマイク端子などのすき間に溜まった水は、乾いた清潔な布などに端末を軽く押し当てて拭き取る

- 各部の穴に水が溜まっていることがありますので、開口部に布などを当て、軽くたたいて水を出してください。



4 端末から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取り、約3時間自然乾燥させる

- 水を拭き取ったあとに本体内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。
- 水が抜けない場合は音が聞こえづらいことがありますので、再度布などを当て、軽くたたいて水を出してください。

充電のとき

オプション品は防水／防塵性能を有していません。充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。

- 端末に水滴や異物が付着していないか確認してください。異物が付着している場合は、すぐに洗い流してください。また、濡れている場合や水に濡れたあとは、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで拭き取り、自然乾燥させてから充電してください。

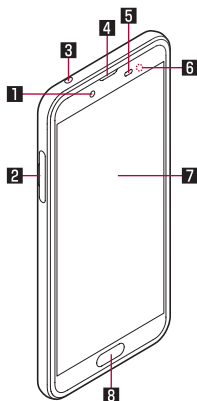
警告

端末に水滴や異物が付着している状態では、Type-Cプラグを絶対に接続しないでください。

- 端末は防水／防塵性能を有しておりますが、ACアダプタ(別売)は防水／防塵性能を有しておりません。濡れたり汚れたりしている状態でType-Cプラグを挿入すると、端末やType-Cプラグに付着した水分や異物などにより、充電ショートによる異常発熱、故障、火災、やけどの原因となります。
- 濡れた手でACアダプタに触れないでください。感電の原因となります。
- ACアダプタは、水のかからない状態で使用してください。風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りで使用しないでください。火災や感電の原因となります。

ご使用前の確認と設定

各部の名称と機能



1 インカメラ

- カメラの利用についてはP.109「カメラについて」

2 ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイ

- ドコモnanoUIMカードについてはP.30「ドコモ nanoUIMカード」
- microSDカードについてはP.33「microSDカード」

3 イヤホンマイク端子

4 受話口／スピーカー

5 近接センサー／明るさセンサー

- 近接センサーは、通話中に顔の接近を感知して、タッチパネルの誤動作を防ぎます。
- 明るさセンサーは、周りの明るさを検知して、バックライトの明るさを調整します。
- センサー部分を手で覆ったり、シールなどを貼らないでください。センサーが正常に動作しないことがあります。

6 着信／充電ランプ

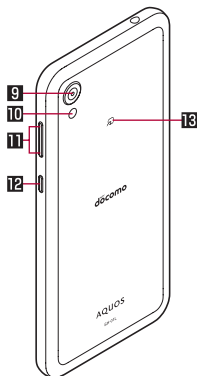
- 着信／充電ランプについてはP.50「着信／充電ランプ」

7 ディスプレイ／タッチパネル

- タッチパネルの操作についてはP.38「タッチパネルの操作」

8 指紋センサー

- 指紋認証による、タッチパネルのロック解除などに利用します。
- 指紋センサーの利用についてはP.166「指紋認証」



9 アウトカメラ

- カメラの利用についてはP.109「カメラについて」

10 モバイルライト／空気抜き穴

- 性能を保つための空気抜き穴部となっています。

11 $\square(+)$ / $\square(-)$: 音量UP / DOWNキー

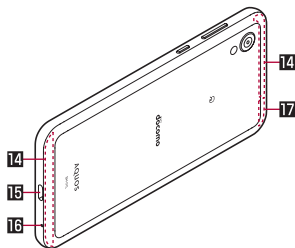
- 各種音量を調節します。

12 $\square$: 電源キー

- 電源が切れているときに3秒以上長押しすると電源を入れることができます。また電源が入っているときに2秒以上長押しすると、「電源を切る」「再起動」「非常用節電モード」のメニューを利用できます。
- ディスプレイの表示／非表示を切り替えます。
- 電源キーの操作についてはP.37「電源を入れる／切る」、非常用節電モードについてはP.42「非常用節電モード」

13 $\hookrightarrow$ マーク

- ICカードが搭載されています(取り外しはできません)。
- $\hookrightarrow$ マークの利用についてはP.124「おサイフケータイ」、P.185「NFC通信」



14 LTE/FOMAアンテナ※

15 USB Type-C接続端子

- 充電時などに使用します。
- 外部機器との接続についてはP.35「充電」、P.187「パソコンとの接続」、P.188「USBホスト機能」

16 送話口／マイク

- 動画撮影時やエモパーに話す際はマイクとして利用します。

17 GPS／Wi-Fi／Bluetoothアンテナ※

※ 背面のアンテナは本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと通信品質に影響をおよぼす場合があります。

- 背面カバーは取り外せません。無理に取り外そうとすると破損や故障の原因となります。
- 本端末の電池は内蔵されており、お客様ご自身では交換できません。

IMEIプレートについて

- ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイの挿入口付近には、IMEI情報（端末識別番号）、CEマークなどを印刷したシールが貼られたプレートが収納されています。修理依頼やアフターサービスなどで、IMEI番号が必要となりますので、プレートを引き出したり、シールをはがしたりしないでください。
IMEIプレート（銘板プレート）の取り扱いに関する注意事項については、「アフターサービスについて」(P.206)をご参照ください。
- IMEIプレートを無理に引き出したり、力を加えたりすると、破損する恐れがありますのでご注意ください。
- IMEIプレートを引き出してしまった場合は、IMEIプレートが奥に入り込みすぎないように、ゆっくりと差し込んでください。

音量UP／DOWNキーについて

- $\text{⏮}(+)$ ／ $\text{⏭}(-)$ を押して音量バーを表示させたあと、次の操作を行うとマナーモードを変更できます。
 - マナーモード解除中に $\text{⏭}(-)$ を押して着信音を「0」にすると「通常マナー」に設定できます。
 - 「通常マナー」に設定中に $\text{⏮}(+)$ を押すとマナーモードを解除できます。
 - 「通常マナー」に設定中に $\text{⏭}(-)$ を押すと「サイレント」に設定できます。
 - 「サイレント」／「アラームのみ」に設定中に $\text{⏮}(+)$ を押すと「通常マナー」に設定できます。
 - 「優先する通知のみ」に設定中に $\text{⏮}(+)$ ／ $\text{⏭}(-)$ を押すと優先する通知の着信音量を変更できます。

受話口／スピーカーについて

- 本端末は受話口とスピーカーを兼用しています。ハンズフリー通話に切り替えたときや通話が終了したときなどは、耳元でスピーカーから大きな音が鳴らないよう、設定した音量まで段階的に上がります。
- スグ電の「応答」機能利用時は、着信音鳴動中のスピーカーに耳を近づけたことを検知し、着信音が適切な音量に変更されます。ただし、耳の接近を検知しない場合など、耳の近くで大きな音が鳴ることがありますので、着信音量は適切に設定してご使用ください。

モバイルライトについて

- モバイルライトを点灯後に長時間使用したり、端末の温度が高くなった場合、モバイルライトが自動的に消灯することがあります。また、端末の温度が高い状態では、モバイルライトが利用できないことがあります。

マイクについて

- マイクを利用する機能を使用する場合は、マイクの穴をふさがないようにしてください。

イヤホンマイクについて

- イヤホンマイクの種類によっては使用できない場合があります。

本端末の強制終了について

- ⏻ (電源キー)を8秒以上押すと、強制的に電源を切ることができます。パイプレータが動作したあとに手を離すと、電源が切れます。強制的に電源を切るため、データや設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。

ドコモnanoUIMカード

ドコモnanoUIMカードは、お客様の電話番号などの情報が記憶されているICカードです。

- ドコモnanoUIMカードを取り付けないと、電話、パケット通信などの機能を利用できません。
- 日本国内では、ドコモnanoUIMカードを取り付けないと緊急通報番号(110番、119番、118番)に発信できません。
- ドコモnanoUIMカードには、PINコードという暗証番号があります(※P.164「PINコード」)。
- 本端末では、ドコモnanoUIMカードのみご利用できます。ドコモminiUIMカード、ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。

ドコモnanoUIMカードの取り付け／取り外しについて

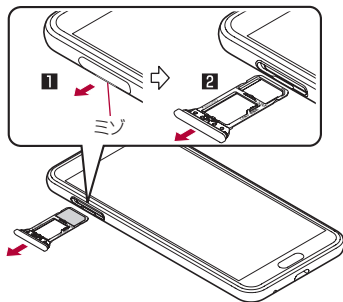
- ドコモnanoUIMカードの取り付け／取り外しは、必ず電源を切ってから行ってください。端末は手でしっかり持ってください。

- ドコモnanoUIMカードの取り付け／取り外しは、ディスプレイ面を上向きに行ってください。

■ 取り付けかた

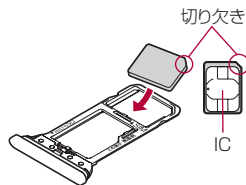
1 ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイを本体から引き出す

- ミゾに指の先をかけて手前に引き出し(1)、ゆっくりと水平に引き出してください(2)。
カードトレイを強く引き出したり、斜めに引き出したりすると、破損の原因となります。



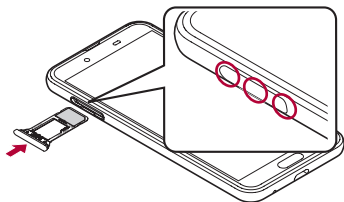
2 ドコモnanoUIMカードのIC面を下向きにして、ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイに取り付ける

- 切り欠きの方向にご注意ください。
- ドコモnanoUIMカードの向きに注意して、確実に取り付けてください。
- ドコモnanoUIMカードは、カードトレイから浮かないように取り付けてください。
浮き上がった状態のまま本体に取り付けると、破損の原因となります。



3 ディスプレイ面を上向きにして、ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイを本体に対してまっすぐ水平に、奥までしっかり差し込む

- ○部分をしっかりと押し、本体とカードトレイにすき間がないことを確認してください。
- カードトレイをゆっくりと差し込んでください。
- カードトレイを裏表逆に差し込まないでください。裏表逆に差し込むと、カードトレイが破損する恐れがあります。
- カードトレイの差し込みが不十分な場合は、防水／防塵性能が損なわれたり、正常に動作しないことがあります。



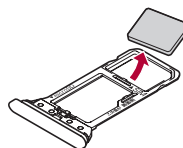
■ 取り外しかた

- ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイの着脱について詳しくは、「取り付けかた」(P.31)をご参照ください。

1 ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイを引き出す

- 引き出すときに、カードがカードトレイから外れて、紛失したりしないように注意してください。

2 ドコモnanoUIMカードをドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイから取り外す



3 ディスプレイ面を上向きにして、ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイを本体に対してまっすぐ水平に、奥までしっかり差し込む

- ドコモnanoUIMカードやmicroSDカードは、直接本体に差し込まないでください。
カードをカードトレイに取り付けたあとで、カードトレイごと本体に差し込んでください。
- ドコモnanoUIMカードやドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイを取り外す際は、落とさないようにご注意ください。
- ディスプレイ面を下向きにしたり、本体を立てた状態でドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイを引き出すと、取り付けられているドコモnanoUIMカードが外れ、紛失する可能性があります。
- ドコモnanoUIMカードを取り扱うときは、I Cに触れたり傷つけたりしないようにご注意ください。また、無理に取り付けようとしたり、取り外そうとするとドコモnanoUIMカードが破損したり、ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイが変形したりする恐れがありますので、ご注意ください。
- ドコモnanoUIMカードの詳しい取り扱いについては、ドコモnanoUIMカードの取扱説明書または、ドコモのホームページを参照してください。
- 取り外したドコモnanoUIMカードは、なくさないようにご注意ください。

microSDカード

端末内のデータをmicroSDカードに保存したり、microSDカード内のデータを端末に取り込んだりすることができます。

- SH-01Lでは市販の2GバイトまでのmicroSDカード、32GバイトまでのmicroSDHCカード、512GバイトまでのmicroSDXCカードに対応しています。また、スピードクラス*は最大クラス10、UHSスピードクラス*はクラス1 (DDR50)まで使用できます(2018年10月現在)。
※ スピードクラスはmicroSDカードの性能であり、スピードクラスの性能のすべての動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。
- microSDカードの情報については、次のサイトをご覧ください。
<http://k-tai.sharp.co.jp/support/d/sh01l/peripherals/microsd.html>
- 端末にmicroSDカードを挿入した直後(端末で使用するための情報を書き込み中)や、microSDカード内のデータ編集時に電源を切らないでください。データが壊れることや正常に動作しなくなることがあります。
 - 初期化されていないmicroSDカードを使うときは、端末で初期化する必要があります(※P.160「microSDカード／USBメモリのフォーマット」)。パソコンなどで初期化したmicroSDカードは、端末では正常に使用できないことがあります。
 - 他の機器からmicroSDカードに保存したデータは、端末で表示、再生できないことがあります。また、端末からmicroSDカードに保存したデータは、他の機器で表示、再生できないことがあります。

- microSDXCカードは、SDXC対応機器でのみご利用いただけます。SDXC非対応の機器にmicroSDXCカードを差し込むと、microSDXCカードに保存されているデータが破損することなどがあるため、差し込まないでください。
- データが破損したmicroSDXCカードを再度利用するためには、SDXC対応機器にてmicroSDXCカードの初期化をする必要があります(データはすべて削除されます)。
- SDXC非対応機器とのデータコピーについては、microSDHCカードもしくはmicroSDカードなど、コピー先／コピー元の機器の規格に準拠したカードをご利用ください。
- microSDカードに保存されたデータはバックアップを取るなどして別に保管してください。万が一、保存されたデータが消失または変化しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

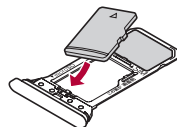
microSDカードの取り付け／取り外しについて

- microSDカードの取り付け／取り外しは、必ず電源を切ってから行ってください。端末は手でしっかり持ってください。
- microSDカードの取り付け／取り外しは、ディスプレイ面を上向きに行ってください。
- ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイの着脱方法や、着脱時の注意事項などは、ドコモnanoUIMカードの取り付け／取り外しと同様です。詳しくは、「ドコモnanoUIMカード」(P.30)をご参照ください。

■ 取り付けかた

- 1 ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイを引き出す
- 2 microSDカードの金属端子面を下向きにして、ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイに取り付ける

- microSDカードの向きに注意して、確実に取り付けてください。
- microSDカードは、カードトレイから浮かないように取り付けてください。
浮き上がった状態のまま本体に取り付けると、破損の原因となります。



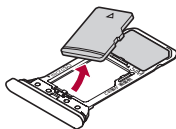
- 3 ディスプレイ面を上向きにして、ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイを本体に対してまっすぐ水平に、奥までしっかり差し込む

■ 取り外しかた

1 ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイを引き出す

- 引き出すときに、カードがカードトレイから外れて、紛失したりしないように注意してください。

2 microSDカードをドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイから取り外す



3 ディスプレイ面を上向きにして、ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイを本体に対してまっすぐ水平に、奥までしっかり差し込む

充電

お買い上げ時は、内蔵電池は十分に充電されていません。必ず充電してからご使用ください。

- 本端末に対応する最新の充電機器は、ドコモのオンラインショップでご確認ください。

<https://www.mydocomo.com/onlineshop/options/index.html>

■ 充電時のご注意

- 充電時間や十分に充電したときの利用可能時間の目安についてはP.210「主な仕様」
- 端末の電源を入れておいても充電できます(充電中は電池マークに[⚡]が重なって表示されます)。
- 電源を入れたまま長時間充電しないでください。充電完了後、端末の電源が入っていると内蔵電池の充電量が減少します。このような場合、ACアダプタ(別売)やDCアダプタ(別売)は再び充電を行います。ただし、ACアダプタやDCアダプタから端末を取り外す時期により、内蔵電池の充電量が少ない、短時間しか使えない、などの現象が起こることがあります。
- 充電完了後でも、端末を長時間放置している場合は電池残量が減少している場合があります。
- 電池が切れた状態で充電開始時に、充電ランプがすぐに点灯しない場合がありますが、充電は始まっています。
- 電池切れの表示がされたあと、電源が入らない場合は、しばらく充電してください。
- 充電中に充電ランプが赤色で点灯していても、電源を入れることができない場合があります。このときは、しばらく充電してから電源を入れてください。

- 電池残量が十分ある状態で、頻繁に充電を繰り返すと、電池の寿命が短くなる場合がありますので、ある程度使用してから（電池残量が減ってからなど）充電することをおすすめします。
- 電池温度が高くなった場合、充電完了前でも自動的に充電を停止する場合があります。充電ができる温度になると自動的に充電を再開します。

■ 内蔵電池の寿命

- 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、内蔵電池の寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。内蔵電池の交換につきましては、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱い窓口までお問い合わせください。
- 充電しながら動画の視聴などを長時間行くと内蔵電池の寿命が短くなることがあります。

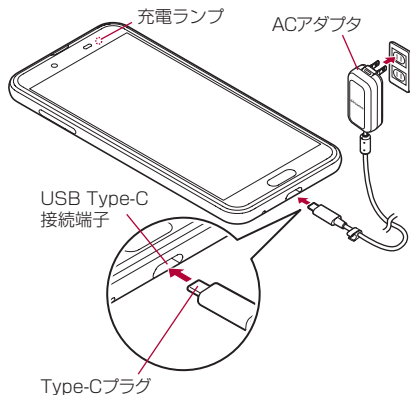


ACアダプタで充電

ACアダプタ 07(別売)を使って充電する場合は、次の操作を行います。

- 1 ACアダプタのType-Cプラグを、端末のUSB Type-C接続端子に水平に差し込む
- 2 ACアダプタの電源プラグを起し、コンセントに差し込む

- 充電ランプが点灯し、充電が開始します。
- フル充電状態になっても、充電ランプは消灯しません。



3 充電が完了したら、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜き、Type-CプラグをUSB Type-C 接続端子から水平に抜く

- 詳しくはACアダプタ 07の取扱説明書をご覧ください。
- ACアダプタ 07は、AC100Vから240Vまで対応しています。
- ACアダプタのプラグ形状はAC100V用(国内仕様)です。AC100Vから240V対応のACアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。
- 無理に差し込んだり抜いたりすると、USB Type-C接続端子やType-Cプラグが破損や故障する場合がありますので、ご注意ください。

DCアダプタで充電

DCアダプタ 05(別売)は、自動車のアクセサリソケット(12V/24V)から充電するための電源を供給するアダプタです。DCアダプタ 05を使用する場合は、USBケーブル A to C 01(別売)が必要です。詳細については、DCアダプタ 05、USBケーブル A to C 01の取扱説明書をご覧ください。

- DCアダプタはマイナスアース車専用です(DC12V・24V両用)。
- 車のエンジンを切ったままで使用しないでください。車のバッテリーを消耗させる場合があります。
- DCアダプタのヒューズは消耗品ですので、交換の際はお近くのカー用品店などで買い求めください。

USBケーブルで充電

端末とパソコンをUSBケーブル A to C 01(別売)などで接続すると、端末を充電することができます。

- パソコンとの接続方法についてはP.187「パソコンとの接続」

電源を入れる／切る

■ 電源を入れる

1 (電源キー)(3秒以上)

- はじめて端末の電源を入れたときに初期設定を行ってください(P.50「初期設定」)。

■ 電源を切る

1 (電源キー)(2秒以上)

2 [電源を切る]

■ ディスプレイの表示／非表示

(電源キー)を押したときや端末を一定時間使用しなかったときは、ディスプレイの表示が消えます。ディスプレイが消えているときに(電源キー)を押すと、ディスプレイが表示されます。

■ タッチパネルのロック

電源を入れたときやディスプレイを表示させたときはタッチパネルがロックされています。

[

- ディスプレイを表示させるたびにタッチパネルのロック画面の画像は、自動的に切り替わります。
自動的に切り替わらないようにするには[ロックフォトシャッフル]をOFFに設定します( P.153「ディスプレイ」)。



タッチパネルのロック画面の操作

- カメラの起動: [- my daizの起動: [- 時計の起動: 時計をタッチ
- 通知詳細情報の表示: 時計を下にドラッグ
- ステータスパネルの表示: ステータスバーを下にドラッグ

- タッチパネルのロック画面には通知が表示されます。通知の表示については P.151「ロック画面の通知」
- エモパーをONにしている場合、時計の下にエモパーがお伝えするさまざまな情報が表示されます。情報によっては2回タッチすると、関連情報や詳細を確認できます。また、[エモパーメモ]がONのときは、タッチパネルのロック画面でエモパーメモが利用できます。
 - エモパーがONの場合、時計をタッチしても「時計」アプリは起動しません。
 - エモパーについては P.135「エモパー」

基本操作

タッチパネルやナビゲーションバーの操作、スクリーンショットの撮影など、端末の基本的な操作について説明します。

タッチパネルの操作

ディスプレイ(タッチパネル)を使用するための操作について説明します。

- 利用中の機能や画面によって操作は異なります。

タッチパネル利用時のご注意

- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先が尖ったもの(爪／ボールペン／ピンなど)を押し付けたりしないでください。
- 次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。

- 手袋をしたままでの操作
- 爪の先での操作
- 異物を操作面に乗せたままでの操作
- 保護シートやシールなどを貼ったままでの操作
- タッチパネルが濡れたままでの操作
- 指が汗や水などで濡れた状態での操作
- 水中での操作

- 確認画面などの表示中に、確認画面やステータスバー以外をタッチすると操作が中止されることがあります。

■ タッチ

画面に表示されるキーや項目に触れて指を離すと、選択・決定を行います。



■ ロングタッチ

利用中の機能や画面によっては、タッチパネルに触れたままにするとメニューが表示されることがあります。

■ スライド(スワイプ)／ドラッグ

タッチパネルに触れたまま指を動かすと、画面をスクロールしたり、アイコンやウィジェットなどを目的の位置まで移動したりできます。

また、メニューや項目に間違えて触れたときにメニューや項目から離れるように指を動かすと、選択を中止できます。



■ フリック

ホーム画面などでタッチパネルをはらうように指を動かすと、ページの切り替えができます。



■ ピンチアウト／ピンチイン

利用中の機能や画面によっては、2本の指でタッチパネルに触れ、2本の指の間を広げる(ピンチアウト)／狭める(ピンチイン)ように指を動かすと、画面の拡大／縮小などができます。



機能利用中の操作

■ ナビゲーションバー

画面下部のナビゲーションバーに表示されるキーを使って基本的な操作を行うことができます。



1 [◀] / [◻]: 戻るキー / 閉じるキー

- 1つ前の画面に戻します。
- キーボードを閉じます。

2 [○]: ホームキー

- ホーム画面を表示します。

3 [□] / [≡]: アプリ使用履歴キー / マルチウィンドウキー

- アプリ使用履歴を表示します (☞ P.57「アプリ使用履歴」)。
- マルチウィンドウ利用中であることを表します (☞ P.58「マルチウィンドウ」)。

■ アシスト機能の利用

アシスト機能に対応したアプリをすばやく起動することができます。

1 [○] をロングタッチ

- 起動するアプリの設定: ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ ▶ [設定] ▶ [アプリと通知] ▶ [詳細設定] ▶ [デフォルトアプリ] ▶ [アシストと音声入力] ▶ [アシストアプリ] ▶ アプリを選ぶ

■ メニューを呼び出す

[⋮] / [≡]などのメニューキーのタッチや画面の左端を右にスライド、画面のロングタッチを行うと、その画面で利用できる機能(メニュー)が表示されます。

例: 電卓画面



■ 設定の切替

設定項目の横にチェックボックスなどが表示されているときは、タッチすることで設定の有効／無効やON／OFFを切り替えることができます。

例：NFC／おサイフケータイ 設定画面、日付と時刻設定画面

● は有効、は無効の状態です。



● はON、はOFFの状態です。



■ 縦／横表示

本端末の傾きに合わせて、自動的に縦画面表示または横画面表示に切り替わります。

- 表示中の画面によっては、端末の向きを変えても、縦／横表示が切り替わらない場合があります。
- 端末が地面に対して水平に近い状態で向きを変えても、縦／横表示は切り替わりません。
- 音やバイブレータが動作しているときは、切り替えが正しく行われない場合があります。
- 画面が点灯した直後や電源を入れた直後は、縦横が正しく表示されない場合があります。
- 自動的に切り替わらないように設定することもできます（[P.153](#)「ディスプレイ」）。また、ステータスパネルから設定できます（[P.54](#)「ステータスパネルの利用」）。
- 縦表示から横表示にした場合、アプリによっては全画面表示されることがあります。

スクリーンショットの撮影

+を1秒以上押すと、表示中の画面を画像として撮影できます。

- 撮影した画像は本体メモリに保存され、アルバムなどで確認することができます。
- Clip Nowを利用してもスクリーンショットを撮影することができます（[P.157](#)「Clip Now」）。

- 電子書籍の表示中などは保存できません。
- アプリによっては全部または一部が保存できない場合があります。

非常用節電モード

端末の設定や機能を制限して内蔵電池の使用時間を長くすることができます。

1 〇(電源キー)(2秒以上) ▶ [非常用節電モード] ▶ [OK]

- 本端末が再起動し、非常用節電モードに切り替わります。

■ 非常用節電モードの解除

1 〇(電源キー)(2秒以上) ▶ [非常用節電モード] ▶ [OK]

- 非常用節電モード画面で[節電解除] ▶ [OK]でも非常用節電モードを解除することができます。
- 本端末が再起動し、非常用節電モードが解除されます。

端末内やサイトの情報の検索

1 ホーム画面で「Google」を選ぶ ▶ [Google]

- 確認画面が表示された場合は内容を確認し、画面の指示に従って操作してください。
- クイック検索ボックスが表示されます。

2 キーワードを入力



1 検索ボックス

- 検索するキーワードを入力します。
- キーワードを入力すると、入力した文字から始まるアプリやデータなどを検索し、一覧表示します。

2 音声検索切替

- マイクに向かって「OK Google」と発声しても音声検索に切り替わります。

3 検索結果を選ぶ

- 検索結果がアプリの場合は対応するアプリが起動します。
- [画像]などが表示された場合は、ジャンルを選択して検索することができます。
- 検索結果にキーボードが重なって表示される場合は[▽]をタッチしてキーボードを閉じてください。

- 検索結果画面などで[≡]が表示されているときに、[≡]をタッチすると検索の設定ができます。

文字入力

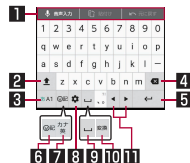
QWERTYキーボードと12キーボードを利用して文字入力をしたり、音声や区点コードで入力したりできます。

- キーボードや入力方式の切り替えについてはP.47「入力方式の切替」
- 文字入力時に画面下部の[]をタッチすると、使用する入力ソフトを設定することができます。ここでは、[S-Shoin]の場合で説明しています。

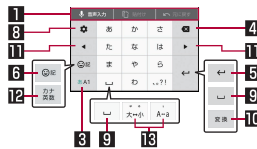
キーボードの見かた

- 次の2種類のキーボードを利用できます。

QWERTY キーボード	文字入力キーをタッチすると表示されている文字を入力できます。ローマ字で文字を入力します。
12キーボード	1つの文字入力キーに複数の文字が割り当てられています。文字入力キーを上下左右にフリックして、文字を入力します。 ● 入力したい文字が表示されるまで文字入力キーをタッチして、文字を入力することもできます。



QWERTYキーボード



12キーボード

※ 各キーは設定や状況に応じて表示が切り替わります。

1 ツールバー

- 文字入力中によく使う機能のボタンを表示します。
 - ・ [音声入力] をタッチすると、音声入力が起動します。
 - ・ [貼付け] をタッチすると、切り取り／コピーした履歴を選択して貼り付けることができます。
 - ・ [元に戻す] をタッチすると、直前に削除した文字を5回分の操作まで戻すことができます。
- [ツールバー] で [貼付け]、[元に戻す] を [幅寄せ]、[QWERTY]／[12キー] に切り替えたり、ツールバーを非表示にすることができます (P.45「表示・キーボード設定」)。
 - ・ [幅寄せ] をタッチすると、12キーボードを左右に幅寄せします。
 - ・ [QWERTY]／[12キー] をタッチすると、QWERTYキーボード／12キーボードを切り替えます。

2 シフトキー

- 大文字／小文字を切り替えるときなどにタッチします。
 - ・ [⇐] が表示されているときは小文字が入力されます。
 - ・ [⇒] が表示されているときは最初に入力する文字が大文字になります。[⇐⇒] が表示されているときは大文字が入力されます。
- 大文字／小文字を切り替えると、キーボードで入力できる記号も変わります。

3 入力モード切替キー

- 入力モードを変更します。
 - ・ タッチすると、半角英字→半角数字→ひらがな漢字の順に、入力モードが切り替わります。右にスライドすると、半角数字→半角英字→ひらがな漢字の順に、入力モードが切り替わります。
 - ・ 上にスライドすると、入力モードを一覧から選択することができます。
 - ひらがな漢字
 - 半角英字
 - 半角数字
 - 全角英字
 - 全角数字
 - 区点コード
 - ・ 各入力モードで設定したキーボードが表示されます。

4 削除キー

- [文字削除キー動作] で設定した方向の文字を消します (P.46「フリック設定・入力補助」)。
- 文字にカーソルが当たっている場合はカーソル位置の文字を消します。

5 エンターキー

- 改行します。
- 入力した文字を確定します。
- 検索ボックスなどの入力欄に入力した内容を実行します。
- 次の入力欄に移動します。
- ロングタッチすると、キーボードを閉じます。

6 記号キー

- 絵文字／デコメ絵文字®／記号／顔文字リストを表示します。
 - ・ アプリによっては、入力できないものがあります。
- 右にスライドすると連携・引用アプリ一覧が表示されます。

7 カナ英キー

- [カナ英数キー表示]を有効に設定した場合に表示されます(☞P.45「表示・キーボード設定」)。
- 入力した文字のカタカナ、タッチしたキーに割り当てられた英字や記号の変換候補(カナ英変換候補)を表示します。
- 右にスライドすると連携・引用アプリ一覧が表示されます。

8 設定キー

- 設定メニューを表示します。

9 スペースキー

- スペースを入力します。

10 変換キー

- 変換候補欄に通常変換候補を表示します。
- 12キーボードで表示するには、あらかじめ[変換キー表示(12キーボード)]を有効にしておいてください(☞P.45「表示・キーボード設定」)。

11 カーソルキー

- カーソルを移動したり、変換する文字の区切りを変更したりできます。

12 カナ英数キー

- [カナ英数キー表示]を有効に設定した場合に表示されます(☞P.45「表示・キーボード設定」)。
- 入力した文字のカタカナ、タッチしたキーに割り当てられた英数字や記号の変換候補(カナ英数変換候補)を表示します。
- 右にスライドすると連携・引用アプリ一覧が表示されます。

13 文字切替キー

- 大文字／小文字を切り替えるときにタッチします。
- 濁点／半濁点を付けるときにタッチします。

文字入力の設定

■ 表示・キーボード設定

1 文字入力画面で[]▶[表示・キーボード設定]

2 項目を選ぶ

- **一括シンプル切替**: 見やすいデザインのキーボードを利用するか設定します。
- **詳細設定**: キーボードのサイズや幅寄せ、変換候補欄の行数、ガイド表示、デザインについて設定します。
幅寄せを設定した場合、12キーボードを利用中に[]／[]をタッチすると、キーボードや変換候補欄などを左右に移動できます。
- **カナ英数キー表示**: カナ英キー／カナ英数キーを表示するか設定します。
- **変換キー表示(12キーボード)**: 12キーボード利用中に変換候補欄に通常変換候補を表示する変換キーを表示するか設定します。
- **数字キー表示(QWERTYキーボード)**: QWERTYキーボード利用中に文字種を半角数字以外に切り替えた場合でも数字キーを表示させるか設定します。
- **ツールバー**: キーボード上部のツールバーを切り替えたり、非表示にするか設定します。
- **絵文字・記号リスト列数**: 絵文字・記号リストの列数を設定します。
- **キー入力ガイド表示**: 選択したキーの拡大表示やフリック入力のガイドを表示するか設定します。

- **ソフトキーボード表示**: Bluetooth機能などで市販のキーボードを接続して文字入力するときに文字入力画面を表示するか設定します。

■ フリック設定・入力補助

1 文字入力画面で[✳]▶[フリック設定・入力補助]

2 項目を選ぶ

- **フリック感度**: フリック入力をするときの文字選択の感度を設定します。
- **ガイドの表示速度**: フリック入力時のガイドの表示速度を設定します。
- **トグル入力**: トグル入力を利用するか設定します。
- **キー操作音**: 文字入力時の操作音の有無を設定します。
- **キー操作バイブ**: 文字入力時にバイブレータを動作させるか設定します。
- **キー操作バイブ時間**: キー操作バイブでバイブレータが動作する時間を設定します。
- **サービス接続先**: 音声入力の接続先を設定します。
- **文字削除キー動作**: 削除キーの動作を設定します。
- **ローマ字キーボード補助**: ローマ字で日本語入力するときに不要なキーをタッチできないように設定します。
- **自動カーソル移動**: 文字入力後にカーソルを自動的に右側に移動させる速度を設定します。
- **絵・記・顔の連続入力**: 絵文字・記号・顔文字リストで候補選択後にリスト表示を維持するか設定します。

[文字削除キー動作]について

- [右側削除(クリア)]に設定した場合、カーソルが文末のときはカーソル左側の文字を消します。

■ 変換機能

1 文字入力画面で[✳]▶[その他の設定]▶[変換機能]

2 項目を選ぶ

- **つながり予測**: 入力確定直後につながり予測候補を表示します。
- **ワイルドカード予測**: ワイルドカード予測を利用するか設定します。
- **ネット変換エンジン**: インターネット上の変換エンジンを利用して変換候補を表示します。
- **自動大文字変換**: 半角英字入力で文頭文字を大文字で入力します。
- **自動スペース入力**: 半角英字入力で英単語を選択したあとと半角スペースを自動的に挿入します。

[自動大文字変換]、[自動スペース入力]について

- 利用中のアプリによっては、設定に従わない場合があります。

■ 辞書

1 文字入力画面で[✳]▶[その他の設定]▶[辞書]

2 項目を選ぶ

- **ユーザー辞書**: ユーザー辞書の単語を編集します。
- **ダウンロード辞書**: ダウンロード辞書の登録/解除/削除をします。
- **ダウンロード辞書を追加**: シャープのサイトに接続し、辞書をダウンロードできます。
- **変換辞書の更新**: 変換辞書の更新やダウンロードをします。

- **電話帳名前データと連携**:電話帳の名前データを辞書に追加／初期化します。

■ スライド切替

1 文字入力画面で[✳]▶[その他の設定]▶[スライド切替]

2 項目を選ぶ

- **上方向スライド**:キーボードを下端から上端までスライドしたときの動作を設定します。
- **下方向スライド**:キーボードを上端から下端までスライドしたときの動作を設定します。
- **右方向スライド**:キーボードを左端から右端までスライドしたときの動作を設定します。
- **左方向スライド**:キーボードを右端から左端までスライドしたときの動作を設定します。

■ 各種リセット

1 文字入力画面で[✳]▶[その他の設定]▶[各種リセット]

2 項目を選ぶ

- **設定リセット**:S-Shoinの設定をリセットします。
- **学習辞書リセット**:学習辞書をリセットします。
- **顔文字リセット**:顔文字リストの内容をリセットします。

■ 入力方式の切替

1 文字入力画面で[✳]▶[入力方式]▶[12キーボード]／[QWERTYキーボード]／[音声入力]

- [✳]を上下、または右にスライドしても切り替えることができます。

文字入力のしかた

例:「文字」と入力するとき

1 文字入力画面で「もじ」と入力

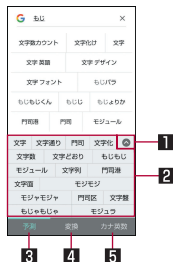


1 拡大

- 変換候補欄を拡大します。

2 変換候補欄

- 変換候補をタッチすると入力できます。



1 縮小

- 変換候補欄を縮小します。

2 変換候補欄

- 変換候補をタッチすると入力できます。
- ネット変換エンジンを設定している場合は[ネット変換]が表示されます。タッチするとインターネット上の変換エンジンを利用した変換候補が表示されます。

3 予測

- 予測候補を表示します。

4 変換

- 変換候補を表示します。
- [◀] / [▶] をタッチすると変換する文字の区切りを変更することができます。[確定] をタッチして変換した文字を確定します。

5 カナ英数

- 入力した文字のカタカナ、タッチしたキーに割り当てられた英字や記号などの変換候補を表示します。

3 変換候補欄で「文字」を選ぶ

■ ワイルドカード予測

入力した文字数から変換候補を予測して表示します。

- あらかじめ[ワイルドカード予測]を有効にしておいてください(※P.46「変換機能」)。
- ひらがな漢字入力モード、半角英字入力モードのときに利用できます。

例:「アナウンス」と入力するとき

1 文字入力画面で「あな」と入力

2 [▶]▶[▶]▶[▶]

- [▶] をタッチするたびに[※]が入力され、文字数に合わせた予測候補が表示されます。

3 変換候補欄で「アナウンス」を選ぶ

■ 区点コードで入力

文字ひとつひとつに付与されている4桁の区点コードを利用して、漢字やひらがな、カタカナ、記号、英数字などを入力できます。

1 文字入力画面で入力モード切替キーを上スライド▶[区点コード]

2 区点コードを入力

- 4桁目を入力すると、コード入力した文字が表示されます。
- 4桁目を入力すると区点コード入力モードにする前の入力モードに戻ります。

■ 音声で入力

音声で文字を入力することができます。

1 文字入力画面で[音声入力]

- 文字入力画面で[

2 マイクに向かって話す

- 次の場合は正しく認識できないことがあります。

- 声が大きすぎる場合
- 周囲の雑音が大きい場合
- 発声が明瞭でない場合
- 発声が不自然な場合
- 発声速度が速すぎる場合
- キーを押したり、マイクを触ったりした場合

■ 文字の編集

入力した文字を選択して切り取りやコピー、貼り付けなどの操作ができます。

1 入力した文字をロングタッチ

2 文字を編集する

- [- [履歴から]をタッチすると、切り取りやコピーを行った文字の履歴が表示されます。文字を選択して貼り付けることができます。
 - ・ 切り取りやコピーを行った文字の一覧を表示:[
- [共有]をタッチすると、選択した文字を他のアプリで利用できます。
- 表示されていないメニューがある場合、[

- 切り取った文字、コピーした文字は合わせて10件まで保存されます。
- 切り取った文字、コピーした文字が最大保存件数を越えた場合は、古い履歴から順に削除されます。
- 利用するアプリによっては、表示されるアイコンや操作方法が異なる場合があります。

初期設定

はじめて端末の電源を入れた場合は、初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って設定してください。

- 設定項目は次のとおりです。ただし、各設定で選択した内容により、以降に表示される項目は異なります。
 - 言語の設定
 - ネットワークの選択
 - セットアップ方法の選択
 - Googleアカウントの設定 (P.170「Googleなどのアカウントの設定」)
 - 本端末の所有者名
 - ロックの解除
 - Google アシスタントの設定
 - Googleサービス

■ ドコモサービスの初期設定

1 ドコモサービスの初期設定画面が表示されたら[上記のリンク先の内容に同意する]▶[次へ]

2 初期設定を行う

- 設定項目は次のとおりです。設定しない場合は[スキップ]/[キャンセル]をタッチします。設定が完了した場合は[設定完了]をタッチします。
 - dアカウント
 - ドコモサービス一括設定
 - その他の設定項目

着信／充電ランプ

不在着信がある場合や充電中などに着信／充電ランプを点灯／点滅してお知らせします。

表示状態	色	端末の状態
点灯	赤色	充電中(電池残量約94%以下)
点灯	緑色	充電中(電池残量約95%以上)
点滅	赤色	充電ができない状態
点滅	白色	不在着信あり、新着メールあり

- アプリによっては、着信ランプについて設定できるものがあります。
- ディスプレイが表示されている場合、不在着信や新着メールをお知らせする着信ランプが点滅しません。ステータスバーが表示される画面でお知らせアイコンを確認してください。
- 充電中にフル充電状態になっても、充電ランプは消灯しません。

画面表示／アイコン

画面上部のステータスバーに表示されるアイコンで、端末の状態や不在着信の有無など、さまざまな情報を知ることができます。ステータスパネルを表示させると詳細情報を確認できます。

アイコンの見かた

- 表示されるアイコンには、次の2種類があります。
 - お知らせアイコン：不在着信や新着メールなどをお知らせします。
 - ステータスアイコン：電池残量や電波状態など端末の状態を表します。



■ 主なお知らせアイコン一覧

- ：不在着信あり（[P.79「発着信履歴」](#)）
- ：新着＋メッセージあり（[P.92「＋メッセージ」](#)）
- ：新着メールあり（[P.97「Eメール」](#)）
- ：新着Gmailあり（[P.101「Gmail™」](#)）
- ：新着エリアメールあり（[P.104「緊急速報「エリアメール」」](#)）
- ：エラー表示
 - 何らかのエラーが発生したときに表示されます。

：dアカウントの認証失敗（[P.170「ドコモのサービス／クラウド」](#)）

：データ通信が無効（[P.148「データ使用量」](#)）
● データ使用量が上限に達した場合に表示されます。

：アラーム情報あり（[P.130「アラーム」](#)）

：カレンダーのスケジュール通知あり

電話表示（[P.72「電話」](#)）

：発信中／着信中／通話中

：保留中

：伝言メモあり（[P.80「通話音声・伝言メモ」](#)）

：留守番電話の伝言メッセージあり（[P.81「ネットワークサービス」](#)）

：microSDカード表示（[P.159「ストレージ」](#)）

：本体メモリの空き容量低下（[P.159「ストレージ」](#)）

：おまかせロック設定中

Bluetooth表示（[P.181「Bluetooth®機能」](#)）

：Bluetooth機器からの登録要求／接続要求あり

：データ受信要求あり

データ送受信表示

：送信表示

：受信表示

アプリ表示

：アップデートあり

：アプリのインストール完了

: オープンネットワークあり (P.146「Wi-Fiの設定」)

: テザリング表示 (P.149「アクセス ポイントとテザリング」)

: [USBテザリング]が有効

: [Wi-Fiテザリング]が有効

: [Bluetoothテザリング]が有効

: 複数のテザリングが有効

: VPN接続 (P.190「VPNの追加」)

: ソフトウェアアップデート情報あり (P.207「ソフトウェアアップデートについて」)

: [リラックスオート]が動作中 (P.154「リラックス設定」)

: 表示されていないお知らせアイコンあり

■ 主なステータスアイコン一覧

: アラーム設定中 (P.130「アラーム」)

- マナーモードを[サイレント]に設定中はアイコンの色が薄くなります。

電池残量表示 (P.152「省エネ&バッテリー」)

 ~ : 約100%~約6%

: 約5%以下

- 充電中は電池マークに[]が重なって表示されます。
- 電池マークの左に電池残量がパーセントで表示されます。パーセントの表示／非表示は電池の[電池残量]で切り替えられます。

電波状態表示

 ~ *: レベル表示(5段階)

: 圏外

: ドコモnanoUIMカードが未挿入 (P.30「ドコモ nanoUIMカード」)

Wi-Fi電波状態表示 (P.145「Wi-Fi」)

 ~ *: レベル表示(5段階)

: 機内モード中 (P.145「ネットワークとインターネット」)

3Gデータ通信状態表示

: 3G使用可能

: 3Gデータ受信

: 3Gデータ送信

: 3Gデータ送受信

GSMデータ通信状態表示

- : GSM使用可能
: GSMデータ受信
: GSMデータ送信
: GSMデータ送受信

4G(LTE)データ通信状態表示

- : 4G(LTE)使用可能
: 4G(LTE)データ受信
: 4G(LTE)データ送信
: 4G(LTE)データ送受信

HSPAデータ通信状態表示

- : HSPA使用可能
: HSPAデータ受信
: HSPAデータ送信
: HSPAデータ送受信

: 国際ローミング中(☞P.192「データローミング」)

NFC／おサイフケータイ ロック状態表示(☞P.126「NFC／おサイフケータイ ロック」)

- : 端末とドコモnanoUIMカードをロック中
: 端末またはドコモnanoUIMカードをロック中

おまかせロック状態表示

- : 端末とドコモnanoUIMカードを遠隔操作でロック中
: 端末またはドコモnanoUIMカードを遠隔操作でロック中

: [Reader／Writer, P2P]が有効(☞P.127「NFC／おサイフケータイ 設定」)

マナーモード表示(☞P.55「マナーモード」)

- : 通常マナー
: サイレント
: アラームのみ
: 優先する通知のみ

通話中表示(☞P.77「通話中の操作」)

- : ハンズフリー通話中
: ミュートに設定中

Bluetooth表示(☞P.181「Bluetooth®機能」)

- : 待機中
: 接続中

: 位置情報をGPSで測位中(☞P.168「位置情報」)

伝言メモ表示(☞P.80「通話音声・伝言メモ」)

- : 伝言メモ設定中で伝言メモが0件
: 伝言メモ設定中で伝言メモが1～49件
: 伝言メモ設定中で伝言メモが50件

※ インターネット接続されていないアクセスポイントに接続中は、
／のように電波状態表示にが重なって表示されます。

ステータスパネルの利用

1 ステータスバーを2本の指で同時に下にドラッグ

- 1本の指でステータスバーを下にドラッグすると、機能ボタンなどの表示エリアを縮小して表示します。

2 ステータスパネルを利用する



1 通信事業者名

- 接続している通信事業者名が表示されます。

2 明るさ調整バー

- ドラッグすると画面の明るさを調整できます。

3 機能ボタン

- マナーモード、Wi-Fi機能、位置情報の使用などについて設定できます。
 - ・ [現在地]をタッチすると、位置情報の利用についての確認画面が表示されます。[同意しない] / [同意する]によって、設定されるモードが異なります(※P.168「位置情報」)。

- 表示エリアを左右にフリックするとページを切り替えられます。

4 インジケータ

- 機能ボタン表示エリアのページ枚数と現在の表示位置を表します。

5 編集

- 機能ボタンの並べ替えや追加、削除ができます。

6 通知詳細情報

- 端末の状態やお知らせの内容を確認できます。
- 詳細情報の種類によっては、次の操作ができます。
 - ・ 対応するアプリの起動や操作: 詳細情報や機能をタッチ
 - ・ 詳細表示 / 簡易表示の切替: 詳細情報を2本の指で同時に上下にスライド、またはピンチアウト / ピンチイン
 - ・ 詳細情報の消去: 詳細情報を左右にフリック
 - ・ アプリの通知について設定: 詳細情報をロングタッチ
▶ 画面の指示に従って操作

7 設定

- 「設定」アプリを起動します。

8 機能ボタン表示エリアの拡大 / 縮小

- 機能ボタンなどの表示エリアを拡大 / 縮小します。
- 画面を上下にスライドしても拡大 / 縮小できます。

9 すべて消去

- 通知詳細情報とお知らせアイコンを消去します。通知詳細情報の内容によっては消去されない場合があります。
- 不在着信の通知が1件ある場合、通知詳細情報を詳細表示にすると[発信]、[メッセージ]が表示されます。タッチして電話をかけたりSMS(+メッセージ)を送信したりできます。
- アプリによっては、メッセージを受信した際に、ステータスパネルで返信操作を行えるものがあります。通知詳細情報を詳細表示にし、画面の指示に従って操作してください。

■ マナーモード

公共の場所などで、端末の音を周囲に出さないように設定します。

1 ステータスバーを2本の指で同時に下にドラッグ

2 [マナーモード] ▶ONにする

- マナーモードの設定画面が表示されます。表示される項目は、選択するマナーモードによって異なります。
- マナーモードのアイコンをタッチすると、マナーモードのON/OFFを切り替えられます。



1 マナーモードの種類

- 設定するマナーモードを選択します。
 - 通常マナー: 着信音や操作音は鳴らず、着信時などはバイブレータが動作します。アラーム音、メディア音はそれぞれの設定に従って鳴動します。
 - サイレント: 着信音や操作音は鳴らず、着信時などはバイブレータも動作しません。アラーム音、メディア音も鳴りません。

- アラームのみ: 着信音や操作音は鳴らず、着信時などはバイブレーションも動作しません。アラーム音、メディア音は鳴ります。
- 優先する通知のみ: 詳細設定の[優先する通知のみを許可]の設定に従って、着信音やお知らせ音が鳴ります。その他の動作については、マナーモードを設定していないときと同様です。

2 動作説明

- 選択しているマナーモードを設定した場合の動作について表示されます。

3 解除までの期間

- マナーモードが解除されるまでの期間を設定します。時間を選択すると、一定時間経過後や次のアラーム鳴動時に、マナーモードが自動で解除されます。
- [-] / [+] をタッチすると、マナーモードが解除されるまでの時間を設定できます。

4 詳細設定

- 優先する通知や、特定の時間帯などの通知動作について設定します。
 - 優先する通知のみを許可*: マナーモードを[優先する通知のみ]に設定した場合、本設定に従って着信音やお知らせ音を鳴らします。
 - 視覚的な通知のブロック: 画面が点灯／消灯しているときの通知動作について設定します。
 - 自動ルール: 特定の時間帯や予定期間の通知動作について設定します。
- ※アラームは常に優先する通知となり、設定の変更はできません。
- タッチすると選択中のマナーモードが設定されます。

5 マナーモードON／OFF

- マナーモードの設定状態が表示されます。タッチするとマナーモードのON／OFFを切り替えられます。

6 カスタマイズ

- 詳細設定の[優先する通知のみを許可]を設定します。
- タッチすると選択中のマナーモードが設定されます。

7 完了

- マナーモードを設定します。
- マナーモードを設定すると、機能ボタンの表示が変更されま
す。タッチするとマナーモードが解除されます。

- マナーモード設定中も、次の音は鳴ります。
 - 静止画撮影時のシャッター音
 - 静止画撮影時のフォーカスロック音
 - 動画撮影時の開始音／停止音
- 伝言メモ設定が[マナーモード連動]に設定されている場合、マナーモードが設定されているときは伝言メモが有効になり、伝言メモの設定に従って動作します。
- 通常マナー設定中に着信音量を上げると、マナーモードは解除されます。マナーモードを設定していないときに着信音量を「0」にすると、通常マナーが設定されます。

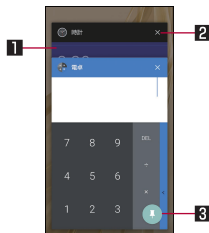
アプリ使用履歴

最近使用したアプリの履歴を表示し、アプリを起動することができます。

1 [□]

2 履歴を利用する

- [□] をタッチすると、1つ前に使用していたアプリが起動します。



1 アプリの使用履歴

- タッチするとアプリを起動できます。
- 左右にフリックすると履歴を削除できます。
- 画面右上の[すべて消去]をタッチすると、アプリの使用履歴をすべて削除できます。
 - アプリの使用履歴が複数ある場合、履歴を下にフリックすると、[すべて消去]が表示されます。

2 履歴消去

- タッチするとアプリの使用履歴を削除できます。

3 画面の固定

- [画面の固定]がONの場合、最新の履歴に表示されます。
画面の固定についてはP.161「セキュリティと現在地情報」
- タッチすると選択したアプリ以外を使用できないようになります。
 - 画面の固定を解除:[◀] + [□] をロングタッチ

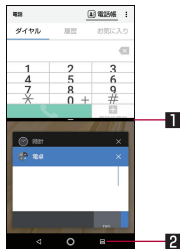
- アプリによっては履歴に表示されない場合があります。
- 起動中のアプリの履歴を消去すると、アプリを終了することができます。

マルチウィンドウ

上下に分割された画面で、2つのアプリを同時に利用することができます。

1 アプリ利用中に[□]をロングタッチ

- 画面が上下に分割され、[□]の表示が[≡]に変わります。利用中のアプリが上側に配置され、下側にはアプリ使用履歴が表示されます。
アプリ使用履歴やホーム画面からアプリを起動すると、マルチウィンドウの下側に配置され、上側のアプリと同時に利用することができます。



1 セパレータ

- 上／下にフリックすると、下側／上側のアプリが全画面になります。マルチウィンドウは終了します。
- 表示サイズ(※P.153「ディスプレイ」)を[小]に設定している場合は、上／下にドラッグして上下の画面サイズを変更することができます。

2 マルチウィンドウキー

- マルチウィンドウ利用中であることを表します。操作方法は[□]と同様です。
- マルチウィンドウでロングタッチすると、マルチウィンドウが終了します。表示は[□]に戻ります。

- ご使用のアプリによっては、マルチウィンドウで利用できない場合があります。

ホーム切替

利用するロック画面やホームアプリを切り替えます。

- お買い上げ時は、端末に次のホームアプリが登録されています。
 - docomo LIVE UX
ドコモのスマートフォン向けに使いやすく最適化されたホームアプリです。
 - AQUOS Home
ウィジェット／ショートカットを配置するデスクトップシート、アプリが一覧表示されるアプリシート、お気に入りアプリのショートカットを登録できるお気に入りトレイで構成されたホームアプリです。
 - AQUOSかんたんホーム
アイコンと文字が大きく表示されるホームアプリです。
 - ・ ウィジェット／ショートカットを配置するホーム画面、アプリが表示されるアプリ一覧画面で構成されます。
 - ・ ホーム画面右下の[アプリ一覧]をロングタッチすると、壁紙変更／ウィジェット追加／ホームの設定を行うメニューを利用できます。
 - ・ よく連絡する相手をホーム画面下部の楽ともリンクに登録することができます。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ▶[設定]▶[ホーム切替]

2 項目を選ぶ

- **ロック画面・ホーム一括切替**: ロック画面とホームアプリを切り替えます。
- **ホーム切替**: ホームアプリを切り替えます。

アプリ初回起動時の確認画面について

それぞれのアプリをはじめて起動したときは、「アプリに必要な許可」「電池の最適化」の確認画面が表示され、アプリの動作について設定を行います。

- アプリによって、表示される確認画面の種類や内容は異なります。ここでは、「アプリに必要な許可」「電池の最適化」の2種類の確認画面について説明します。
- アプリによっては、特定の機能をはじめて利用するときに確認画面が表示される場合があります。

アプリに必要な許可

アプリが端末のデータやカメラなどを利用することを許可します。

- 機能の利用を許可しなかった場合、アプリが正常に動作しないことがあります。

例: アルバムを起動したとき

1 「アプリに必要な許可」の確認画面で[次へ]



2 [許可しない] / [許可]



- 通常は[許可]を選択し、機能の利用を許可してください。
- 利用する機能が複数ある場合、以降も同様に操作してください。

■ 利用する機能について設定

利用する機能について、次の手順で設定することもできます。

アプリごとに利用する機能を設定

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ ▶ [設定] ▶ [アプリと通知]
- 2 [XX個のアプリをすべて表示] ▶ アプリを選ぶ ▶ [権限]
- 3 機能を選ぶ

機能ごとに利用を許可するアプリを設定

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ ▶ [設定] ▶ [アプリと通知] ▶ [アプリの権限]
- 2 機能を選ぶ
- 3 アプリを選ぶ

電池の最適化

電池の最適化を行うと、画面消灯中(充電中を除く)はアプリが動作しないように設定されます。

- アプリによっては、起動時や機能の設定時に「電池の最適化」の確認画面が表示される場合があります。通常は電池の最適化をしないでください。最適化を行うとアプリが終了する場合があります。
- 電池の最適化を行った場合、画面消灯中(充電中を除く)はアプリが動作しません。アプリ／機能が利用できないなど、意図しない現象が発生することがあります。

■ 電池の最適化の設定

電池の最適化について、次の手順で設定することもできます。

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ ▶ [設定] ▶ [アプリと通知] ▶ [詳細設定] ▶ [特別なアプリアクセス] ▶ [電池の最適化]
 - ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ ▶ [設定] ▶ [省エネ&バッテリー] ▶ [電池] ▶ [電池の最適化] ▶ [電池の最適化]でも電池の最適化を行うことができます。
 - 最適化していないアプリの一覧が表示されます。
- 2 [最適化していないアプリ] ▶ [すべてのアプリ]
- 3 アプリを選ぶ ▶ [最適化する]／[最適化しない] ▶ [完了]

docomo LIVE UX

ホーム画面を直感的にカスタマイズでき、世の中のトレンドや、お客様一人ひとりにあわせてさまざまな情報が雑誌形式で表示される新しい検索サービス「マイマガジン」が利用できるホームアプリです。docomo LIVE UXの詳細については、ホーム画面で[] ▶ [:] ▶ [ヘルプ]を参照するか、以下のホームページをご覧ください。
https://www.nttdocomo.co.jp/service/live_ux/index.html

ホーム画面の見かた

ホーム画面では、アプリを起動したり、ウィジェットを利用したりすることができます。
すべてのアプリはホーム画面上に貼られます。
● ホーム画面を左右にフリックするとページを切り替えられます。
● アプリの通知があるとき、アイコンやフォルダの右上に[●]または数字が表示される場合があります。



1 ウィジェット

- ウィジェット(Google™ 検索)を起動できます。
- ロングタッチするとショートカットメニューが表示され、特定の操作を実行できます。

2 マチキャラ

3 アプリアイコン

- タッチすると、アプリを起動できます。
- ロングタッチするとショートカットメニューが表示され、特定の操作を実行したり、アプリ情報を確認したりできます。
[=]が表示された場合は、ロングタッチして任意の場所までドラッグすると、特定の操作のショートカットをホーム画面に追加できます。

4 インジケータ

- ホーム画面のページ枚数と現在の表示位置を示します。

5 機能ボタン

- アプリを検索、おすすめアプリを利用(※P.69「おすすめアプリを利用」)、壁紙・きせかえの変更、ホーム画面の並べ替えなどができる画面を表示します。

6 カスタマイズエリア

- アプリ、ウィジェット、フォルダなどを配置できます。

7 フォルダ

- 複数のアプリアイコンなどが格納されています。

8 マイマガジンボタン

- マイマガジンを表示します(※P.70「マイマガジン」)。

9 ドック

- ホーム画面のページを切り替えても常に表示されます。

ホーム画面の管理

アプリなどの移動

- 1 ホーム画面で移動するアプリアイコンやウィジェットなどをロングタッチ
- 2 移動したい位置までドラッグ、または表示された吹き出しの[移動]をタッチしドラッグ
 - ホーム画面の端までドラッグすると、隣のページへ移動できます。

ウィジェットなどの削除

- 1 ホーム画面で削除するウィジェットなどをロングタッチ
- 2 [ホーム画面から削除]

- アプリが格納されているフォルダは削除できません。

アプリのアンインストール

- 1 ホーム画面でアンインストールするアプリアイコンをロングタッチ
 - フォルダ内のアプリをアンインストールする場合は、フォルダをタッチしてからアンインストールするアプリをロングタッチします。

2 [アンインストール] ▶ [OK]

- アプリをアンインストールできない場合、[アンインストール]は表示されません。
- [アプリ無効化]と表示された場合は、アプリを無効化(☞P.151「アプリの無効」)することができます。

フォルダ名の変更

- 1 ホーム画面でフォルダを選ぶ
- 2 フォルダ名をタッチ
- 3 フォルダ名を入力
 - キーボードに表示される[完了]をタッチします。

ホーム画面の設定

- 1 ホーム画面でアイコンなどが無い部分をロングタッチ
- 2 項目を選ぶ
 - **フォルダを作成**: フォルダを追加します。
 - **壁紙・きせかえ**: 壁紙やきせかえを変更することができます。
 - **ウィジェットを貼り付け**: ウィジェット一覧を表示します。
 - ウィジェットをホーム画面に追加する場合は、ホーム画面のウィジェットを貼り付けたい部分をロングタッチ ▶ [ウィジェットを貼り付け] ▶ 追加したいウィジェットをタッチ
 - スペースが足りない場合、空いているスペースに自動で貼り付けます。
 - **ホーム画面一覧**: ホーム画面一覧を表示します。ホーム画面一覧の詳細については☞P.63「ページの管理」

- **ホーム設定**: ホーム画面の配置のバックアップと復元を行ったり、マチキャラやマイマガジンの設定を行ったりします。

■ 壁紙の変更

- 1 ホーム画面でアイコンなどが無い部分をロングタッチ▶[壁紙・きせかえ]
 - [] ▶[壁紙・きせかえ]でも壁紙を変更できます。
- 2 壁紙にしたい画像をタッチ
 - : をタッチすると、他のアプリから壁紙を選択できます。
[SHSHOWからダウンロード]の場合は、シャープのサイトに接続し、壁紙をダウンロードできます。
- 3 画面の指示に従って壁紙を設定

■ きせかえの変更

- 1 ホーム画面でアイコンなどが無い部分をロングタッチ▶[壁紙・きせかえ]▶[きせかえ]
 - [] ▶[壁紙・きせかえ]▶[きせかえ]でもきせかえを変更できます。
- 2 きせかえを選ぶ▶[設定]

■ マチキャラ表示方法

- 1 ホーム画面でアイコンなどが無い部分をロングタッチ▶[ホーム設定]▶[マチキャラ設定]
- 2 [キャラ表示]の[] / []

■ ページの管理

- 1 ホーム画面でアイコンなどが無い部分をロングタッチ▶[ホーム画面一覧]
 - [] ▶[ホーム画面一覧]でもホーム画面一覧を表示します。
 - 2 [+]
 - ホーム画面の枚数を追加できます。
 - ホーム画面のページを削除するには、削除するページのサムネイルの[]をタッチします。
アプリが配置されているページは削除することができません。
 - ページを並べ替えるには、並べ替えるページのサムネイルをロングタッチ▶任意の場所までドラッグします。
- ホーム画面でピンチインしてもホーム画面一覧を表示できません。
 - ページは最大32ページまで追加できます。

アプリ一覧

- アプリによっては、ヘルプから機能や操作手順などを確認できます。
- 一部のアプリの使用には、別途お申し込み(有料)が必要となるものがあります。
- インストールされているアプリは次のとおりです。

アイコン	アプリ	概要
	+メッセージ	携帯電話番号を宛先にして、テキストメッセージを送受信できるメッセージングアプリです。テキスト以外にも画像や動画、スタンプ等を送ることができます(※P.92「+メッセージ」)。
	アルバム	画像や動画をイベントや場所ごとに振り分けて整理し、利用することができます(※P.118「アルバム」)。
	あんしんスキャン	ウイルス検知、個人データを利用するアプリの確認支援、危険サイトアクセス時の注意喚起などにより、スマートフォンを安心してご利用いただくためのアプリです。
	エモパー	あらかじめ登録したお客様の情報やエモパーの設定に基づき、タッチパネルのロック画面でさまざまな情報を音声や画面表示でお伝えします(※P.135「エモパー」)。

アイコン	アプリ	概要
	遠隔サポート	「あんしん遠隔サポート」をご利用いただくためのアプリです。「あんしん遠隔サポート」はお客様がお使いの機種の画面を、専用コールセンタースタッフが遠隔で確認しながら、操作のサポートを行うサービスです(※P.204「あんしん遠隔サポート」)。
	おサイフケータイ	おサイフケータイを利用できます(※P.125「おサイフケータイ対応サービス」の利用)。
	おすすめアプリ※1	ドコモがおすすめするアプリが表示されます(※P.69「おすすめアプリを利用」)。
	カメラ	カメラで撮影します(※P.109「カメラについて」)。
	からだメイト	歩数や体重などを記録することができます。歩数や体重の履歴をグラフで表示して、日別／月別で比較することもできます(※P.138「からだメイト」)。
	カレンダー	スケジュールを管理します。
	コンテンツマネージャー	本体メモリやmicroSDカードの画像・動画・オーディオ・ダウンロードしたデータなどのコンテンツを管理することができるアプリです。

アイコン	アプリ	概要
	災害用キット	災害用伝言板と災害用音声お届けサービス、緊急速報「エリアメール」をご利用いただくためのアプリです(※P.104「緊急速報「エリアメール」」)。
	スケジュール	スケジュールを作成・管理できるアプリで、メモアプリとデータを共有しています(※P.133「スケジュール」)。
	設定	端末の各種設定をします(※P.144「設定メニュー」)。
	データコピー	機種変更時のデータ移行や、「microSDカード」もしくは「データ保管BOX」へのバックアップ・復元ができるアプリです(※P.140「ドコモデータコピー」)。
	データ保管BOX	データ保管BOXをご利用いただくためのアプリです。データ保管BOXは、必要なファイルをアップロードし、クラウド上で手軽に管理できるサービスです。
	電卓	電卓を利用します(※P.135「電卓」)。
	電話	電話の利用や、通話の設定をすることが出来るアプリです(※P.72「電話」)。
	時計	アラームや世界時計、タイマー、ストップウォッチを利用します(※P.130「時計」)。

アイコン	アプリ	概要
	ドコモ電話帳	ドコモが提供する電話帳アプリです。docomoのアカウントの電話帳データをクラウド上で管理できます(※P.85「電話帳」)。
	ドコモメール	ドコモのメールアドレス(@docomo.ne.jp)を利用して、メールの送受信ができます。dアカウントを利用すれば、タブレットやPCブラウザなど複数のデバイスから同一のメールアドレスを使ってメールの送受信や閲覧が行えます(※P.92「ドコモメール」)。
	ドライブ	画像や動画などをGoogle ドライブ™に保存したり、共有したりすることができます。
	取扱説明書	本端末の取扱説明書です。説明から使いたい機能を直接起動することもできます。
	はなして翻訳	お互いの言葉を相手の言語に翻訳するアプリです。言語の異なる相手とのコミュニケーションを楽しむことができます。
	フォト	画像や動画を管理します。
	マイマガジン※1	お客様が選んだジャンルの記事が表示される検索サービスです(※P.70「マイマガジン」)。

アイコン	アプリ	概要
	マクドナルド	マクドナルドの公式アプリです。店舗検索で近くのマクドナルドを探したり、店舗で使えるお得なクーポンや最新情報を取得することができます。またdアカウントなどでログインすると、ワンタッチでポイントを貯めたり、使うことができます。
	マップ	現在地の測位や目的地までの詳しい移動方法のナビゲーションなどができます(※P.129「マップ」)。
	マネレコ	銀行口座の残高やクレジットカードの明細などをまとめて確認できる家計簿アプリです。
	メール	メールを利用します(※P.97「Eメール」)。
	メモ	メモを作成・管理できるアプリで、スケジュールアプリとデータを共有しています(※P.134「メモ」)。
	ローソン	ローソンの公式アプリです。ケータイが会員カード代わりになるデジタル会員証の表示や店舗検索、おトクなお試し引換券のチェックができます。
	Amazon ショッピング	Amazonでよりお得に、より便利にオンラインショッピングをご利用いただける公式アプリです。
	Amazon Kindle	Amazonで購入した書籍を読むための電子書籍リーダーアプリです。

アイコン	アプリ	概要
	Chrome	パケット通信やWi-Fi機能による接続でサイトを表示します(※P.106「Chrome」)。
	d払い	ドコモが提供するスマホ決済サービス「d払い」を利用するためのアプリです。対象の街のお店で、アプリに表示されたバーコードを提示するだけで、簡単・便利・おトクにお買い物をするができます。
	dフォト	写真や動画を無料で5GBまでクラウドにバックアップし、スマートフォン、タブレット、パソコンなどからアクセスできるサービスです。また、クラウドや本端末にある写真をフォトブックにできるサービスもあります(ご利用には別途有料サービスへのお申し込みが必要です)。
	dヘルスケア	歩数計測や体重管理などが行える健康アプリです。お悩みに応じた健康ミッションをクリアすると、dポイントやクーポンがもらえます。
	dポイント	dポイントを「確認する」「ためる」「つかう」ことができるアプリです。

アイコン	アプリ	概要
	dマーケット	音楽、動画、書籍などのデジタルコンテンツの販売や、ショッピングサイトや旅行予約サイトなどさまざまなサービスを提供しています(※P.122「dマーケット」)。
	dメニュー	「dメニュー」へのショートカットアプリです。dメニューでは、ドコモのおすすめするサイトや便利なアプリに簡単にアクセスすることができます(※P.122「dメニュー」)。
	Duo	ビデオ通話を利用します。
	Facebook	Facebookは、友達や家族、同僚や同級生たちとのつながりを深めたり、今世界で何が起きているかを知ることができます。
	Gmail	Googleのメールサービスや一般のサービスプロバイダが提供するEメールを利用できます(※P.101「Gmail™」)。
	Google	クイック検索ボックスを利用します(※P.42「端末内やサイトの情報の検索」)。

アイコン	アプリ	概要
	iDアプリ	ドコモが提供する電子マネー「iD」を利用するためのアプリです。「iD」を設定したおサイフケータイをお店の読み取り機にかざして簡単・便利にショッピングができます(※P.127「iDアプリ」)。
	Instagram	本端末で撮影した写真や動画を自由に編集し、家族や友達、そして世界中の人と簡単に共有できます。
	Messenger	携帯電話の連絡先やFacebookの友達・グループにメッセージ送信、音声・ビデオ通話ができます。
	my daiz	話しかけるだけで簡単に情報検索を行ったり、あなたに必要な情報を最適なタイミングでお届けするサービスです。天気や乗換えの他に、レシピ検索や宅配調整などの提携サービスを追加でき、便利にご利用いただくことができます。
	My docomo アプリ	お客様のご利用データ量やご利用料金の確認、各種手続き・お申し込みもオンラインで行えます。
	OfficeSuite	OfficeSuiteを利用します。 ● 対応しているファイルについては、ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ▶[OfficeSuite]▶[≡]▶[ヘルプとフィードバック]▶[ヘルプ]と操作して、ヘルプを参照してください。

アイコン	アプリ	概要
	Play ストア	Google Playを利用します(※P.122「Play ストア」)。
	Playムービー & TV	映画をレンタルしたり、視聴したりすることができます。
	Play Music※2※3	音楽を再生します。
	SHSHOW	AQUOSスマートフォン／タブレットを使いこなすための各種情報やコンテンツを紹介するアプリです。
	Twitter	Twitterの公式クライアントアプリです。サイト上に短いメッセージを公開して、他の人とコミュニケーションをとることができます。
	YouTube	YouTubeを利用します(※P.130「YouTube」)。

- ※1 ホームアプリがdocomo LIVE UX以外の場合に表示されません。
- ※2 本端末はハイレゾオーディオの再生に対応しています。ハイレゾ音源を再生するには、ハイレゾに対応した市販のヘッドホンやスピーカーが必要です。(イヤホンマイク端子からの出力に対応しています。)再生できる音楽データは、量子化ビット数とサンプリング周波数の組み合わせが16bitかつ64kHz以上、または24bitかつ44.1kHz以上で、WAV／FLAC形式です。
- ※3 本端末はQualcomm® aptX™ audioに対応しています。

- アプリによっては、初回起動時にダウンロードが必要な場合があります。アプリのダウンロードには別途パケット通信料がかかります。
- インストールされているアプリの中には、アンインストールできるものもあります。アンインストールしたアプリはPlay ストア(※P.122「Play ストア」)などから再度ダウンロードできる場合があります。次のサイトをご確認ください。
<http://k-tai.sharp.co.jp/support/checkdev.html>

おすすめアプリを利用

お客様の利用状況に合わせて、アプリをおすすめするサービスです。

1 ホーム画面で[]

2 [おすすめアプリ]

- はじめて使用するときには利用の確認画面が表示され、[おすすめアプリを見る]をタッチすると説明画面が表示されます。説明画面で[] / [おすすめアプリ一覧へ]をタッチするとアプリの一覧画面が表示され、おすすめアプリの通知も「ON」になります。

3 利用するアプリを選ぶ

- アプリの紹介画面が表示されます。

- アプリの一覧画面で[] ▶各設定の[] / []をタッチすると、設定をON/OFFに切り替えることができます。

アプリを探す

アプリを使用した順やインストールした順に一覧で探したり、アプリ名で検索したりする機能です。

1 ホーム画面で[]

2 [Q]

3 [アプリ名を入力] ▶文字を入力

- [つかった順] / [インストール順] / [アプリ名順]をタッチすると、任意の並び順ですべてのアプリを一覧にすることができます。

4 アプリを選ぶ

- アプリが起動します。
- []をタッチすると選択したアプリにフォーカスが当たった状態で、アプリが配置されたホーム画面が表示されます。

ホーム画面のバックアップと復元

ドコモクラウドにバックアップされたdocomo LIVE UXのデータを使って、ホーム画面のアプリやウィジェットなどの配置を復元することができます。その際、ホーム画面の最後にドコモサービスのページが追加されます。

- バックアップと復元を利用するには、dアカウントの設定が必要です(※P.170「ドコモのサービス／クラウド」)。

■ ホーム画面のバックアップ

- 1 ホーム画面でアイコンなどがない部分をロングタッチ▶[ホーム設定]
- 2 [配置のバックアップと復元]
- 3 ▶[バックアップ]

■ ホーム画面を復元する

- 1 ホーム画面でアイコンなどがない部分をロングタッチ▶[ホーム設定]
- 2 [配置のバックアップと復元]
- 3 [最新のバックアップデータを復元]／[バックアップデータ一覧から復元]
- 4 [復元する]
 - [バックアップデータ一覧から復元]を選択したときは、復元するデータを選択▶[復元]▶[復元する]

マイマガジン

マイマガジンはお客様が選んだジャンルの記事が表示される検索サービスです。読む記事の傾向やプロフィール情報によって使えば使うほどお客様の好みに近づいていきます。お知らせの通知や位置情報、ドコモサービス契約情報などを利用したマイマガジンのカスタマイズが利用できるように設定することもできます。

■ 記事の見かた

1 ホーム画面で

- 表示するジャンル選択画面が表示された場合は、ジャンルを選択し[OK]をタッチします。
- ジャンル別の記事一覧画面が表示されます。
- 左右にフリックするとジャンルを切り替えられます。

2 読みたい記事をタッチ

- タッチすると、マイマガジンの設定を変更したり、ヘルプを確認したりすることができます。

■ 表示ジャンル設定

1 ホーム画面で

2 ▶[表示ジャンル設定]

- チェックを入れたジャンルがマイマガジン上に表示されるようになります。
- 右上のをタッチするとジャンルの並べ替えをすることができます。

ホームアプリの情報

docomo LIVE UXのバージョン情報などが確認できます。

1 ホーム画面で[]▶[:]

2 [アプリ情報]

- docomo LIVE UXのアップデートがある場合には、アプリケーション情報画面に[今すぐアップデート]が表示され、タッチするとdocomo LIVE UXをアップデートできます。

電話

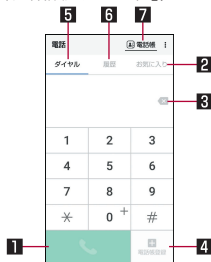
電話や電話帳を利用したり、通話や通話音声・伝言メモ、着信時の動作などについて設定できます。

電話をかける

1 ホーム画面で[電話]▶[ダイヤル]

2 電話番号を入力

- 同一市内でも、必ず市外局番から入力してください。
- 電話番号の前に「186」／「184」を付けると、その発信に限り番号通知／番号非通知に設定して発信できます。
- あらかじめ登録した番号を先頭に付加：電話番号を入力▶[:]▶[プレフィックス選択]▶番号の登録名を選ぶ
・[プレフィックス設定]で登録した番号を付加できます(※P.81「通話設定／その他」)。



1 発信

- 電話を発信します。また、発信履歴がある場合、電話番号未入力の際にタッチすると最新の発信履歴が入力されます。

2 お気に入り

- お気に入りに設定されている連絡先を表示します。

3 削除

- 入力した番号を1文字削除します。
- ロングタッチすると、入力した番号をすべて削除します。

4 電話帳登録

5 ダイヤル

- ダイヤル画面を表示します。

6 発信履歴／着信履歴

7 電話帳

- 電話帳を表示します。

3 [ビデオ]

- ビデオコールの発信:[:]▶[ビデオコール]

4 通話が終わったら[終了]

- 髪の毛の上から受話口を当てて通話すると、近接センサーが正常に動作しないことがあります。画面が点灯したままとなり、誤って画面に触れることによって、通話が切れる場合があります。

VoLTEについて

- VoLTEは、通話やビデオコールを高品質で利用することができます。
- VoLTEのご利用には、本端末と通話相手の端末が以下の条件を満たす必要があります。
 - VoLTE対応機種であること
 - VoLTE利用可能エリア内であること
 - 優先ネットワークタイプが[4G/3G/GSM(自動)]であること(☞P.192「優先ネットワークタイプ」)
 - 通話モード設定がONであること(☞P.147「モバイル ネットワーク」)

VoLTE(HD+)について

- VoLTE(HD+)は、通話やビデオコールの音声をVoLTEよりさらに高音質で利用することができます。
- VoLTE(HD+)のご利用には、VoLTEのご利用条件に加えて、本端末と通話相手の端末がVoLTE(HD+)対応機種である必要があります。

プッシュ信号の入力

電話番号に続いて停止(,)／待機(:)を入力すると、銀行の残高照会やチケットの予約サービスなど、通話中に番号を追加入力する必要があるサービスを利用する際、メインの電話番号と追加番号を同時に発信できます。

■ 2秒間の停止を追加

メインの電話番号をダイヤルしたあと、自動的に2秒間一時停止してから、追加番号をダイヤルします。

- 1 ホーム画面で[]▶[ダイヤル]
- 2 電話番号を入力▶[:]▶[2秒間の停止を追加]
- 3 送信する番号を入力▶[

■ 待機を追加

メインの電話番号をダイヤルしたあと、自動的に待機し追加番号の送信確認画面が表示されます。[はい]をタッチすると追加番号をダイヤルします。

- 1 ホーム画面で[]▶[ダイヤル]
- 2 電話番号を入力▶[:]▶[待機を追加]
- 3 送信する番号を入力▶[
- 4 通話中に[はい]

ビデオコール

ビデオコールを利用すると、お互いの映像を見ながら通話ができます。また、通話中に音声通話とビデオコールを切り替えることができます。

- ビデオコールの発信時は通話料およびパケット通信料がかかります。また、着信時にもパケット通信料がかかります。
- 映像は利用状況に応じて最適な通信となるため、ご利用の環境により品質が異なります。
- 音声通話中にビデオコールへ切り替えができなかった場合は、[ビデオコールへの切替に失敗しました]と表示され、音声通話が継続されます。
- ビデオコールで通話中は、スピーカー部分を覆わないようにしてください。相手の声が聞こえにくくなる場合があります。
- バックグラウンドでビデオコールを利用中は、相手に自分側の映像が送信されません。
- ビデオコールの映像は、ご利用機種により表示処理に違いがあるため、本端末で表示される自分の映像と相手に表示される映像の範囲が異なる場合があります。

緊急通報

緊急通報	電話番号
警察への通報	110
消防・救急への通報	119
海上での通報	118

- 本端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。
110番、119番、118番などの緊急通報をかけた場合、発信場所の情報(位置情報)が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。
なお、「1184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定にかかわらず、機関側がGPSを利用した位置測位による正確な位置情報と電話番号を取得することがあります。
また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- 日本国内ではドコモnanoUIMカードを取り付けていない場合やPINコードロック中、PINロック解除コードの入力画面では緊急通報番号(110番、119番、118番)に発信できません。

- 端末から110番、119番、118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。
また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。
- 着信拒否設定を行っている場合に緊急通報番号(110番、119番、118番)に発信すると、着信拒否設定の項目が一時的に[OFF]に設定されます。2時間経過すると元の設定に戻ります。または、[着信拒否設定]から設定を戻すこともできます(※P.81「通話設定／その他」)。
- 一部のネットワークでは、緊急通報が利用できない場合があります。
- ビデオコールでは緊急通報番号(110番、119番、118番)に発信できません。

国際電話(WORLD CALL)

WORLD CALLは国内でドコモの端末からご利用になれる国際電話サービスです。

WORLD CALLの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

- 海外通信事業者によっては発信者番号が通知されないことや正しく表示されない場合があります。この場合、着信履歴を利用して電話をかけることはできません。

【通話方法】

- 一般電話へかける場合：010▶国番号▶地域番号(市外局番)
▶相手先電話番号▶
- 携帯電話へかける場合：010▶国番号▶相手先携帯電話番号
▶
- 相手先の携帯電話番号、地域番号(市外局番)が「0」から始まる場合は、先頭の「0」を除いてダイヤルしてください(イタリアなど一部の国・地域を除く)。
- 「010」の代わりに「+」や従来どおりの「009130-010」でもかけられます。

電話を受ける

※ スグ電を利用すると、電話がかかってきたときに、端末を耳に当てるだけで電話を受けることができます(※P.82「スグ電設定」)。

1 電話がかかってくると、着信音が鳴る

2 電話を受ける

- [🔒] をタッチしてから操作してください。



音声電話着信画面



ビデオコール着信画面

1 拒否

- 着信を拒否します。

2 拒否してSMS送信

- 着信を拒否し、選択したメッセージをSMSとして相手に送信します。

3 応答

- 電話を受けます。

4 音声応答

- 音声通話で電話を受けます。

5 ビデオ応答

- ビデオコールで電話を受けます。

3 通話が終わったら[終了]

■ ディスプレイを表示中に電話を受ける

タッチパネルのロック画面以外の画面を表示中に電話がかかってくると、着信通知が表示されます。通知を利用して電話を受けることができます。

1 電話がかかってくると、画面上部に着信通知が表示される

2 [応答] / [ビデオ応答]

- 着信通知をタッチすると、音声電話 / ビデオコール着信画面を表示できます。

■ 音声電話に伝言メモで応答

1 音声電話がかかってくると、着信音が鳴る

2 音声電話着信画面で[:]▶[伝言メモ]

伝言メモの再生

1 ホーム画面で[📞]

2 [:]▶[通話設定]

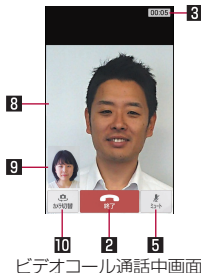
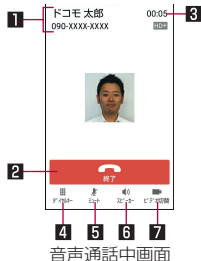
3 [通話音声・伝言メモ]

4 [伝言メモリスト]

5 伝言メモを選ぶ

通話中の操作

通話中は利用状況に応じてハンズフリーの利用や通話音量の調節などの操作ができます。



1 相手の名前や電話番号

2 終了

- 通話を終了します。

3 通話時間

4 ダイアルキー

- ブッシュ信号の入力ができます。

5 ミュート

- 通話中の電話をミュート／ミュート解除にします。

6 スピーカー

- ハンズフリーで通話ができます。
- Bluetooth機器を接続している場合、音声の出力先を切り替えることができます。

7 ビデオ切替

- ビデオコールに切り替えます。

8 相手側の映像

9 自分側の映像

10 カメラ切替

- インカメラ／アウトカメラに切り替えます。

- ハンズフリーやビデオコールで通話するには次の内容にご注意ください。

- 送話口から約20～40cmが最も通話しやすい距離です。なお、周囲の騒音が大きい場所では、音声途切れるなど良好な通話ができないことがあります。
- 屋外や騒音が大きい場所、音の反響が大きい場所で通話を行うときは、イヤホンマイクをご利用ください。
- ハンズフリー通話中、音が割れて聞き取りにくいときは、通話音量を下げてください。

■ 通話音量調節

1 通話中に[+] / [-]

■ 全画面表示に切替

ビデオコール通話中画面を全画面表示に切り替えます。

1 通話中に画面をタッチ

- 全画面表示の解除:画面をタッチ

■ 保留

音声通話中の電話を保留／保留解除にします。

- 保留をご利用いただく場合には、キャッチホン契約が必要です。

1 通話中に[:] ▶ [保留] / [保留解除]

■ 通話を追加

音声通話中の電話を保留にして、別の相手に発信します。

- 通話を追加するにはキャッチホンのご契約が必要です。

1 通話中に[:] ▶ [通話を追加]

2 電話番号を入力▶

- 保留中の相手をタッチすると、通話相手を切り替えることができます。

■ 音声切替

ビデオコール通話中に音声通話へ切り替えます。

1 通話中に[:] ▶ [音声切替]

■ 音声出力先切替

ビデオコール通話中にハンズフリーで通話するか設定します。
Bluetooth機器を接続している場合、音声の出力先を切り替えることができます。

1 通話中に[:] ▶ [音声出力先切替]

2 音声出力先を選ぶ

■ 映像エリア切替

ビデオコール通話中に相手側の映像／自分側の映像の表示エリアを切り替えます。

1 通話中に[:] ▶ [映像エリア切替]

■ 通話音声メモ

音声通話中に通話音声メモを録音します。

1 通話中に[:] ▶ [通話音声メモ]

2 [録音停止]

発着信履歴

発信履歴／着信履歴が記憶されます。

- 発着信履歴表示件数についてはP.210「主な仕様」

1 ホーム画面で[電話]▶[履歴]

2 [すべて]／[着信]／[発信]▶履歴を選ぶ

- 音声通話とビデオコールは同じ発信履歴／着信履歴として表示されます。



1 履歴表示の切替

- すべての発着信履歴／着信履歴のみ／発信履歴のみを切り替えます。

2 相手の名前／電話番号

3 発信、着信、不在着信の表示

4 発着信日時

5 発信アイコン

- タッチすると音声通話で発信します。

3 [電話をかける]

- 電話帳に登録:[電話帳登録]▶登録方法を選ぶ▶各項目を設定▶[登録完了]
- SMS(+メッセージ)の作成・送信:[メッセージ]▶SMS(+メッセージ)を作成・送信
- ビデオコールの発信:[ビデオコール]

発着信履歴の利用

1 ホーム画面で[電話]▶[履歴]

2 [すべて]／[着信]／[発信]▶履歴をロングタッチ

3 項目を選ぶ

- **発信前に番号を編集**:ダイヤル画面に電話番号が入力されます。番号を編集して発信などが行えます。
- **通話履歴から削除**:履歴を削除します。
- **着信拒否番号として登録**:迷惑電話ストップサービスが番号指定拒否に登録します。
- **お気に入りに登録**:ドコモ電話帳のお気に入りに設定します。
- **居場所を確認**:イマドコサーチやイマドコかんたんサーチを利用します。

■ 発着信履歴の削除

1 履歴一覧画面で[::]▶[履歴削除]

2 履歴を選ぶ▶[削除]▶[削除]

- 全件削除:[全選択]▶[削除]▶[削除]

通話音声・伝言メモ

通話音声・伝言メモの再生や設定ができます。伝言メモを設定しておく、電話に出られないときに端末が応答して伝言を預かることができます。

- 保存可能件数や1件あたりの最大録音時間については

☞ P.210「主な仕様」

1 ホーム画面で[📞]

2 [⋮]▶[通話設定]

3 [通話音声・伝言メモ]

4 項目を選ぶ

- **伝言メモリスト**: 伝言メモの再生や削除などができます。
- **通話音声メモリスト**: 通話音声メモの再生や削除などができます。
- **空き容量確認**: 通話音声・伝言メモの空き容量や残り録音可能件数を確認できます。
- **伝言メモ設定**: 伝言メモの動作について設定します。
- **応答メッセージ確認**: 伝言メモの応答メッセージについて設定します。
- **応答時間設定**: 伝言メモの応答時間について設定します。

- 保存した伝言メモが保存可能件数を超えた場合は、再生済みの古い伝言メモから順に削除されます。伝言メモがすべて未再生のときは電話がかかってきても伝言メモで応答しません。
- 保存した通話音声メモが保存可能件数を超えた場合は、古い通話音声メモから順に削除されます。
- 伝言メモ／通話音声メモの再生画面で[⋮]▶[SDカードにコピー]と操作すると再生中の音声をmicroSDカードに保存できます。
保存した音声データはmicroSDカードの「Call」フォルダ内の下記に保存されます。
 - 伝言メモの場合: 「AnswerPhone」フォルダ内
 - 通話音声メモの場合: 「VoiceMemo」フォルダ内
- ビデオコールでは伝言メモ／通話音声メモを利用できません。

通話設定／その他

留守番電話や着信拒否など、通話について設定します。

1 ホーム画面で[📞]

2 [:]▶[通話設定]

3 項目を選ぶ

- **ネットワークサービス**: ネットワークサービスについてはP.81「ネットワークサービス」
- **海外設定**: 国際ローミングサービスを利用するときの設定を行います。海外設定についてはP.195「国際ローミングの設定」
- **着信音**: 着信音を設定します。
- **着信バイブレーション**: 着信時にバイブレータを動作させるか設定します。
- **ダイヤルパッド操作音**: ダイヤル音の有無を設定します。
- **通話音声・伝言メモ**: 通話音声・伝言メモについてはP.80「通話音声・伝言メモ」
- **着信拒否設定**: 着信拒否設定についてはP.82「着信拒否設定」
- **応答拒否SMS**: 拒否してSMS送信に使用する文章を編集します。
- **サブアドレス設定**: ISDN端末に電話をかけるときに、サブアドレスを使用して特定の端末を呼び出すかどうかを設定できます。
 - ・ 電話番号に続けて「★」を入力すると、「★」以降をサブアドレスとして認識します。
- **プレフィックス設定**: 国際電話アクセス番号や「186」/「184」など、電話番号の先頭に付ける番号を登録できます。

- **スグ電設定**: スグ電設定についてはP.82「スグ電設定」
- **ドコモへのお問合せ**: ドコモへのお問い合わせについてはP.85「ドコモへのお問い合わせ」
- **オープンソースライセンス**: オープンソースライセンスを表示します。
- **オフィスリンク設定**: オフィスリンクの保留転送、プレフィックスに関する設定を行います。

[サブアドレス設定]について

- サブアドレスとは、1つのISDN回線に接続された複数のISDN端末を呼び分けるために付けられた番号です。

[オフィスリンク設定]について

- オフィスリンクは法人のお客様向け内線サービスです。

ネットワークサービス

1 ホーム画面で[📞]

2 [:]▶[通話設定]

3 [ネットワークサービス]

4 項目を選ぶ

- **留守番電話サービス**: 電話をかけてきた相手に応答メッセージでお答えし、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりするサービスです。
- **転送でんわサービス**: 電話を転送するサービスです。
- **キャッチホン**: 通話中に別の電話がかかってきたときに、現在の通話を保留にして新しい電話に出ることができるサービスです。

- **発信者番号通知**:電話をかけるときに、相手の電話機に自分の電話番号を表示させることができます。
- **迷惑電話ストップサービス**:いたずら電話などの「迷惑電話」を着信しないように登録することができます。
- **番号通知お願いサービス**:電話番号が通知されない電話に対して、番号通知のお願いをガイダンスで応答します。
- **着信通知**:着信の情報をSMS(+メッセージ)でお知らせします。
- **英語ガイダンス**:各種ネットワークサービス設定時のガイダンスや、圏外などの音声ガイダンスを英語に設定することができます。
- **遠隔操作設定**:留守番電話サービスや転送でんわサービスなどを、プッシュ式の一般電話や公衆電話、ドコモの携帯電話などから操作できるようにします。
- **公共モード(電源OFF)設定**:電源を切っている場合の着信時に、電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。

● ビデオコールでは次の項目を利用できません。

- 留守番電話サービス
- 転送でんわサービス
- キャッチホン

着信拒否設定

1 ホーム画面で[📞]

2 [:]▶[通話設定]

3 [着信拒否設定]

4 項目を選ぶ

- **登録外着信拒否**:電話帳に登録されていない相手からの着信を受けないように設定します。
- **非通知着信拒否**:電話番号が通知されない相手からの着信を受けないように設定します。
- **公衆電話着信拒否**:公衆電話からの着信を受けないように設定します。
- **通知不可能着信拒否**:電話番号の通知が不可能な相手からの着信を受けないように設定します。
- **番号指定拒否**:指定した相手からの着信とSMS(+メッセージ)を受けないように設定します。

スグ電設定

端末を耳に当てることで電話を受けたり、キーワードを発することで通話を終了するなど、モーションおよび音声キーワードだけで電話の操作ができる「スグ電」の設定を行います。

1 ホーム画面で[📞]

2 [:]▶[通話設定]

3 [スグ電設定]

4 項目を選ぶ

- **応答**: 端末を耳に当てることで応答できるか設定します。
- **ミュート(保留)**: 通話中にミュート(保留)キーワードを含んだ言葉を発したあとに端末を耳から離すことで端末のマイクをOFF(ミュート)できるか設定します。
- **切断**: モーションや音声で切断できるか設定します。
 - モーション: 通話中に画面を下向きにして端末を水平に置く、または端末を2回振ることで、切断できるか設定します。
 - 音声: 通話中に切断キーワードを発したあとに端末を耳から離すことで、切断できるか設定します。
- **発信**: ホーム画面で端末を1回振ってから耳に当てることで、あらかじめ登録した相手、または発信履歴に登録された相手に発信できるか設定します。
- **消音・拒否**: 着信中に画面を下向きにして端末を水平に置く、または端末を2回振ることで、応答拒否できるか設定します。「消音」、「拒否」、「拒否してSMS送信」から選択できます。
- **発信ランキング**: 発信回数の多い相手の確認ができます。
- **着信時名前非表示**: 着信時に端末を動かすまで相手の名前を表示しないか設定します。
- **利用者情報の送信**: 利用者情報を送信するか設定します。
- **ローミング時スグ電無効**: 海外渡航時にスグ電をOFFにするか設定します。

- 次の場合は、スグ電が正しく動作しません。
 - ハンズフリー通話中
 - イヤホンマイク、ヘッドセット利用中
 - 通話機能を持つBluetooth機器と接続中の場合(ミュート(保留)、切断(音声)、発信(モーション))
 - 通話中にさらに発信／着信を行う場合
 - 横になっているときや走っているとき、階段の上り下りをするなどの激しい運動をしているときなど、モーションを正しく検出できない場合
 - フリップカバーを装着していてカバーを閉じているときなど、ディスプレイが覆われている場合
- 着信中、ディスプレイを表示させたまま端末をかばんやポケットに入れると、スグ電が動作して応答や切断が行われる場合があります。
- 近接センサーは黒いものに反応しにくい特性があります。
 - 応答する際、髪の毛の上から端末を耳に当てると反応しない(応答しない)場合があります。その場合は、端末を耳に直接当ててください。
 - 切断や消音・拒否を行う際、黒い机などの上で端末を裏返すと反応しない(切断や消音・拒否が行われない)場合があります。その場合は机などに直接置かず、1cm程度浮かせるように端末を裏返してください。
- スグ電はビデオコールには対応していません。ただし、[着信時名前非表示]はビデオコールの着信時も有効です。

【応答】について

- 本端末は受話口とスピーカーを兼用しています。機能利用時は、着信音鳴動中のスピーカーに耳を近づけたことを検知し、着信音が適切な音量に変更されます。ただし、耳の接近を検知しない場合など、耳の近くで大きな音が鳴ることがありますので、着信音量は適切に設定してご使用ください。

【切断】(モーション)について

- モーションが実行されると、以下においては切断が有効となり、通話が切断されます。
 - 相手が保留中の場合
 - 伝言メモ起動中の場合(応答メッセージ再生中／伝言メモ録音中)
- 切断する際に、端末を下向きに置く動作が速いと反応しない(切断できない)場合があります。その場合は、動作をゆっくり行くと反応(切断)します。
- 端末を強く振ると、モーションが実行されたとみなされ、切断される場合があります。

【切断】(音声)について

- 切断キーワードを発すると、以下においては切断が有効となり、通話が切断されます。
 - 相手が保留中の場合
 - 相手が伝言メモ起動中の場合(応答メッセージ再生中／伝言メモ録音中)

【ミュート(保留)】、【切断】(音声)について

- 【ミュート(保留)】、【切断】(音声)をONにしている状態で通話しているときは、他のマイクを利用するアプリや通話中の音声を利用するアプリ(例：通話録音アプリ)は使用できないことがあります。通話中にご利用になりたい場合は、通話終了後に【ミュート(保留)】、【切断】(音声)の両機能をOFFにすることで利用可能になります。
- 伝言メモ、通話音声メモが動作中の場合(応答メッセージの再生中／伝言メモ、通話音声メモの録音中)は、ミュート(保留)、音声での切断ができません。伝言メモ、通話音声メモの録音中に電話に出た場合には、ミュート(保留)、音声での切断が可能になります。
- 「はなして翻訳」を利用した通話の場合は、音声での切断はできません。
- スグ電音声機能の提供には音声認識技術や言語処理技術を用いておりますが、当社はそれらの技術の精度などについて何らの保証をするものではありません。
- 通話時に声量が小さすぎたり、騒音下で通話したり、または、発話のしかたによっては、音声認識ができない場合があります。

【発信】について

- ホーム画面やタッチパネルのロック画面(画面ロックを[スワイプまたはタッチ]に設定している場合のみ)表示中に発信が可能です。

【消音・拒否】について

- 端末を強く振ると、モーションが実行されたとみなされ、着信音の停止や着信拒否が行われる場合があります。

【ローミング時スグ電無効】について

- 海外ではスグ電が自動で無効になります。海外でスグ電をご使用になる場合は、ローミング時スグ電無効をOFFにしてください。

スグ電の詳しい情報について

- スグ電の機能やご利用時の注意事項など、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご覧ください。
<https://www.nttdocomo.co.jp/service/suguden/>

ドコモへのお問い合わせ

1 ホーム画面で

2 [:] ▶ [通話設定]

3 [ドコモへのお問合せ]

4 項目を選ぶ

- **ドコモ故障問合せ**: 故障問い合わせ先へ電話をかけることができます。
- **ドコモ総合案内・受付**: 総合案内・受付へ電話をかけることができます。
- **海外紛失・盗難等**: 海外から紛失、盗難などの問い合わせ先へ電話をかけることができます。
- **海外故障**: 海外から故障問い合わせ先へ電話をかけることができます。

電話帳

docomoのアカウントの電話帳データをクラウド上で管理したり、マイプロフィールの確認を行うことができます。

電話帳の登録

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ ▶ [ドコモ電話帳] ▶ [連絡先]

- クラウドの利用についての確認画面が表示された場合は内容を確認し、[了承して進む] / [利用しない] を選択してください。

2 [登録]

3 各項目を設定

- 登録できる情報はアカウントの種類によって異なります。

The screenshot shows the 'プロフィール編集' (Edit Profile) screen. It includes fields for account type (docomo), profile picture, name (姓 and 名), and various settings. Numbered callouts point to specific elements: 1 points to the account type dropdown, 2 to the profile picture, 3 to the name input fields, 4 to the name confirmation fields (姓のふりがな and 名のふりがな), 5 to the phone number dropdown, 6 to the email dropdown, 7 to the group selection, 8 to the ringtone selection, 9 to the 'その他' (Others) section, and 10 to the 'その他項目を追加' (Add other items) button.

1 アカウント

- 登録するアカウントを設定します。

2 画像

- 発着信時や連絡先確認時に表示する画像を登録します。

3 姓、名

4 姓のふりがな、名のふりがな

5 電話

6 メール

7 グループ

- グループを利用している場合のみ表示されます。

8 着信音

9 ヒカリエモーション

10 その他項目を追加

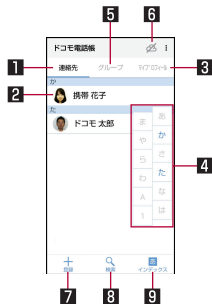
- 住所や所属などの項目を追加します。

4 [登録完了]

電話帳の確認／利用

登録した連絡先を呼び出して電話をかけたり、メールを送信したり
できます。

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ▶【ドコモ電話帳】▶【連絡先】
- 2 名前を選ぶ



- ## 1 連絡先

- ## 2 画像

- ### 3 マイプロフィール

- ドコモnanoUIMカードに登録されているお客様の電話番号を表示できます。

- #### 4 インデックスバー

- タッチした見出しに移動できます。

- ## 5 グループ

- ## 6 クラウドの利用

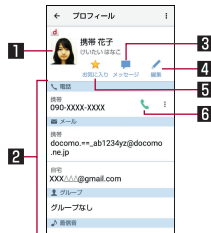
- ## 7 登録

- ## 8 検索

- ## 9 インデックス

- インデックスバーを表示します。

- ### 3 登録情報を確認／利用する



- ## 1 画像

- ## 2 登録内容

- 登録内容を確認／利用できます。

- ### 3 メッセージ送信

- ## 4 編集

- ## 5 お気に入り

- お気に入りに設定します。
- お気に入りに設定した連絡先はグループの[お気に入り]で確認できます。
- アカウントによっては設定できない場合があります。

- ## 6 発信

■ 表示するアカウントを選択

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ▶[ドコモ電話帳]▶[連絡先]
- 2 [:]▶[設定]▶[表示するアカウント]
- 3 項目を選ぶ▶[決定]
 - 表示するアカウントをカスタマイズ:[カスタマイズ...]▶アカウントを選ぶ▶グループを選ぶ▶[OK]

■ 電話帳の共有

電話帳データを別の端末に送信したり、クラウド上に保存したりできます。

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ▶[ドコモ電話帳]▶[連絡先]
- 2 名前を選ぶ▶[:]▶[共有]
 - 全件送信[:]▶[SDカード/SIMカード/共有]▶[全件データ送信(共有)]▶連絡先のエクスポートが完了したら、ステータスバーを下にドラッグし通知をタッチ
- 3 共有ツールを選ぶ
 - 以降は画面の指示に従って操作してください。

電話帳の削除

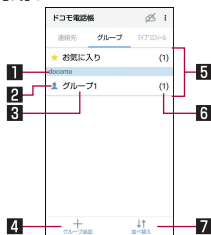
- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ▶[ドコモ電話帳]▶[連絡先]
- 2 [:]▶[連絡先削除]
- 3 名前を選ぶ▶[決定]▶[OK]
 - 全件削除:[全選択]▶[決定]▶[OK]

電話帳の編集

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ▶[ドコモ電話帳]▶[連絡先]
- 2 名前を選ぶ
- 3 [編集]
- 4 各項目を設定▶[登録完了]
 - 設定できる各項目の詳細についてはP.85「電話帳の登録」

グループの利用

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ▶[ドコモ電話帳]▶[グループ]
- 2 グループを利用する



- 1 アカウント
- 2 グループのアイコン
- 3 グループ名
- 4 グループ追加
 - グループを追加できます。
- 5 グループ
- 6 グループに登録されている連絡先の数
- 7 並べ替え

- docomoのアカウントのグループ以外は並べ替えることができません。

■ グループへの登録／解除

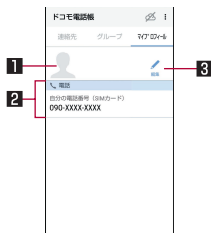
- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ▶[ドコモ電話帳]▶[グループ]
- 2 グループを選ぶ
- 3 [メンバー削除]／[メンバー追加]
- 4 名前を選ぶ▶[決定]▶[OK]

- グループはdocomoのアカウントやGoogleアカウントなどで作成された連絡先に対して利用できます。

マイプロフィール

ドコモnanoUIMカードに登録されているお客様の電話番号を表示できます。名前やメールアドレスなどを登録することもできます。

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ▶[ドコモ電話帳]▶[マイプロフィール]
- 2 プロフィールを確認／利用する



- 1 画像
- 2 登録内容
- 3 編集

■ マイプロフィールの共有

お客様のプロフィールを別の端末に送信したり、クラウド上に保存したりできます。

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ▶[ドコモ電話帳]▶[マイプロフィール]
- 2 [:]▶[共有]
- 3 共有ツールを選ぶ
 - 以降は画面の指示に従って操作してください。

■ マイプロフィールの編集

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ▶[ドコモ電話帳]▶[マイプロフィール]
- 2 [編集]
- 3 各項目を設定▶[登録完了]

電話帳のバックアップ／復元

電話帳をドコモnanoUIMカードから復元したり、microSDカードを利用してバックアップ／復元したりできます。

- microSDカードへのバックアップ／復元については
P.141「microSDカードへのバックアップ・復元」

■ ドコモnanoUIMカードから復元

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ▶[ドコモ電話帳]▶[連絡先]
- 2 [:]▶[SDカード／SIMカード／共有]
- 3 [SIMカードから復元]
- 4 インポートする連絡先を選ぶ▶[決定]

メール／ウェブブラウザ

ドコモメールや+メッセージ、Gmailなどを利用して、メッセージを送受信したり、Chromeを利用してサイトを表示したりできます。

ドコモメール

ドコモのメールアドレス(@docomo.ne.jp)を利用して、メールの送受信ができます。送受信したメールはドコモのメールサーバに保存されるので、機種変更時のデータ移行や、端末紛失時のデータ復旧が簡単に行えます。またdアカウントを利用すれば、タブレットやPCブラウザなど複数のデバイスから同一のメールアドレスを使ってメールの送受信や閲覧が行えます。

- ドコモメールの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
https://www.nttdocomo.co.jp/service/docomo_mail/

1 ホーム画面で[✉]

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

+メッセージ

携帯電話番号を宛先にして、テキストメッセージだけでなく、画像、動画、スタンプ等をチャット形式で送受信できます。また、1対1でのメッセージのやりとりだけでなく、複数人でのグループメッセージのやりとりもできます。

- +メッセージを利用していない相手とは、+メッセージアプリでショートメッセージサービス(SMS)での送受信をすることができます。
- +メッセージの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
https://www.nttdocomo.co.jp/service/plus_message/

1 ホーム画面で[+メッセージ]

- [👤] をタッチすると連絡先一覧画面が、[⋮] をタッチするとメッセージ一覧画面が表示されます。



1 切替タブ

- タッチすることで、すべての連絡先を表示するか、+メッセージの利用者([+])のアイコンが表示されている連絡先のみを表示するか、切り替えることができます。

2 マイプロフィール

- お客様の連絡先が表示されています。タッチすることでマイプロフィールを表示・編集できます。

3 お気に入りの連絡先

- お気に入りに設定した連絡先が連絡先一覧の上段、マイプロフィールの下に表示されます。

4 +

- +メッセージを利用している連絡先を表すアイコンです。このアイコンが表示されている連絡先とグループメッセージのやりとりができたり、写真、スタンプ等をやりとりしたりすることができます。

5 連絡先

- タッチすることで、連絡先の詳細を確認することができます。

6 +

- タッチすることで連絡先を追加できます。

7 プロフィール画像

- 相手のプロフィール画像が表示されます。連絡先に登録されたプロフィール画像より、相手が登録したプロフィールの画像が優先して表示されます。

8 メッセージ

- タッチするとメッセージ画面を表示することができます。

9 ⋮

- サブメニューを表示します。
 - ・ [すべて既読]: 未読メッセージをすべて既読にします。
 - ・ [メッセージの並べ替え]: メッセージの並べ替えを行います。
 - ・ [マイページ]: マイページを表示します。マイページではプロフィールの編集、設定、スタンプストアなどが利用できます。

10 +

- 新しいメッセージと新しいグループメッセージを作成できます。

メッセージを送信する

1 ホーム画面で[+メッセージ]

2 [メッセージ] ▶ [グループメッセージ] / [新しいグループメッセージ]

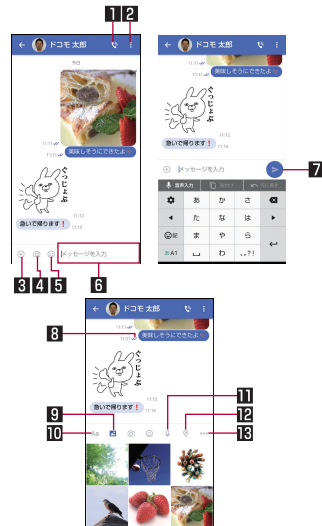
- グループメッセージとは、+メッセージサービス利用者(連絡先に[+]マークがついている人)複数人でメッセージのやりとりができる機能です。

3 宛先を選ぶ

- 連絡先の登録されていない宛先に送信する場合は、[Q]をタッチし、電話番号を直接入力してください。
- グループメッセージの場合は、宛先を複数選択後、[OK]をタッチしてください。

4 メッセージ入力欄をタッチして文字を入力▶[送信]

- 宛先が+メッセージ利用者であれば、写真や動画、スタンプを送信できます。





- 電話アプリが起動し、発信できます。



- サブメニューを表示します。
 - ・ 連絡先の登録や、通知設定の変更などができます。



- 写真やスタンプ、位置情報などを送信するためのシェアトレイを表示します。
 - ・ シェアトレイを表示すると、画像送信や音声録音などの機能が使用できます。



- タッチするとカメラが起動します。ロングタッチすると、写真が撮影されそのまま送信することができます。



- スタンプ選択画面に切り替えます。

6 メッセージ入力欄

- メッセージを入力することができます。



- 入力したメッセージを送信します。

8 メッセージ配信状態

- メッセージの配信状態を表示します。
 - ・ [✓]: 相手がメッセージを閲覧済み
送受信者両方の「メッセージの既読機能」設定がオンの場合のみ、お互いの既読状態を確認できます。
 - ・ [✓]: 相手が端末にメッセージを受信済み
 - ・ アイコン表示なし: サーバにメッセージを送信済み
 - ・ [✗]: メッセージ送信に失敗



- 画像選択画面に切り替えます。



- テキスト入力画面に切り替えます。



- 音声録音画面に切り替えます。



- 地図画面に切り替えます。



- 連絡先／スケッチ／ファイル共有が選択できます。

ショートメッセージサービス(SMS)についてのお知らせ

- 海外通信事業者をご利用のお客様との間でも送受信できます。
ご利用可能な国・海外通信事業者については、ドコモのホームページをご覧ください。
- 宛先が海外通信事業者の場合、「+」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力します。携帯電話番号が「0」で始まる場合は、先頭の「0」を除いた電話番号を入力します。また、「010」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力しても送信できます。
- 宛先に「#」または「★」がある場合、SMSを送信できません。

+メッセージについてのお知らせ

- 海外ローミングにより+メッセージアプリをご利用いただくには、+メッセージアプリにて海外ローミング時の+メッセージ利用設定を「オン」に設定していただく必要があります(初期設定は「オフ」に設定されています)。また、端末のデータローミングの設定を「オン」にしてください。
- 機種変更前、またはMNPによる転入前端末で+メッセージを利用されていた場合であっても、メッセージの受信を行うには+メッセージアプリを起動し、+メッセージ利用規約等に同意していただく必要があります。

メッセージを読む

送受信したメッセージは、宛先/送信者ごとにスレッドにまとめて表示されます。

1 ホーム画面で[+メッセージ]

2 [🗨️] ▶ 読みたいメッセージのスレッドを選ぶ

- メッセージを返信する際に使用する各機能については、「メッセージを送信する」(P.94)をご参照ください。

メッセージを転送する

1 ホーム画面で[+メッセージ]

2 [🗨️] ▶ スレッドを選ぶ

3 転送するメッセージをロングタッチ ▶ [📧]

4 宛先を選ぶ ▶ メッセージを入力 ▶ [➡️]

メッセージを削除する

1 ホーム画面で[+メッセージ]

2 [🗨️] ▶ スレッドを選ぶ

3 削除するメッセージをロングタッチ ▶ [🗑️] ▶ [削除]

- 本端末上のメッセージのみ削除され、相手側のメッセージは削除されません。
なお、削除したメッセージは元に戻すことができません。

スレッドを削除する

1 ホーム画面で[+メッセージ]

2 [🗨️] ▶ 削除するスレッドをロングタッチ

3 [🗑️] ▶ [削除]

- グループメッセージのスレッドを削除すると、グループから退出されます。

+メッセージの設定を変更する

1 ホーム画面で[+メッセージ]

2 [⋮] ▶ [マイページ] ▶ [設定]

3 項目を選ぶ

- **メッセージ**: メッセージに関する設定や、バックアップ・復元などができます。
- **写真や動画**: 送受信時の写真や動画などの添付ファイルなどに関する設定ができます。
- **テーマカラー・背景**: テマカラーやメッセージ画面の背景が設定できます。
- **通知**: 通知に関する設定ができます。
- **プライバシー**: パスコードやブロックなどが設定できます。
- **その他**: [ユーザー情報引継ぎの設定] や [+メッセージサービスの初期化] などができます。

Eメール

サービスプロバイダが提供するメールアカウントを設定して、メールの送受信ができます。

メールのアカウントの設定

- 利用するアカウントによっては、設定する項目などが異なる場合があります。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ ▶ [メール]

- アカウントが設定されていない場合のみ、アカウント設定画面が表示されます。

2 メールアドレスを入力 ▶ [▶]

3 パスワードを入力 ▶ [▶]

- いくつかのメールアカウントについてプロバイダ情報がプリセットされており、受信メールサーバーと送信メールサーバーの設定が自動で行われます。
- プロバイダ情報がプリセットされていないアカウントの場合は、受信メールサーバーと送信メールサーバーの設定を手動で行う必要があります。設定については、ご利用のプロバイダにお問い合わせください。

4 アカウントを設定する ▶ [▶]

5 アカウントの名前、あなたの名前を入力 ▶ [▶]

メールの送信

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ▶[メール]

2 [📧]

3 メールを作成



1 アカウント

- 複数のアカウントを設定している場合、アカウントを切り替えられます。

2 宛先

- 電話帳に登録してあるメールアドレスや名前の一部を入力すると、宛先の候補が表示されます。

3 件名

4 本文

5 ファイル添付

6 宛先の追加

- タッチすると、CcやBccを追加できます。

4 [📧]

- 受信側の機種によっては件名をすべて受信できないことがあります。

- Gmailのアカウントで送信したメールは、パソコンからのメールとして扱われます。受信側の機種がパソコンからのメール受信拒否を設定している場合、メールを送信できません。
- 何らかの原因で送信できなかったメールは、未送信メールとして送信失敗フォルダに保存されます。
- 電波状況などにより、受信側で文字が正しく表示されないときがあります。

ファイルの添付について

- 最大約5Mバイトまでのファイルを添付できます。添付できる個数に制限はありません。
- 受信側の端末によっては、受信できなかったり、正しく表示・再生できなかったりすることがあります。また、動画が粗くなったり、連続静止画に変換されたりすることがあります。

メールの表示

- 利用するアカウントによっては、表示される画面が異なる場合があります。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ▶[メール]

2 メールを選ぶ



1 表示中のトレイ名／フォルダ名

- [メール] をタッチするとフォルダ／アカウントの切り替えや設定ができます。

2 メール

- 既読メールのときは、送信元や件名が細字の表示になります。
- 画像をタッチするとメールにチェックが付き、一括で削除／未読／既読などに設定できます。

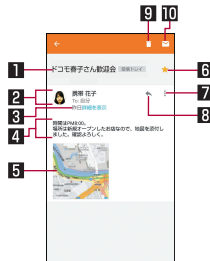
3 メール検索

4 スターアイコン

- 特別なメールやあとで対応する必要があるメールの目印として利用できます。
- スターを付けたメールは、スター付きフォルダで確認することができます。

5 メール新規作成

3 メールを確認する



1 件名

2 送信元／宛先

- 電話帳に登録されている相手の場合は、画像をタッチすると電話帳の登録情報が表示されます。電話帳に登録されていない相手の場合は、タッチすると電話帳に登録できます。

3 受信日時

- タッチすると、送信元や宛先、受信日時の詳細の表示／非表示を切り替えられます。

4 本文

5 添付ファイル

6 スターアイコン

- 特別なメールやあとで対応する必要があるメールの目印として利用できます。
- スターを付けたメールは、スター付きフォルダで確認することができます。

7 各メールのメニュー

- タッチするとメールごとに関員に返信や転送、印刷することができます。

8 返信

9 削除

10 未読にする

メールの返信／転送

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ▶[メール]

2 メールを選ぶ

3 [↩]

- 全員に返信:各メールの[⋮]▶[全員に返信]
- 転送:各メールの[⋮]▶[転送]

4 メールを作成



1 返信種別

- タッチすると返信／全員に返信／転送を切り替えられます。

2 宛先

3 本文

4 元のメッセージ

- タッチすると、送信元のメールの表示／非表示を切り替えられます。
- 転送のときは操作できません。

5 送信元のメール

6 件名

7 引用返信

- 送信元のメールを本文に入力します。

5 [➤]

メールの削除

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ ▶ [メール]

- メールを選択削除:メールの画像をタッチ ▶ [] ▶ [OK]

2 メールを選ぶ

3 [] ▶ [OK]

メールの設定

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ ▶ [メール]

2 [] ▶ [設定]

3 項目を選ぶ

- **全般設定**:メール全般について設定します。
- **アカウントを追加**:アカウントの追加ができます。
- **プライバシーポリシー**:プライバシーポリシーを確認できます。
- アカウントを選ぶと、署名や同期頻度など、各アカウントの詳細について設定できます。

Gmail™

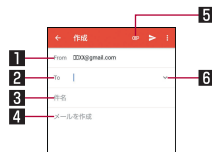
Googleのメールサービスや一般のサービスプロバイダが提供するEメールを利用できます。

- GoogleアカウントやEメールアカウントを設定していない場合は、画面の指示に従って設定してください。

1 ホーム画面で「Google」を選ぶ ▶ [Gmail]

2 []

3 メールを作成



1 アカウント

- 複数のアカウントを設定している場合、アカウントを切り替えられます。

2 宛先

- [連絡先の提案を許可] をタッチして電話帳の利用を許可すると、電話帳に登録してあるメールアドレスや名前の一部を入力したときに、宛先の候補が表示されます。

3 件名

4 本文

5 ファイル添付

6 宛先の追加

- タッチすると、CcやBccを追加できます。

4 [≡]

メールの表示

- 利用するアカウントによっては、表示される画面が異なる場合があります。

1 ホーム画面で「Google」を選ぶ▶[Gmail]

2 スレッドを選ぶ

- Gmailでは、返信ごとにメールをスレッドにまとめて表示します。新着メールが既存のメールへの返信メールであれば、それらは同じスレッドにまとめられます。新規のメールや件名を変更したメールについては、新しいスレッドが作成されます。



1 表示中のトレイ名／ラベル名

- [≡] をタッチすると表示種別／アカウントの切り替えや設定ができます。

2 スレッド

- スレッド内がすべて既読メールのときは、送信元や件名が細字の表示になります。
- 画像をタッチするとスレッドにチェックが付き、一括でアーカイブ／削除／未読／既読などに設定できます。

3 メール検索

4 スレッド内のメール件数

5 スターアイコン

- 特別なスレッドやあとで対応する必要があるスレッドの目印として利用できます。
- スターを付けたスレッドは、スター付きフォルダで確認することができます。

6 メール新規作成

3 メールを確認する



1 件名

2 まとめられたメール

- タッチするとまとめられたメールを表示します。

③ 送信元／宛先

- 画像をタッチすると利用できる機能が表示されます。利用できる機能は、電話帳の登録内容によって異なります。
- 送信元をタッチすると詳細表示／簡易表示を切り替えられます。

④ 本文

⑤ 添付ファイル

⑥ スターアイコン

- 特別なスレッドやあとで対応する必要があるスレッドの目印として利用できます。
- スターを付けたスレッドは、スター付きフォルダで確認することができます。

⑦ 返信

⑧ 各メールのメニュー

- タッチするとメールごとに全員に返信や転送、スターを付ける／スターを外す、印刷、送信元からのメールのブロック／ブロック解除をすることができます。

⑨ 受信日時

- タッチすると、送信元や宛先、受信日時の詳細の表示／非表示を切り替えられます。

⑩ メッセージ全体を表示

⑪ アーカイブ

⑫ 削除

⑬ 未読にする

メールの返信／転送

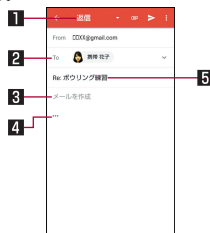
1 ホーム画面で「Google」を選ぶ▶[Gmail]

2 スレッドを選ぶ

3 [◀]

- 全員に返信:各メールの[⋮]▶[全員に返信]
- 転送:各メールの[⋮]▶[転送]

4 メールを作成



① 返信種別

- タッチすると返信／全員に返信／転送を切り替えられます。

② 宛先

③ 本文

④ 送信元のメッセージ

- タッチすると送信元のメールを本文に入力します。

⑤ 件名

5 [▶]

スレッドの削除

- 1 ホーム画面で「Google」を選ぶ ▶ [Gmail]
 - スレッドの選択削除: スレッドの画像をタッチ ▶ 
- 2 スレッドを選ぶ
- 3 

Gmailの設定

- 1 ホーム画面で「Google」を選ぶ ▶ [Gmail]
- 2  ▶ [設定]
- 3 項目を選ぶ
 - **全般設定**: Gmail全般について設定します。
 - **アカウントを追加**: アカウントの追加ができます。
 - アカウントを選ぶと、通知や署名など、各アカウントの詳細について設定できます。

緊急速報「エリアメール」

エリアメールは、気象庁が配信する緊急地震速報、津波警報、気象等に関する特別警報、国・地方公共団体が配信する災害・避難情報を、回線混雑の影響を受けずに受信できるサービスです。

- エリアメールはお申し込み不要の無料サービスです。
- 最大50件まで保存できます。最大保存件数を超えると、受信日時が古いエリアメールから順に削除されます。
- 次の場合はエリアメールを受信できません。
 - 電源オフ時
 - 国際ローミング中
 - 機内モード中
 - ソフトウェアアップデート中
 - PINコード入力画面表示中
 - 他社のSIMカードをご利用時
 - 音声通話中(VoLTE音声通話中を除く)
- 端末のメモリの空き容量が少ないとき、テザリング設定中およびパケット通信を利用している場合は、エリアメールを受信できないことがあります。
- 受信できなかったエリアメール(緊急地震速報)を再度受信することはできません。エリアメール(津波警報、気象等に関する特別警報、災害・避難情報)は再送され、受信できなかった場合は再度受信が可能になります。

緊急速報「エリアメール」を受信する

エリアメールを受信すると、内容通知画面が表示され、専用ブザー音または専用着信音とバイブレーションでお知らせします。

- 専用ブザー音および専用着信音は変更できません。

1 エリアメールを自動的に受信

2 受信すると専用ブザー音または専用着信音が鳴り、ステータスバーにアイコンが表示され、エリアメールの本文が表示される

■ 受信したエリアメールをあとで確認する

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ ▶ [災害用キット]

2 [緊急速報「エリアメール」]

3 メールを選ぶ

■ エリアメールを削除する

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ ▶ [災害用キット]

2 [緊急速報「エリアメール」]

3 メールの[□]

4 [削除] ▶ [OK]

緊急速報「エリアメール」を設定する

エリアメールを受信するかどうかや、受信時の動作などを設定します。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ ▶ [災害用キット] ▶ [緊急速報「エリアメール」] ▶ [:] ▶ [設定]

- ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ ▶ [設定] ▶ [音] ▶ [詳細設定] ▶ [エリアメール] でもエリアメールを設定できます。

2 項目を選ぶ

- **エリアメールの許可**: エリアメールを受信するかどうかを設定します。
- **エリアメールの履歴**: 受信したエリアメールの一覧を表示します。
- **バイブレーション**: エリアメール受信時のバイブレーションを設定します。
- **メッセージ受信を再通知する**: 受信したエリアメールを再通知させるかどうかを設定します。
 - 再通知は専用音とバイブレーションでお知らせします。
 - [1回]を設定した場合、エリアメールを受信した2分後に1度だけ再通知されます。
 - [2分毎]を設定した場合、エリアメールを受信した2分後から2分おきに最大3回再通知されます。
 - [15分毎]を設定した場合、エリアメールを受信した15分後から15分おきに最大3回再通知されます。

- **最大音量を使用する**：エリアメール受信時の音量を設定します。
 - ONにした場合、マナーモード設定時においても最大音量で鳴動します。
 - OFFにした場合、アラーム音量に従って鳴動します。
ただし着信音量が0の場合は、アラーム音量には従わず鳴動しません。
- **受信画面および着信音確認**：緊急地震速報、津波警報、災害・避難情報／気象等特別警報のエリアメールを受信したときの受信画面とブザー音・着信音を確認します。
- **やさしい日本語表示**：緊急地震速報、津波警報をわかりやすい日本語で表示するかどうかを設定します。
- **翻訳・アプリ連携設定**：受信内容を翻訳したり、他のアプリとの連携機能を利用するかどうかを設定します。

Chrome

パケット通信やWi-Fi機能による接続でサイトを表示できます。

サイトの表示

1 ホーム画面で

- サイトによっては、正しく表示されない場合があります。

■ サイトの検索

1 URL入力欄をタッチ



2 キーワードを入力▶キーワードを選ぶ

- 入力した文字を含むキーワードを一覧表示します。
- キーワードを最後まで入力して[実行]でも検索できます。
- ページの再読み込み：Chrome画面で[⋮]▶[🔄]

■ 新しいタブを開く

1 Chrome画面で[⋮]▶[新しいタブ]

■ タブの切替

1 Chrome画面で[2]

- アイコン内の数字は、開いているタブの件数によって異なります。

2 タブを選ぶ

■ タブを閉じる

1 Chrome画面で[2] ▶ [X]

- アイコン内の数字は、開いているタブの件数によって異なります。

■ シークレット タブを開く

閲覧履歴や検索履歴を残さずにサイトを表示できます。

1 Chrome画面で[⋮] ▶ [新しいシークレット タブ]

- シークレット タブで表示中はURL入力欄の周囲が灰色で表示されます。

2 URL入力欄をタッチ▶キーワードを入力▶[実行]

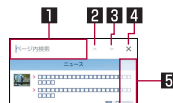
- シークレット タブを閉じる: Chrome画面で[1] ▶ [X]

- シークレット タブで表示したサイトはChromeの履歴には残りません(※P.108「履歴からのサイト表示」)。また、シークレットタブをすべて閉じると、Cookieなどの記録も削除されます。シークレットタブでもファイルのダウンロードやブックマークの登録は行えます。

■ ページ内の文字の検索

1 Chrome画面で[⋮] ▶ [ページ内検索]

2 検索する



1 キーワード入力欄

- 検索するキーワードを入力します。

2 前へ

3 次へ

4 検索終了

5 検索結果バー

- タッチした検索結果に移動できます。

■ 文字のコピー

1 Chrome画面でコピーする文字をロングタッチ

2 始点から終点までドラッグ

- コピー範囲の変更: [●] / [●] をドラッグ

3 [コピー]

■ 便利な機能

リンクを新しいタブで表示したり、画像などをダウンロードしたりできます。

1 Chrome画面でリンク／画像をロングタッチ▶利用する機能を選ぶ

Chromeの設定

1 Chrome画面で[:]▶[設定]

2 項目を選ぶ

- **Chromeにログイン**: GoogleアカウントでChromeにログインします。同じアカウントでChromeを利用していた際のタブやブックマーク、履歴などの情報を同期できます。
- **検索エンジン**: URL入力欄から検索するときに利用する検索エンジンを設定します。
- **自動入力とお支払い**: 自動入力をするときに利用する住所やクレジットカードの情報を設定します。
- **パスワード**: パスワードの保存について設定します。
- **通知**: Chromeからの通知について設定します。
- **ホームページ**: ホームページを設定します。
- **プライバシー**: 利便性向上のために閲覧情報が使用される機能について設定します。
- **ユーザー補助機能**: 文字のサイズやズームなどの画面表示について設定します。
- **サイトの設定**: サイトの表示についてや、サイトが利便性向上のために使用できる情報について設定します。
- **言語**: サイトを表示する言語を設定します。表示可能な場合、設定した言語で表示できます。

- **データセーバー**: データ使用量を抑えるようにするか設定します。
- **Chromeについて**: Chromeの情報を確認できます。

ブックマークや履歴の利用

■ ブックマークの登録

1 Chrome画面で[:]▶[☆]

■ ブックマークからのサイト表示

1 Chrome画面で[:]▶[ブックマーク]

2 ブックマークを選ぶ

■ 履歴からのサイト表示

1 Chrome画面で[:]▶[履歴]

2 履歴を選ぶ

カメラ

カメラについて

静止画や動画を撮影できます。撮影したい被写体に合わせてカメラの設定を切り替えることができます。

- カメラの有効画素数や記録ファイル形式、ズームの最大倍率などについてはP.210「主な仕様」

カメラをご利用になる前に

- レンズ部が指紋や油脂などで汚れると、ピントが合わなくなったり、画像がぼやけることがあります。撮影する前に、柔らかい布などで拭いてください。
- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見える画素や線、暗く見える画素や線もあります。また、特に光量が少ない場所での撮影では白い線などのノイズが増えますので、ご了承ください。
- カメラのレンズ部に直射日光が長時間当たると、内部のカラーフィルターが変色して映像が変色することがあります。
- 端末を暖かい場所に長時間置いていたあとで撮影または保存したときは、画質が劣化することがあります。
- 太陽やランプなどの強い光源が含まれる撮影環境で被写体を撮影しようとすると、画像が暗くなったり画像が乱れたりすることがありますので、ご注意ください。
- 太陽を直接撮影すると、CMOSの性能を損なうことがありますので、ご注意ください。
- 内部温度の高い状態のまま使用し続けると、警告画面が表示され、撮影データを保存し、自動終了します。

- [フォーカス設定]を切り替えたとき、カメラのレンズが動作する音が聞こえますが、異常ではありません。
- カメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- 撮影時は、カメラのレンズに指や髪などがつかないようにしてください。
- 撮影サイズを大きくすると情報量が多くなるため、端末に表示される画像の動きが遅くなることがあります。
- 室内で撮影するとき、蛍光灯などの影響で画面がちらついたり、すじ状の濃淡が発生したりすることがあります。室内の照明条件や明るさを変えたり、カメラの明るさやホワイトバランスを調整したりすることにより、画面のちらつきや濃淡を軽減できるときがあります。
- 撮影した静止画は、DCF1.0準拠(ExifVer.2.3、JPEG準拠)の形式で保存されます。
- カメラの設定や撮影環境によっては、本端末の内部温度が高くなり、撮影が停止する場合があります。
- microSDカードへ保存中に他のアプリからmicroSDカードを利用した場合、保存に失敗することがあります。

著作権・肖像権について

お客様が端末で撮影または録音したものは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用、改変などとすると、肖像権の侵害となる場合がありますので、そのようなご利用もお控えください。撮影したものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権には十分にご注意ください。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。著作権にかかわる画像の伝送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外にご利用になれませんので、ご注意ください。お客様が本端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律、条例(迷惑防止条例など)に従い処罰されることがあります。カメラ付き端末を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

■ カメラを使用中の動作について

- 起動中に約3分間何も操作しないと自動的に終了します。
- シャッター音の音量は変更できません。

■ カメラの撮影サイズ

設定できる撮影サイズは次のとおりです。

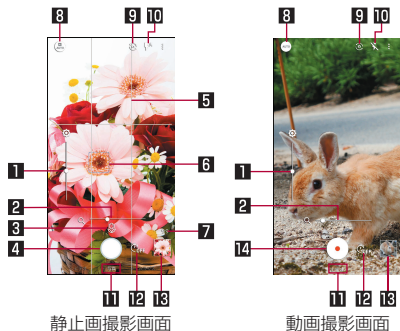
静止画撮影

画面比率	撮影サイズ	アウトカメラ	インカメラ
18:9	8.0M(4000×2000)	○	×
	5.3M(3264×1632)	×	○
	1.8M(1920×960)	○	○
16:9	4K2K(3840×2160)	○	×
	6.0M(3264×1836)	×	○
	FULL HD(1920×1080)	○	○
4:3	12.0M(4000×3000)	○	×
	8.0M(3264×2448)	×	○
	2.8M(1920×1440)	○	○
1:1	5.8M(2400×2400)	○	○

動画撮影

画面比率	撮影サイズ	アウトカメラ	インカメラ
18:9	1.8M(1920×960)	○	○
16:9	FULL HD(1920×1080)	○	○
	HD(1280×720)	○	○
4:3	1.6M(1440×1080)	○	○
1:1	1.2M(1080×1080)	○	○

撮影画面の見かた



1 明るさ調整

- 明るさを調整します。上下にスライドで表示／設定できます。

2 ズーム

- 被写体を拡大／縮小します。ピンチアウト／ピンチインで表示／設定できます。

3 認識アイコン

- 撮影メニューを[AIオート]に設定している場合は、次のシーンや被写体をAIが認識するとアイコンを表示します。
 - ・ 人物：[人]
 - ・ 料理：[料理]
 - ・ 花：[花]
 - ・ 夕景：[夕景]

・ 花火：[花火]

・ 白板／黒板：[白板／黒板]

- 認識したシーンや被写体によって最適な画質やシャッタースピードで撮影します。白板／黒板を認識した状態で撮影した場合は確認画面が表示され、[補正する]をタッチすると正面から見たような写真へ補正します。

4 静止画撮影

- 静止画を撮影します。

5 ガイド線

- [ガイド線]を設定していると表示されます(※P.117「静止画撮影の設定」)。

6 フォーカスマーク

- [オート]モードのときや、[フォーカス設定]を[顔優先AF]に設定している場合は、人の顔を検出してフォーカスマークを表示します。

7 撮影可能枚数

- 撮影可能枚数が99枚以下になると表示されます。

8 撮影メニュー

9 イン／アウトカメラ切替

10 モバイルライト

- 静止画撮影時にはフラッシュ(撮影の瞬間に点灯)に設定することもできます。

11 撮影モード

- 左右にスライドすると撮影モードを切り替えることができます(モードチェンジャー)。

12 セルフタイマー

- [セルフタイマー表示] をONに設定していると表示されます(☞P.118「静止画撮影／動画撮影の共通設定」)。タッチするたびにセルフタイマーが5秒／10秒／OFFに設定されます。インカメラで撮影時はタッチするたびにセルフタイマーが3秒／5秒／OFFに設定されます。

13 アルバム／直前に撮影したデータ

- 直前に撮影したデータのサムネイルを表示します。タッチするとデータの確認などができます。直前に撮影したデータがない場合は、「アルバム」のショートカットを表示します。

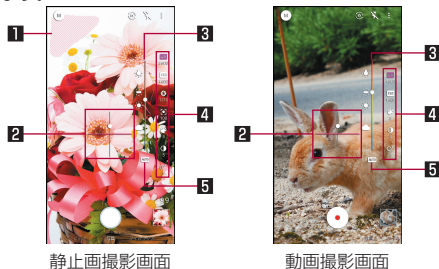
14 動画撮影開始

- 動画を撮影します。

● 撮影モードや撮影メニューによっては、画面上部や右端に設定変更用のアイコンが表示されます。アイコンをタッチすると設定を変更できます。

■ 撮影画面(マニュアル)

操作方法は撮影画面と同様です。ここでは、異なる操作について説明します。



1 白とび／黒つぶれ表示

- [白とび／黒つぶれ表示] をONに設定している場合、白とびや黒つぶれが起こる部分にしま模様を表示します(☞P.118「静止画撮影／動画撮影の共通設定」)。

2 水準器

- 撮影画面の傾きを確認できます。

3 調整バー

- ドラッグすると設定を調整できます。

4 設定アイコン表示エリア

- 右端を左にスライドすると、設定アイコンが表示されます。
- 設定アイコンをタッチすると調整バーが表示され、設定を調整することができます。
 - 表示されるアイコンで次の設定ができます。
 - ・ ホワイトバランス: [WB]
 - ・ ISO感度: [ISO]
 - ・ シャッター速度: [S]
 - ・ フォーカス: [AF]
 - ・ 彩度: [C]
 - ・ コントラスト: [CL]
 - ・ 明瞭度: [L]

5 自動調整

- タッチすると、自動調整に切り替わります。

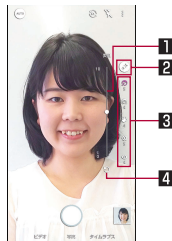
ISO感度について

- 高感度に設定すると、シャッタースピードが速くなるため、被写体ブレや手ブレが軽減されたり、暗い場所にある被写体でも明るく撮影できたりしますが、画質は粗くなります。

■ インカメラ撮影画面

操作方法はアウトカメラ利用時の撮影画面と同様です。インカメラ利用時には、AQUOS beauty(アクオスビューティ)アイコンで被写体の顔を補正することができます。

- 撮影メニューを静止画撮影時には[オート]／[マニュアル]に設定している場合に利用できます。動画撮影時には[マニュアル]に設定している場合に利用できます。
- 右端を左にスライドすると、AQUOS beautyアイコンが表示されます。



1 調整バー

- ドラッグすると設定を調整できます。

2 AQUOS beauty ON/OFF

- [ON]がON、[OFF]がOFFを表します。

3 AQUOS beautyアイコン表示エリア

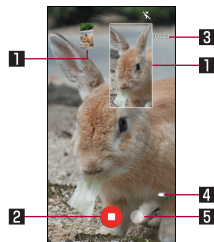
- AQUOS beautyがONの場合は、次のアイコンが表示されます。タッチすると調整バーが表示され、手動で設定を調整することができます。

- ・美肌補正: [美肌補正アイコン]
- ・小顔補正: [小顔補正アイコン]
- ・色合い補正: [色合い補正アイコン]
- ・明るさ補正: [明るさ補正アイコン]
- ・目の大きさ補正: [目の大きさ補正アイコン]

4 初期値に戻す

- タッチすると手動で調整した調整値が初期値に戻ります。

■ 動画撮影中画面



1 撮影された静止画

- 動画撮影中に静止画撮影すると表示されます。

2 動画撮影停止

3 撮影時間

4 電池残量

5 静止画撮影

■ 撮影モードの切替

1 ホーム画面で[カメラ]

2 画面下部を左右にスライドして撮影モードを切り替える

- **ビデオ**: 通常の動画を撮影します。撮影環境や被写体に合わせて撮影メニューを切り替えることができます。
- **写真**: 静止画を撮影します。撮影環境や被写体に合わせて撮影メニューを切り替えることができます。
- **タイムラプス**: 時間の流れを早回しして、時間を凝縮した動画を撮影します。

■ 撮影メニューの切替

撮影モードが[写真]／[ビデオ]の場合は撮影環境や被写体に合わせて撮影メニューを切り替えることができます。

1 ホーム画面で[カメラ]

2 画面下部を左右にスライドして撮影モードを[写真]／[ビデオ]に切り替える

3 撮影メニューアイコンをタッチ

4 項目を選ぶ

- **AIオート**: AIが被写体に合わせて撮影設定を調整します。
- **オート**: 被写体に合わせて自動的に調整するモードです。
- **マニュアル**: 設定アイコンで各種設定をマニュアルで調整するモードです。
- **くっきり**: くっきりとした写真を撮りたいときに明瞭度とコントラストを調整して撮影します。
- **ふんわり**: ふんわりとした写真を撮りたいときに明瞭度とコントラストを調整して撮影します。
- **逆光**: 逆光など明暗差がある写真を撮りたいときにホワイトバランスとコントラストを調整して撮影します。
- **残像**: 明かりがつかって残像のように見える写真を撮影します。
- **接写**: 被写体に近づいてインパクトのある写真を撮影します。
- **モノクロ**: モノクロ撮影するモードです。

静止画の撮影

1 ホーム画面で[カメラ]

2 画面下部を左右にスライドして撮影モードを[写真]に切り替える

- 撮影モードが[写真]のときは、切り替える必要はありません。

3 本端末のカメラ(アウトカメラ)を被写体に向ける

- 明るさの調整: 上下にスライド
- ズーム: ピンチアウト/ピンチイン
 - ・ 調整バーが表示されるので、調整バーを左右にスライドして調整することもできます。
 - ・ 最大倍率は約8.0倍です。
- フォーカスロック: 被写体をタッチ
 - ・ フォーカスマーク以外をタッチすると解除されます。
 - ・ フォーカス設定が[個別AE/AF]の場合、露出を合わせた箇所まで[AE]をドラッグします。

4 [○]/[+]/[-]

- [個別AE/AF]以外でフォーカスロックをしている場合、フォーカスマークをタッチしても撮影できます。
- [○]をロングタッチ、または[+]/[-]を1秒以上押すと、静止画を連続撮影することができます。

- フォーカスロックは、主に被写体の色をもとに移動を検出します。そのため被写体の色が薄かったり、背景の色と似ていたりするときは、正しく検出できないことがあります。

動画の撮影

1 ホーム画面で[カメラ]

2 画面下部を右にスライドして撮影モードを[ビデオ]に切り替える

- 撮影モードが[ビデオ]のときは、切り替える必要はありません。

3 本端末のカメラ(アウトカメラ)を被写体に向ける

- 明るさの調整: 上下にスライド
- ズーム: ピンチアウト/ピンチイン
 - ・ 調整バーが表示されるので、調整バーを左右にスライドして調整することもできます。
 - ・ 最大倍率は約8.0倍です。

4 [○]

- 動画撮影中に[○]をタッチ、または[+]/[-]を押すと静止画の撮影ができます。
- フォーカスロック: 操作方法は静止画撮影時と同様

5 [○]

- 動画撮影中に静止画を撮影した動画の再生について詳しくは、「静止画を含む動画の再生」(P.120)をご参照ください。

カメラの設定

- 利用中の撮影モードや利用するイン／アウトカメラなどによって、各機能の有無は異なります。

■ 静止画撮影の設定

1 ホーム画面で[カメラ]

2 画面下部を左右にスライドして撮影モードを[写真]に切り替える

- 撮影モードが[写真]のときは、切り替える必要はありません。

3 [⋮]

4 [写真]

5 項目を選ぶ

- **写真サイズ**: 静止画の撮影サイズを切り替えます。
- **ガイド線**: 撮影画面にガイドを表示できます。
- **インテリジェントフレーミング**: 静止画撮影時に、撮影した被写体や背景の位置や角度などにより、構図補正を自動的に行います。
 - 補正が必要ない場合は、機能は動作しません。
 - 補正された場合は、補正前と補正後の2枚の静止画を保存します。確認方法について詳しくは、「構図補正した静止画の表示」(P.120)をご参照ください。
- **HDR**: 逆光などコントラストが強いシーンで、白とび／黒つぶれを軽減して撮影するか設定します。
- **ワンタッチシャッター**: 画面をタッチして撮影するか設定します。

- **QRコード・バーコード認識**: QRコード・バーコードを検出し、対応したアプリを起動する通知を表示するか設定します。

■ 動画撮影の設定

1 ホーム画面で[カメラ]

2 画面下部を右にスライドして撮影モードを[ビデオ]に切り替える

- 撮影モードが[ビデオ]のときは、切り替える必要はありません。

3 [⋮]

4 [動画]

5 項目を選ぶ

- **動画サイズ**: 動画の撮影サイズを切り替えます。
- **画質とデータ量**: 動画圧縮規格を切り替えます。動画圧縮規格によって画質やデータ量が異なります。
- **マイク設定**: 音声を録音するか設定します。

■ 静止画撮影／動画撮影の共通設定

1 ホーム画面で[カメラ]

2 [⋮]

3 [共通]

4 項目を選ぶ

- **白とび／黒つぶれ表示**: 白とびや黒つぶれが起こる部分にしま模様を表示するか設定します。
- **水準器**: 水準器を表示するか設定します。
- **フォーカス設定**: 被写体に合わせてフォーカスを設定します。
 - ・ [顔優先AF] を設定している場合は、人の顔を検出します。
- **セルフタイマー表示**: セルフタイマーをセットし自動で撮影するか設定します。
- **ちらつき防止**: 蛍光灯のある場所で撮影するとき、画面にしま模様が出にくくなるように設定します。
- **保存先設定**: 保存先を設定します。
- **位置情報付加**: 位置情報を付加するか設定します。
- **ヘルプ**: 撮影画面に表示されるアイコンの機能やタッチパネルの操作、機能の使いかたについて確認することができます。
- **PHOTOSHOW (Webページ)**: シャープのサイトに接続し、シャープ製スマートフォンを使って撮影された写真を例に、カメラの機能や撮影方法を確認できます。
- **設定リセット**: 設定をリセットします。

アルバム

画像や動画をイベントや場所ごとに振り分けて整理し、利用することができます。

1 ホーム画面で[アルバム]

2 [≡] ▶ カテゴリを選ぶ

3 データを選ぶ

- データの削除: データをロングタッチ ▶ [🗑️] ▶ [はい]

4 データを確認する

- ファイルが表示されない場合は、アルバムのデータベースファイルを削除することで正常に動作する可能性があります。端末とパソコンをUSBケーブルで接続して、本体メモリまたは microSD カードの /PRIVATE/SHARP/PM/DATABASE フォルダを削除してから使用してください。データベースファイルを削除した場合、作成されたイベントや場所などの情報も削除されます。十分にご確認の上、操作してください。

データの複数選択について

- データ一覧画面でデータをロングタッチするとデータ選択画面に切り替わります。他のデータをタッチして複数のデータを選択することができます。

データの振り分け

画像や動画を作成したグループごとに整理できます。

■ イベントごとに振り分け

- 1 アルバム画面で[≡] ▶ [イベント]
- 2 [未設定]
- 3 [✎] ▶ [イベントを新規作成]
- 4 分類するデータを選ぶ ▶ [作成]
- 5 [イベント名を入力する] ▶ イベント名を入力 ▶ [OK]

■ 場所ごとに振り分け

- 位置情報の付加されているデータは、自動的に地図上に振り分けられます。

- 1 アルバム画面で[≡] ▶ [場所]
- 2 [⋮] ▶ [場所設定]
- 3 分類するデータをロングタッチ ▶ 登録する位置までドラッグ ▶ [OK]

データの表示／非表示

すべての画像や動画を表示する表示モードと、あらかじめ設定した画像や動画を非表示にする非表示モードを利用できます。

■ データの表示／非表示を設定

非表示モードでデータを非表示にするか設定します。

- 非表示モードのときは設定できません。表示モードで設定してください。

1 アルバム画面でデータを選ぶ

2 [☺]／[☹]

- [☺]が表示、[☹]が非表示を表します。データを非表示に設定すると、アルバム画面のサムネイルにも[☹]が表示されます。

- 画像や動画の非表示設定は、「アルバム」アプリでのみ有効です。画像や動画を非表示に設定していても、他のアプリでは表示されます。

■ 表示モードの切替

表示モード／非表示モードを切り替えます。

1 アルバム画面で[⋮] ▶ [画像の表示／非表示]

2 [非表示モードへ切替]／[表示モードへ切替]

構図補正した静止画の表示

「カメラ」アプリで撮影した静止画が[インテリジェントフレーミング]により構図補正された場合、保存された静止画のサムネイルには[]が表示されます。補正前と補正後の2枚の静止画を切り替えて確認できます。

1 アルバム画面で静止画を選ぶ

- []をタッチすると、静止画の切替画面が表示されます。確認したい静止画をサムネイルで選択できます。
 - 静止画の削除や編集は、それぞれの静止画に対して行うことができます。
 - アルバム画面のサムネイルには、[★]のある静止画が表示されます。[☆]をタッチして切り替えることができます。
 - []をタッチすると、補正前と補正後の2枚の静止画がそれぞれのデータとして保存できます。

- 本端末の電源を入れた直後に「アルバム」アプリを起動した場合など、[]が表示されない場合があります。しばらくしてから「アルバム」アプリを起動し直してください。

静止画を含む動画の再生

撮影中に静止画を撮影した動画のサムネイルには[]が表示されます。

また、動画撮影中に撮影された静止画の1件表示画面にも[]が表示されます。

- 動画再生時に静止画を表示したり、静止画の管理などを行うことができます。

1 アルバム画面で静止画を含む動画を選ぶ▶[]

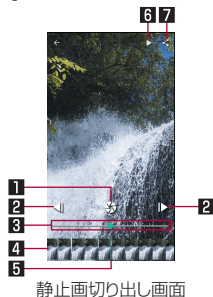
- 動画撮影中に撮影された静止画を選ぶ▶[]と操作しても再生できます。
- [写真も再生]を有効にすると、動画再生時に撮影した静止画を表示します。
- [この動画の写真を見る]をタッチ、または動画再生中に画面を上をスワイプすると、静止画の確認や削除などができます。

あとからキャプチャー

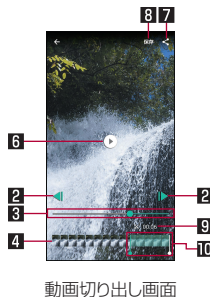
動画の中から静止画や動画を切り出して保存することができます。

1 アルバム画面で動画を選ぶ

2 [🔍] ▶ [静止画切り出し] / [動画切り出し]



静止画切り出し画面



動画切り出し画面

1 静止画切り出し

- タッチすると表示中のフレームを静止画として保存します。

2 コマ戻し／コマ送り

- 1コマ前／先のフレームを表示します。

3 シークバー

- シークバーをドラッグすると表示位置を変更できます。

4 サムネイル

5 表示位置

- 現在表示しているフレームの位置を表します。
- サムネイルをドラッグすると表示位置を変更できます。

6 再生／一時停止

7 共有

- タッチすると静止画／動画の切り出しが行われ、保存された静止画／動画を他のアプリで利用することができます。

8 動画切り出し

- 選択している範囲を別の動画として保存します。

9 再生時間

- 切り出す動画の再生時間を表示します。

10 動画切り出し範囲

- [🔍]をドラッグして切り出す範囲を設定します。

アプリ

dメニュー

dメニューでは、ドコモのおすすめするサイトや便利なアプリに簡単にアクセスすることができます。

1 ホーム画面で[dメニュー]

- dメニューのご利用には、パケット通信(LTE/3G/GPRS)もしくはWi-Fiによるインターネット接続が必要です。
- dメニューへの接続およびdメニューで紹介しているアプリのダウンロードには、別途パケット通信料がかかります。なお、ダウンロードしたアプリによっては自動的にパケット通信を行うものがあります。
- dメニューで紹介しているアプリには、一部有料のアプリが含まれます。

dマーケット

音楽、動画、書籍などのデジタルコンテンツの販売や、ショッピングサイトや旅行予約サイトなどさまざまなサービスを提供しています。

1 ホーム画面で[dマーケット]

- dマーケットの詳細については、以下のホームページをご覧ください。
<https://d.dmkt-sp.jp/common/about/index.html>

Play ストア

Google Playを利用すると、便利なアプリや楽しいゲームを端末にダウンロード、インストールすることができます。

- あらかじめGoogleアカウントを設定しておいてください(☞P.170「Googleなどのアカウントの設定」)。

1 ホーム画面で[Play ストア]

- ヘルプの表示:[三]▶[ヘルプとフィードバック]
- アプリのインストールに同意すると、アプリの使用に関する責任を負うこととなります。多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリには特にご注意ください。
- アプリのインストールは安全であることを確認の上、自己責任において実施してください。ウイルスへの感染や各種データの破壊などが発生する可能性があります。
- お客様がインストールしたGoogle LLCが提供するアプリを含む第三者提供アプリなどにより、各種動作不良や自己または第三者などへ不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- お客様がPlay ストアからインストールしたGoogle LLCが提供するアプリを含む第三者提供アプリにつきましては、各提供元にお問い合わせください。

アプリの購入

1 Google Play画面で購入するアプリを選ぶ

2 価格をタッチ

- 以降は画面の指示に従って操作してください。
- 無料のアプリのとき: [インストール]
- アプリの初回購入時は、支払い方法を選択してください。支払い方法によっては、Googleウォレット アカウントにログインする必要があります。
- アプリの購入後規定の時間以内であれば返金を要求することができます。アプリは削除され、料金は請求されません。なお、返金要求は、各アプリに対して最初の一度のみ有効です。過去に一度購入したアプリに対して返金要求をし、同じアプリを再度購入した場合には、返金要求はできません。アプリ購入時の支払い方法や返金要求の規定などについて詳しくは、Google Play画面で[≡] ▶ [ヘルプとフィードバック]をご覧ください。

- ダウンロードしたアプリによっては自動的にパケット通信を行うものがあります。パケット通信料が高額になる場合がありますのでご注意ください。
- アプリに対する支払いは一度だけです。一度ダウンロードしたあとにアンインストールしたアプリの再ダウンロードには料金はかかりません。
- 同じGoogleアカウントを設定しているAndroid™デバイスが複数ある場合、購入したアプリは他のデバイスすべてに無料でダウンロードすることができます。
- Google Playからのアプリの購入および返金などについては、当社では一切対応できかねますのであらかじめご了承ください。

■ アプリのアンインストール

1 Google Play画面で[≡] ▶ [マイアプリ&ゲーム]

2 [インストール済み]

3 アンインストールするアプリを選ぶ

4 [アンインストール] ▶ [OK]

おサイフケータイ

お店などの読み取り機に本端末をかざすだけで、お支払いやポイントカードなどとして使える「おサイフケータイ対応サービス」がご利用いただける機能です。

電子マネーやポイントなどを本端末のＩＣカード内、ドコモnanoUIMカード内に保存し、画面上で残高やポイントの確認などができます。また、おサイフケータイの機能をロックすることにより、盗難、紛失時に無断で使用されることを防ぐこともできます。おサイフケータイの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

※おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、サイトまたはアプリでの設定が必要です。

おサイフケータイ対応端末のご利用にあたって

- 本端末の故障により、ＩＣカード内データ※¹、ドコモnanoUIMカード内データ※²が消失・変化してしまう場合があります（修理時など、本端末をお預かりする場合は、データが残った状態でお預かりすることができませんので、原則データをお客様自身で消去していただきます）。データの再発行や復元、一時的なお預かりや移し替えなどのサポートは、おサイフケータイ対応サービス提供者にご確認ください。重要なデータについては、必ずバックアップサービスのあるおサイフケータイ対応サービスをご利用ください。
- 機種変更前のドコモnanoUIMカードを引き続き使う場合でも、ドコモnanoUIMカード内データを利用するおサイフケータイ対応サービスの利用には、おサイフケータイ対応サービス提供者のアプリのインストールおよび設定が必要です。
- 故障、機種変更など、いかなる場合であっても、ＩＣカード内データ、ドコモnanoUIMカード内データが消失・変化、その他おサイフケータイ対応サービスに関して生じた損害について、当社としては責任を負いかねます。
- 本端末の盗難、紛失時は利用停止などの対応方法について、速やかに当社およびご利用のおサイフケータイ対応サービス提供者へお問い合わせください。

※¹ おサイフケータイ対応端末に搭載されたＩＣカードに保存されたデータ

※² ドコモnanoUIMカードに保存されたデータ

「おサイフケータイ対応サービス」の利用

- おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、おサイフケータイアプリよりサービスを設定してください。なお、サービスによってはおサイフケータイ対応アプリのダウンロードが不要なものもあります。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ▶【おサイフケータイ】

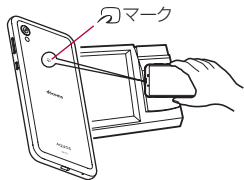
- 初期設定が完了していない場合は、初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

2 サービスを選ぶ

3 サービスを設定する

- サービスのアプリまたはサイトから設定してください。

4 端末のマークを読み取り機にかざす



- 機内モード中は、おサイフケータイ対応サービスを利用できません。ただし、読み取り機に本端末をかざしてのお支払いは利用できます。
- おサイフケータイ対応アプリを起動せずに、読み取り機にかざして利用することができます。
- 読み取り機との通信は、電源を切っていても利用できます。ただし、電源を長時間入れなかったり、電池残量が少ない場合や電源を入れてから一定時間は、利用できなくなることがあります。
- データセーバー（※P.148「データ使用量」）の設定にかかわらず、おサイフケータイ対応アプリはおサイフケータイ対応サービスの提供に必要な通信をバックグラウンドで行うため、パケット通信料がかかる場合があります。
- インストールしているおサイフケータイ対応アプリやアプリの設定によっては、画面ロック設定中や画面消灯中、本端末の電源を切っている状態では、読み取り機にかざして利用できない場合があります。
- 本端末の電源を入れたあと、再起動後およびソフトウェアアップデート後は、画面ロックを解除してから読み取り機にかざしておサイフケータイ対応サービスをご利用ください。
- spモードをご契約されていない場合は、おサイフケータイ対応サービスの一部機能がご利用できなくなる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

対向機にかざす際の注意事項

- 読み取り機やNFCモジュールが内蔵された機器など、対向機にかざすときは、以下のことに注意してください。
 - ㊟マークを対向機にかざす際には、強くぶつけたりせず、ゆっくりと近づけてください。
 - ㊟マークを対向機の中心へ平行になるようにかざしてください。中心にかざしても読み取れない場合は、本端末を少し浮かしたり、前後左右にずらしたりしてかざしてください。
 - ㊟マークと対向機の間に金属物があると読み取れないことがあります。また、ケースやカバーに入れたことにより、通信性能に影響をおよぼす可能性がありますので読み取れない場合はケースやカバーから取り外してください。

NFC／おサイフケータイ ロック

NFC／おサイフケータイ ロックを設定すると、おサイフケータイの機能やサービスの利用を制限できます。

- NFC／おサイフケータイ ロックは、本端末の画面ロック、SIMカードロック設定とは異なります。
- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ▶[設定]▶[接続済みの端末]▶[NFC／おサイフケータイ 設定]▶[NFC／おサイフケータイ ロック]
 - ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ▶[おサイフケータイ]▶[]でもNFC／おサイフケータイ ロックの設定を行うことができます。
 - 2 画面の指示に従って、NFC／おサイフケータイ ロックNo.を入力▶[OK]

- NFC／おサイフケータイ ロック設定中は、ステータスバーにまたはが表示されます。
- NFC／おサイフケータイ ロック設定中に電池が切れると、NFC／おサイフケータイ ロックが解除できなくなります。電池残量にご注意ください。電池が切れた場合は、充電後にNFC／おサイフケータイ ロックを解除してください。
- NFC／おサイフケータイ ロック設定中におサイフケータイのメニューをご利用になるには、NFC／おサイフケータイ ロックを解除してください。
- NFC／おサイフケータイ ロックNo.は、本端末を初期化しても削除されません。
- NFC／おサイフケータイ ロック解除時には、NFC／おサイフケータイ ロックの設定を行った際の端末に挿入されていたドコモnanoUIMカードを挿入した状態で解除を行ってください。

NFC／おサイフケータイ 設定

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ▶[設定]▶[接続済みの端末]▶[NFC／おサイフケータイ 設定]
- 2 項目を選ぶ
 - **NFC／おサイフケータイ ロック**: NFC／おサイフケータイ ロックについてはP.126「NFC／おサイフケータイ ロック」
 - **Reader／Writer, P2P**: Reader／Writer, P2P機能を利用するか設定します。
 - **Androidビーム**: Androidビームを利用したデータ通信ができます。
 - AndroidビームについてはP.185「Androidビーム」
 - **タップ&ペイ**: タップ&ペイについてはP.127「タップ&ペイ」
 - **ロックNo.変更**: NFC／おサイフケータイ ロックのロック No.を変更します。

タップ&ペイ

おサイフケータイ対応サービスなど、読み取り機にかざして利用できるサービスの有効／無効の設定ができます。

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ▶[設定]▶[接続済みの端末]▶[NFC／おサイフケータイ 設定]▶[タップ&ペイ]
- 2 サービスを選ぶ
 - 以降は画面の指示に従って操作してください。
 - ヘルプの表示: []▶[ヘルプ]

iDアプリ

「iD」とは、ドコモが提供する電子マネーです。「iD」を設定したおサイフケータイをお店の読み取り機にかざして簡単・便利にショッピングができます。カード情報は複数枚登録できるので、特典などに応じて使い分けることもできます。

- おサイフケータイでiDをご利用の場合、iDアプリで設定を行う必要があります。
- iDサービスのご利用にかかる費用(年会費など)は、カード発行会社により異なります。
- 海外でiDアプリの設定・確認を行う場合は国内でのパケット通信料と異なります。
- iDに関する情報については、iDのホームページ(<https://id-credit.com/>)をご覧ください。

GPS／ナビ

マップを利用して、ストリートビューを表示したり、ルートの検索をしたりできます。また、表示中の地図の周辺施設をジャンル別に検索することもできます。

GPS機能の利用

- GPSとは、GPS衛星からの電波を受信して端末の位置情報を取得する機能です。現在地を測位するためには、[位置情報]をONに設定する必要があります(☞P.168「位置情報」)。
- 航空機、車両、人などの航法装置や、高精度の測量用GPSとしての使用はできません。これらの目的で使用したり、これらの目的以外でも、端末の故障や誤動作、停電などの外部要因(電池切れを含む)によって測位結果の確認や通信などの機会を逸したりしたために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- GPSは米国国防総省により運営されているため、米国の国防上の都合によりGPSの電波の状態がコントロール(精度の劣化や電波の停止など)される場合があります。また、同じ場所・環境で測位した場合でも、人工衛星の位置によって電波の状況が異なるため、同じ結果が得られないことがあります。
- GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、次の環境下では、電波を受信できない、または受信しにくい場合位置情報の誤差が300m以上になる場合がありますのでご注意ください。
 - 密集した樹木の中や下、ビル街、住宅密集地
 - 建物の中や直下
 - 地下やトンネル、地中、水中
 - 高圧線の近く
 - 自動車や電車などの室内

- 大雨や雪などの悪天候
- かばんや箱の中
- 端末の周囲に障害物(人や物)がある場合
- GPSアンテナ付近を手で覆い隠すように持っている場合
- 海外でGPS機能を利用するときは、各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報(緯度経度情報)に基づく地図上の表示が正確ではない場合があります。
- 現在地を測位する際に、自動的に衛星の運行情報などのアシストデータを取得し、パケット通信料がかかる場合があります。
- 位置情報から地図を表示した場合などは、パケット通信料がかかります。

マップ

現在地の測位や目的地までの詳しい移動方法のナビゲーションなどができます。

- 現在地を測位するためには、[位置情報]をONに設定する必要があります(※P.168「位置情報」)。

1 ホーム画面で「Google」を選ぶ▶[マップ]

2 マップを利用する

- 地図を回転: 1本の指でタッチパネルに触れたまま、別の指で回転したい方向に地図を動かす
- 立体的に表示: 2本の指で同時に上にスライド
- 現在地の測位: [📍]

■ ストリートビュー

1 マップ画面で任意の場所をロングタッチ

2 表示される画像をタッチ

- 表示する方角の変更: 画面を上下左右にスライド
- 表示する場所の移動: 画面を2回タッチ、青線をスライド
- コンパスモード: [🧭]

- ストリートビューは対応していない地域もあります。
- コンパスモードを利用すると、端末の地磁気コンパスとストリートビューで表示される方角が連動します。

■ ルートの検索

出発地から目的地までのルートを検索することができます。

1 マップ画面で[経路]

2 移動手段を選ぶ▶上の検索ボックスをタッチ

- 現在地を測位している場合は、現在地が入力されています。

3 出発地を入力

4 下の検索ボックスをタッチ

5 目的地を入力

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

■ 周辺の場所検索

表示中の地図周辺の場所を検索することができます。

1 マップ画面で検索ボックスをタッチ

2 検索したい場所を入力▶検索結果を選ぶ

- 場所を入力すると、入力した場所を検索し、一覧表示します。

3 検索結果を利用する

YouTube

YouTubeは無料オンライン動画ストリーミングサービスで、動画の再生、検索、アップロードを行うことができます。

1 ホーム画面で「Google」を選ぶ ▶ [YouTube]

2 動画を選ぶ

- 検索ボックスの表示: [Q]

時計

アラームや世界時計、タイマー、ストップウォッチを利用できます。

アラーム

指定した時刻にアラーム音やバイブレータでお知らせします。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ ▶ [時計] ▶ [アラーム]

2 登録先の時刻をタッチ

- 登録先の追加: [+]

3 時刻を選ぶ ▶ [OK]

4 各項目を設定



1 繰り返し

- 繰り返しを設定します。

2 アラーム音

- アラーム音を設定します。

③ ラベル

- ラベルを入力します。

④ 削除

- アラームを削除します。

⑤ アラームON/OFF

- アラームの有効/無効を切り替えます。

⑥ バイブレータ設定

- バイブレータを利用するか設定します。

⑦ 表示切替

- アラーム設定時刻に電源が入っていない場合は、アラームは動作しません。
- 通話中にアラーム設定時刻になると、相手の声と一緒に通知音が聞こえます。

■ アラームを止める

アラーム設定時刻になると、アラーム音やバイブレータでお知らせします。

1 アラーム鳴動中に[🔔]を[🔕]までスライド

- スヌーズの利用: [🔔]を[🔕]までスライド

ディスプレイの表示中に止める

タッチパネルのロック画面以外の画面を表示中にアラーム設定時刻になると、アラーム通知が表示されます。通知を利用してアラームを止めることができます。

1 アラーム鳴動中に[解除]

- スヌーズの利用: [スヌーズ]

■ アラーム音量の設定

1 アラーム画面で[🔔] ▶ [設定]

2 アラームの音量欄で音量を調節

世界時計

世界各地の都市の時刻を表示できます。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ ▶ [時計] ▶ [時計]

2 [🌐]

3 都市を選ぶ

タイマー

設定した時間が経過したときに、アラーム音でお知らせします。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ▶[時計]▶[タイマー]

2 時間を入力▶[●]

- 時間を1分追加:[+1:00]
- カウントダウンの停止:[⏸]
- カウントダウンのリセット:[リセット]
- 設定した時間が経過すると、アラーム音でお知らせします。
 - ・アラーム音の停止:[●]
- タッチパネルのロック画面以外の画面を表示中にタイマー設定時刻になると、通知が表示されます。通知の[停止]をタッチして、アラームを止めることができます。また、[1分追加]をタッチすると、タッチしてから1分後にアラームでお知らせします。

■ 名称の変更

1 タイマー画面で[ラベル]

2 名称を入力▶[OK]

■ タイマーの追加

1 タイマー画面で[タイマーを追加]

- タイマーの切替:上下にスライド

■ タイマーの削除

1 タイマー画面で[削除]

ストップウォッチ

ストップウォッチを利用して時間を計測します。ラップタイム(経過時間)/スプリットタイム(合計経過時間)も計測できます。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ▶[時計]▶[ストップウォッチ]

2 [●]

- ラップタイム/スプリットタイムの計測:[ラップ]

3 [⏸]

- 計測結果の共有:[共有]
- 計測結果のリセット:[リセット]

- ラップタイム/スプリットタイムを99件まで表示できます。

スケジュール

スケジュールを作成・管理できるアプリです。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ▶[スケジュール]

2 スケジュールを確認する



1 登録されているスケジュール

2 選択している日付、祝日名

3 音声入力

- 音声入力でmy daizを利用できます。

4 セバレータ

- タッチすると選択している日付のスケジュールを表示します。

5 新規作成

■ スケジュールの設定

1 スケジュール画面で[≡]▶[設定]

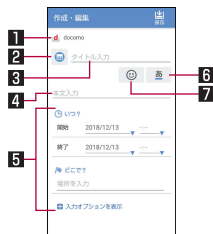
2 項目を選ぶ

- **アラーム**:アラームについて設定します。
- **起動画面**:スケジュールを起動したときの表示方法を設定します。
- **開始曜日**:カレンダーの開始曜日を設定します。
- **誕生日データ更新**:電話帳に登録されている誕生日を反映します。
- **クラウド設定**:クラウドを利用するか設定します。
- **海外利用設定**:本端末が海外にあると判断された場合に通信を伴う機能を制限するか設定します。

■ スケジュールの作成

1 スケジュール画面で[+]

2 各項目を設定



1 アカウント

- 登録するアカウントを設定します。

2 ラベル

- ラベルのアイコンや色を変更します。

3 タイトル

4 本文

5 詳細編集

- 日時や場所を設定します。[入力オプションを表示]をタッチすると、繰り返しやアラームなどの入力項目が追加されます。

6 文字色

- タイトルの文字色を変更します。

7 シール

- スケジュールを楽しくデコレートするようなシール(デコメ絵文字[®]／絵文字)を貼り付けたり、はがしたりできます。

3 [保存]

■ スケジュールの削除

1 スケジュール画面で日を選ぶ

2 スケジュールをロングタッチ



3 [1件削除] ▶ [削除する]

■ メモ

メモを作成・管理できるアプリです。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ ▶ [メモ]

2 [+]

3 メモを入力 ▶ [保存]

- メモの作成方法は、スケジュールの作成方法と基本的な部分は同様です。メモを作成する際、日時を設定するとスケジュールに分類されます。スケジュールについては
P.133「スケジュール」

電卓

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ▶「電卓」

2 計算する

- 関数電卓の表示: 操作キーの右端を左にスライド
- 計算結果のコピー: 計算結果をロングタッチ▶「コピー」
- ヘルプの表示: [:]▶「ヘルプ」
- 計算履歴の表示: 計算結果の表示部を下にスライド
 - ・ 履歴の削除: [X]▶「削除」▶「削除」

エモパー

あらかじめ登録したお客様の情報やエモパーの設定に基づき、タッチパネルのロック画面でさまざまな情報を音声や画面表示でお伝えします。エモパーの音声にお客様が声で応答すると、エモパーが音声や画面表示で反応します。

また、エモパーを使ったメモ機能(エモパーメモ)や、健康応援機能(エモパーヘルスケア)が利用できます。

利用するにつれて、お客様の端末使用状況を理解し、より適切なタイミングで情報をお伝えするようになっていきます。

- エモパーをご利用になる場合は、ポケット通信料がかかります。
- 自宅や周辺の施設情報などを認識するために、現在地を測位する場合があります。現在地を測位するためには、[位置情報]をONに設定する必要があります。位置情報のモードは[高精度]に設定してください。[位置情報]がOFFのときは、現在地測位が必要な情報をお伝えできません(※P.168「位置情報」)。

1 ホーム画面で「エモパー」

- ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ▶「設定」▶「AQUOS 便利機能」▶「エモパー」でもエモパーを表示することができます。
- 初期設定が完了していない場合は、初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。
- 初期設定完了後に[設定]▶「あなたについて」で職場・学校などを設定することをおすすめします。エモパーがお話しする機会や内容のバリエーションが増えることがあります。
- 初期設定が完了している場合はエモパー画面が表示され、エモパーの状態やお客様についての情報、歩数や予定などの日常の記録(約1週間分)が確認できます。

エモパーの設定

1 エモパー画面で[設定]

- [ON/OFF]／[設定]をタッチしてエモパーのON/OFFを切り替えることができます。

2 項目を選ぶ

- **COCORO MEMBERS設定**: アカウントを設定します。新規登録・ログインすると自動バックアップなど、より便利にご使用いただけます。
- **エモパー選択**: エモパーやエモパーの名前を設定します。また、サイトからエモパーを追加できます。
- **基本動作について**: エモパーの音量やマナーモード中の動作など、基本動作について設定します。
- **あなたについて**: ニックネームや自宅、職場・学校など、お客様の情報を設定します。
- **エモパーの話題**: エモパーがお伝えする情報を設定します。

- **エモパーメモ**:エモパーメモの利用について設定します。
- **エモパーヘルスケア**:エモパーヘルスケアの利用について設定します。
- **エモパーへの話しかけ方**:公式エモパー情報サイト EMOPARK(エモパーク)の「エモパー使い方ガイド」-「エモパーへの話しかけ方」に接続します。
 - ・本端末では「声でエモパーを呼び出し」は非対応です。
- **おすすめ機能の紹介**:おすすめ機能の簡単な説明と使いかたのデモを確認できます。
- **エモパー使い方ガイド**:公式エモパー情報サイト EMOPARK(エモパーク)の「エモパー使い方ガイド」に接続します。
- **よくある質問(FAQ)**:公式エモパー情報サイト EMOPARK(エモパーク)の「よくある質問(FAQ)」に接続します。
- **エモパーの記憶**:エモパーと過ごした思い出や生活習慣に関するデータの保存や削除、復元ができます。
- **注意事項**:エモパーバージョンや利用規約・プライバシーポリシーなどを確認できます。

エモパーがお話するタイミング

- あなたについての[自宅]や[自宅のほかにお話できる場所]に設定した場所で、ロック画面表示中や画面消灯中に端末を水平に置いたときなどに話します。
- 外出中では、職場や学校の出入りなど特定のタイミングでバイブレータが振動する場合があります。その際には、通話するように端末を耳に当てるとお話しします。また、イヤホンを接続中は、バイブレータが振動せずにイヤホンからお話しします。
- ロック画面表示中に端末を数回(2秒程度)振ると話します。

エモパーの記憶の引き継ぎかた

エモパーと過ごした思い出や生活習慣に関するデータは、COCORO MEMBERSなどでバックアップすることで、機種変更の際に引き継ぐことができます。

- COCORO MEMBERSにバックアップする場合はエモパー画面で[] ▶ [COCORO MEMBERS設定]からアカウントを登録し、[エモパーの記憶] ▶ [自動バックアップ]をONに設定するか、[いますぐバックアップする]を実行してください。
- Googleドライブにバックアップする場合は端末に設定されたGoogleアカウントと同じアカウントをエモパー画面で[] ▶ [エモパーの記憶] ▶ [Googleドライブでバックアップする]の[]から設定し、[Googleドライブでバックアップする]を実行してください。
- microSDカードにバックアップする場合は端末にmicroSDカードが取り付けられていることを確認の上、エモパー画面で[] ▶ [エモパーの記憶] ▶ [SDカードでバックアップする]を実行してください。
- 機種変更後のエモパーの初期設定画面で[引き継ぎはコチラ]を選択し、バックアップした方法と同じ方法を選択することで、機種変更前のエモパーを復元することができます。また、エモパー画面で[] ▶ [エモパーの記憶] ▶ [記憶を復元する] ▶ [復元する]を実行しても復元することができます。

エモパーメモを利用

エモパーに予定などメモしたい内容を話しかけるとエモパーが記憶し、予定にあわせてお伝えします。また、エモパーメモを利用してアラームやタイマーを設定したり、エモパーに質問することもできます。

- ロック画面を2回タッチしてから話しかけてください。

- ロック画面では、時計やアイコン、情報などが表示されていないところをタッチしてください。
- 外出先で話しかける場合は、電話をかけるように受話口を耳に当ててください。
- エモパーが記憶したメモは、カレンダーに登録されます。「明日」、「今週」、「そろそろ」のような時期を表す単語を含めて話しかけると、メモに合わせたタイミングでエモパーがお伝えします。
- アラームを設定する際は、「XX時XX分にアラーム」のように話しかけてください。アラームは、「時計」アプリに登録されます。
- タイマーを設定する際は、「XX分タイマー」や「タイマー起動して」のように話しかけてください。「時計」アプリのタイマーが起動します。
- エモパーに質問する際は、「明日の天気を教えて」のように話しかけてください。質問の情報をエモパーがお伝えします。

エモパーヘルスケアを利用

お客様の体重や歩数について、気にかけたり応援したりするお話しで、健康維持やダイエットをサポートします。

- 体重はエモパーメモと同じ手順で話しかけることで覚えます。
 - ・ エモパーに体重を話しかける際は、「今日の体重 XX.Xキロ」のように話しかけてください。
- 株式会社タニタの一部の体組成計と連携することで、体重を覚えることもできます。
 - ・ 体組成計との連携については、[エモパーヘルスケア] ▶ [タニタ体組成計との連携] から設定することができます。画面の指示に従って操作してください。
 - ・ エモパーとの連携に対応する体組成計については、公式エモパー情報サイトEMOPARK(エモパーク)をご覧ください。
- お客様の体重や歩数は、からだメイトで管理されます。

- エモパーの初期設定を行うと[歩数計ON]が有効になります(※P.138「からだメイト」)。
- エモパーが話しているときに[+] / [-] を押すと音量を調節できます。
- 午前2:00～午前5:00の間は話しません。
- エモパーは日本語にのみ対応しています。
- エモパーがお伝える情報は、お客様の端末使用状況と正確には合っていない場合があります。
- イヤホンを接続していない場合、ディスプレイを下向きにして端末を置いておくと、エモパーは話しません。
- スグ電設定で[発信]を設定している場合、端末を振るとスグ電が動作し、エモパーは話しません。
- 海外で利用するときは、エモパーのお伝える情報が制限されます。

公式エモパー情報サイトEMOPARK(エモパーク)について

- エモパーは、使いかたの改善や変更、お話しするバリエーションの増加などを目的に、Play ストアからアップデートすることがあります。
- 本書の内容から変更されることがありますので、エモパーに関する最新の情報については、公式エモパー情報サイトEMOPARK(エモパーク)をご覧ください。
- <http://k-tai.sharp.co.jp/dash/emopa/>

電車の遅延情報について

- エモパーがお伝える電車の遅延情報は、株式会社レスキューナウが提供する運行情報に基づいています。

- 各路線の運行情報が提供される基準は、次のとおりです。
 - 首都圏JR線は15分、その他の路線は30分以上の遅れ、運転見合わせ等が発生した場合の情報

からだメイト

歩数や体重などを記録することができます。歩数や体重の履歴をグラフで表示して、日別／月別で比較することもできます。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ▶[からだメイト]

2 [はい]

3 ユーザー情報の各項目を設定▶[歩数計ON]▶[◀]

- お買い上げ時は、ユーザー情報に仮の数値が登録されています。ご利用の前に、ユーザー情報を正しく設定しておいてください。
- 電源が入っている間は常に歩数がカウントされます。
- 歩数計の表示は、毎日0:00にリセットされます。

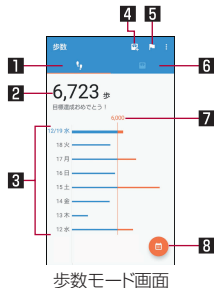
機種変更時のご注意

- からだメイトに記録した歩数や体重などのデータは、Googleアカウントによってバックアップされ、機種変更しても引き継ぐことができます。からだメイトに対応した新しい端末の初回起動時に、初期設定で機種変更前と同じGoogleアカウントを設定し、データを復元してください。

歩数測定時のご注意

- 次のような場合は、歩数が正確に測定されないことがあります。
 - 端末が不規則に動く場合
 - ・ 端末を入れたかばんなどが、足や腰に当たって不規則な動きをしているとき
 - ・ 端末を腰やかばんなどからぶら下げているとき
 - 不規則な歩行をした場合
 - ・ すり足のような歩きかたや、サンダル、げた、草履などを履いて不規則な歩行をしたとき
 - ・ 混雑した場所を歩くなど、歩行が乱れたとき
 - 上下運動や振動の多いところで使用した場合
 - ・ 立ったり座ったりしたとき
 - ・ スポーツを行ったとき
 - ・ 階段や急斜面を上ったり下りたりしたとき
 - ・ 乗り物(自転車、自動車、電車、バスなど)に乗って、上下振動や横揺れをしているとき
 - ・ スピーカーから音が出ているとき
 - ・ バイブレータが振動しているとき
 - 極端にゆっくり歩いた場合
- キャリングケース O2(別売)に入れるときは、キャリングケース O2を腰のベルトなどに装着してください。
- かばんやポーチなどに入れるときは、ポケットや仕切りの中など端末を固定できる場所に入れてください。
- 歩き始めの約4秒間は歩数はカウントされますが、測定値には反映されません。そのあとも歩行を続けると、それまでの歩数を合わせて測定値に反映します。

■ からだメイト画面の見かた



1 歩数モード

2 今日の歩数

3 歩数の履歴

- 日々／月々の歩数が棒グラフで表示されます。グラフをタッチすると、タッチした日／月の歩数や歩行距離、消費カロリーなど、詳細情報が表示されます。

4 体重入力

- タッチすると、日々の体重を入力することができます。
- エモパーを利用すると、音声で体重を入力することもできます。エモパーについてはP.135「エモパー」

5 目標設定

- タッチすると、歩数や体重の目標を設定することができます。
 - ・ からだメイト画面で[目標設定]▶[目標設定]でも目標を設定できます。
- 設定した目標の削除:目標の設定画面で[リセット]

6 体重モード

7 目標値

8 表示切替

- 日別／月別の表示を切り替えます。

9 前回との差

10 最新の体重

11 体重の履歴

- 日々／月々の体重が折れ線グラフで表示されます。グラフをタッチすると、タッチした日／月の体重やBMIなど、詳細情報が表示されます。
- 表示する月や週の移動:[<]／[>]

■ ユーザー情報の変更

1 からだメイト画面で[⋮] ▶ [ユーザー情報]

2 各項目を設定

■ からだメイトの停止

1 からだメイト画面で[⋮] ▶ [歩数計設定]

2 [歩数計ON]

- [歩数計ON]を無効にすると、からだメイトが停止します。

■ データリセット

歩行データや体重データをすべて削除します。

1 からだメイト画面で[⋮] ▶ [データリセット] ▶
[はい]

■ 用語説明の確認

1 からだメイト画面で[⋮] ▶ [用語の説明]

2 用語を選ぶ

ドコモデータコピー

「ドコモデータコピー」は、本端末に保存されているデータを他の端末へコピーしたり、バックアップ／復元をしたりするためのアプリです。

機種変更時のデータ移行や、大切なデータの定期的なバックアップにご利用ください。

- OSやファイルの種類によっては、正しくコピー、バックアップ、復元できない場合があります。

データ移行

インターネットを使用しない1対1のダイレクト通信を利用して、電話帳、画像などのデータを移行先の端末へ直接コピーすることができます。

コピー元端末とコピー先端末の両方で「データコピー」を起動し、2台並べた状態で利用してください。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ ▶ [データコピー]

2 [データ移行]

- 画面の指示に従って操作してください。
- コピー元端末とコピー先端末の両方に本アプリが必要です。インストールされていない場合、ドコモのホームページよりダウンロードできます。
- ご利用の機種やOSにより、通信方法は異なります。
- 対応機種や詳しい使いかたは、ドコモのホームページをご覧ください。

microSDカードへのバックアップ・復元

microSDカードを利用して、電話帳、画像などのデータの移行やバックアップ・復元ができます。

- バックアップまたは復元中にmicroSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。データが破損する場合があります。
- 他の端末の電話帳項目名(電話番号など)が本端末と異なる場合、項目名が変更されたり削除されたりすることがあります。また、電話帳に登録可能な文字は端末ごとに異なるため、コピー先で削除されることがあります。
- バックアップ対象の電話帳は、docomoのアカウントとして登録されている電話帳です。
- 電話帳をmicroSDカードにバックアップする場合、名前が登録されていないデータはコピーできません。
- microSDカードの空き容量が不足しているとバックアップが実行できない場合があります。その場合は、microSDカードから不要なファイルを削除して容量を確保してください。
- 電池残量が不足しているとバックアップまたは復元が実行できない場合があります。その場合は、本端末を充電後に再度バックアップまたは復元を行ってください。
- 本アプリでは静止画・動画などのデータのうち本端末に保存されているもののみバックアップされます。microSDカードに保存されているデータはバックアップされません。

■ バックアップ

電話帳、メディアファイルなどのデータのバックアップを行います。

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ▶[データコピー]
- 2 [バックアップ&復元]
- 3 [バックアップ]
- 4 バックアップするデータを選ぶ▶[バックアップ開始]▶[開始する]
 - 選択したデータがmicroSDカードに保存されます。
- 5 [トップに戻る]

■ 復元

microSDカードにバックアップした電話帳、メディアファイルなどのデータを本端末に復元します。

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ ▶ [データコピー]
- 2 [バックアップ&復元]
- 3 [復元]
- 4 復元するデータ種別の[選択]
- 5 復元するデータを選ぶ ▶ [選択]
- 6 復元方法を選ぶ ▶ [復元開始] ▶ [開始する]
 - データ種別によっては、復元方法の選択は不要です。
 - 選択したデータが本端末に復元されます。
- 7 [トップに戻る]
 - 定期バックアップスケジュールが未設定の場合は、[定期バックアップをONにする]と表示されますので、画面の指示に従って操作してください。

■ 電話帳をdocomoのアカウントにコピー

Googleアカウントの連絡先をdocomoのアカウントにコピーします。

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ ▶ [データコピー]
- 2 [バックアップ&復元]
- 3 [電話帳アカウントコピー]
- 4 コピーする電話帳の[選択] ▶ [上書き] / [追加]
 - コピーした連絡先がdocomoのアカウントに保存されます。
- 5 [OK]

データ保管BOXへのバックアップ・復元

データ保管BOXを利用して、通話履歴・音楽のデータの移行やバックアップ・復元ができます。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ ▶ 「データコピー」

2 [:] ▶ 「データ保管BOXへバックアップ・復元」

3 「バックアップ」／「復元」

- 画面の指示に従って操作してください。
- ドコモクラウドへログインしていない場合、確認画面が表示されます。

- 画面ロック設定中や長エネスイッチの動作中などは、設定した時刻どおりには定期バックアップが実行されず、次回起動可能となったときに実行されます。
- データ保管BOXでの定期バックアップ設定をご利用になる際、パケット通信料が高額になる場合がありますので、ご注意ください。

本体設定

設定メニュー

ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ▶[設定]で表示されるメニューから、端末の各種設定を行うことができます。

- 先頭には、おすすめの設定が候補として表示されます。
- 本体設定を表示し、検索入力欄にキーワードを入力すると、設定項目を検索できます。
- 表示されていないメニューがある場合、[詳細設定]をタッチするとメニューが表示されます。

電話番号	ドコモnanoUIMカードに登録されているお客様の電話番号を確認できます。
ネットワークとインターネット	Wi-Fi機能やモバイル ネットワークなどのネットワークについて設定します。
接続済みの端末	Bluetooth機能やおサイフケータイなどについて設定します。
アプリと通知	アプリや通知について設定します。
省エネ&バッテリー	長エネスイッチの起動や電池の利用状況の確認などを行います。
ディスプレイ	画面表示などについて設定します。
音	着信音・お知らせ音などについて設定します。
AQUOS便利機能	本端末に搭載されている便利な機能の設定を行います。
ホーム切替	利用するロック画面やホームアプリを切り替えます。

ストレージ	本体メモリやmicroSDカード、USBメモリの使用容量／合計容量の確認、保存されているデータの表示などができます。
セキュリティと現在地情報	セキュリティロックや、位置情報などについて設定します。
ドコモのサービス/クラウド	ドコモサービスの設定を行います。
ユーザーとアカウント	アカウントの追加や設定、データの同期について設定します。
ユーザー補助	ユーザー補助オプションについて設定します。
Google	Googleの各種サービスの設定をまとめて行うことができます。
システム	画面に表示される言語や日時の設定など、システムにかかわる設定を行います。
お困りのときは	「よくあるご質問」の確認や設定項目の検索など、お困りのときに利用できる機能がまとめられています。

ネットワークとインターネット

Wi-Fi機能やモバイル ネットワークなどのネットワークについて設定します。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ ▶ 「設定」 ▶ 「ネットワークとインターネット」

2 項目を選ぶ

- **Wi-Fi**: Wi-FiについてはP.145「Wi-Fi」
- **モバイル ネットワーク**: モバイル ネットワークについてはP.147「モバイル ネットワーク」
- **プロキシ設定**: プロキシ経由でネットワークに接続するように設定します。
- **データ使用量**: データ使用量についてはP.148「データ使用量」
- **アクセス ポイントとテザリング**: アクセス ポイントとテザリングについてはP.149「アクセス ポイントとテザリング」
- **VPN**: VPNについてはP.190「VPNの追加」
- **機内モード**: 電話やメールなど、通信を利用する一部の機能を使用できないようにします。

【機内モード】について

- [SIMカードをロック]が有効の場合は、緊急通報番号(110番、119番、118番)に発信できません。[SIMカードをロック]が無効の場合は、機内モード中でも緊急通報番号(110番、119番、118番)に発信できます。緊急通報番号をダイヤルすると、[機内モード]がOFFになり、発信を行います。

- [機内モード]がONの場合でも、[Wi-Fi]や[Bluetooth]をONにすることができます。

Wi-Fi

端末のWi-Fi機能を利用して、自宅や社内ネットワーク、公衆無線LANサービスのアクセスポイントに接続して、メールやインターネットを利用できます。

Bluetooth機器との電波干渉について

- 無線LAN(IEEE802.11b/g/n)とBluetooth機器は同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、Bluetooth機器の近くで使用する、電波干渉が発生し、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になることがあります。この場合、Bluetooth機器の電源を切るか、端末や接続相手の無線LAN機器をBluetooth機器から約10m以上離してください。

- [Wi-Fi]をONにしている場合もパケット通信を利用できます。Wi-Fi接続中はWi-Fi接続が優先されますが、Wi-Fi接続が切断されると自動的にLTE/3G/GPRSネットワークでの接続に切り替わります。そのままご利用になる場合は、パケット通信料がかかる場合がありますのでご注意ください。
- ご自宅などのアクセスポイントを利用する場合は、無線LAN親機の取扱説明書もご覧ください。
- アクセスポイントを登録するときは、アクセスポイントの近くで操作してください。
- Wi-Fi機能を利用してドコモサービスを利用する場合は、あらかじめdアカウントを設定しておいてください。ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ ▶ 「設定」 ▶ 「ドコモのサービス/クラウド」 ▶ 「dアカウント設定」から設定することができます。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ ▶ [設定] ▶ [ネットワークとインターネット] ▶ [Wi-Fi]

2 ONにする

3 アクセスポイントを選ぶ

- セキュリティで保護されたアクセスポイントを選択した場合、パスワード(セキュリティキー)を入力し、[接続]を選択してください。
 - アクセスポイントを手動で登録:[ネットワークを追加] ▶ ネットワーク名を入力 ▶ セキュリティを設定 ▶ [保存]
 - [保存済みネットワーク]をタッチすると、接続したことのあ
るアクセスポイントを表示します。
- Wi-Fiネットワークに接続すると、[接続済み]と表示されます。異なるメッセージが表示された場合は、パスワード(セキュリティキー)をご確認ください。
なお、正しいパスワード(セキュリティキー)を入力しても接続できない場合は、正しいIPアドレスを取得できていないことがあります。電波状況をご確認の上、接続し直してください。
- アクセスポイントの手動登録は、セキュリティ設定としてWEP、WPA/WPA2 PSK、802.1xEAPに対応しています。
- インターネット接続されていないアクセスポイントに接続すると、が表示され、Wi-Fiではなくモバイル ネットワークで通信が行われる場合があります。

■ Wi-Fiの設定

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ ▶ [設定] ▶ [ネットワークとインターネット] ▶ [Wi-Fi] ▶ [Wi-Fi 設定]

2 項目を選ぶ

- **オープン ネットワークの通知**: オープンネットワークを検出したときに、お知らせアイコンで通知するか設定します。
 - [Wi-Fi]をONにしてから設定してください。
 - **接続不良のとき無効にする**: 安定したインターネット接続があるときのみWi-Fi機能を利用するか設定します。
 - **構内IP電話設定**: インターネット通話について設定します。
 - **証明書のインストール**: 証明書をインストールします。
 - **ネットワーク評価プロバイダ**: ネットワーク評価プロバイダについて設定します。
 - **Wi-Fi Direct**: Wi-Fi Directについて設定します。
 - **WPSプッシュボタン**: WPSプッシュボタン方式で設定します。
 - アクセスポイントのWPSボタンを押してください。自動的にアクセスポイントを検出し登録が開始されます。
 - **WPS PIN入力**: WPS PIN方式で設定します。
 - 画面に表示されるPINをアクセスポイントに入力してください。
 - **MACアドレス**: MACアドレスを確認できます。
 - **IPアドレス**: IPアドレスを確認できます。
- WPSの登録処理には数分かかります。アクセスポイントの登録処理後、アクセスポイントに適切に接続されていることをご確認ください。

■ アクセスポイントの設定の削除

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ▶[設定]▶[ネットワークとインターネット]▶[Wi-Fi]
- 2 設定済みのアクセスポイントを選ぶ▶[削除]

モバイル ネットワーク

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ▶[設定]▶[ネットワークとインターネット]▶[モバイル ネットワーク]
- 2 項目を選ぶ
 - **モバイルデータ**: モバイル ネットワーク経由でデータにアクセスするか設定します。
 - **データローミング**: データローミングについてはP.192「データローミング」
 - **データ使用量**: モバイル ネットワーク経由のデータ使用量をグラフで表示します。また、データ通信を使用したアプリも確認できます。
 - **通話モード設定**: VoLTEを利用するか設定します。
 - **優先ネットワークタイプ**: 優先ネットワークタイプについてはP.192「優先ネットワークタイプ」
 - **ネットワークを自動的に選択**: ネットワークを自動的に選択についてはP.193「通信事業者の設定」
 - **ネットワーク**: ネットワークについてはP.193「通信事業者の設定」
 - **アクセスポイント名**: アクセスポイントの設定や確認をします。

■ アクセスポイントの設定

インターネットに接続するためのアクセスポイント(spモード)は、あらかじめ登録されており、必要に応じて追加、変更することもできます。

spモードの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

https://www.nttdocomo.co.jp/service/spmode/mopera_U、ビジネスmoperaインターネットをご利用になる際は、手動でアクセスポイントを追加する必要があります。
mopera Uの詳細については、mopera Uのホームページをご覧ください。

<https://www.mopera.net/>

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ▶[設定]▶[ネットワークとインターネット]▶[モバイル ネットワーク]▶[詳細設定]▶[アクセスポイント名]
 - 利用中のアクセスポイントを確認できます。
- 2 [+]
- 3 [名前]▶作成するネットワークプロファイルの名前を入力▶[OK]
- 4 [APN]▶アクセスポイント名を入力▶[OK]

5 その他、通信事業者によって要求されている項目を入力▶[:]▶[保存]

- MCCを440、MNCを10以外に変更しないでください。画面上に表示されなくなります。

- MCC、MNCの設定を変更して画面上に表示されなくなった場合は、初期設定にリセットするか、手動でアクセスポイントの設定を行ってください。

■ アクセスポイントの初期化

アクセスポイントを初期化すると、お買い上げ時の状態に戻ります。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ▶[設定]▶[ネットワークとインターネット]▶[モバイルネットワーク]▶[詳細設定]▶[アクセスポイント名]

2 [:]▶[初期設定にリセット]

- spモードにご契約いただいていない場合や、圏外など電波状況によりアクセスポイントの自動設定に失敗した場合は、再度手動でアクセスポイントを設定する必要があります。

データ使用量

モバイル ネットワークやWi-Fiネットワーク経由のデータ使用量を確認できます。また、データ使用量に上限を設けることができます。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ▶[設定]▶[ネットワークとインターネット]▶[データ使用量]

- モバイル ネットワーク経由のデータ使用量が表示されます。

2 項目を選ぶ

- **データセーバー**:一部のアプリによるバックグラウンドでのデータ送受信を停止することで、データ使用量を抑制することができます。
 - データセーバー中もデータ通信を制限しないアプリについては、[データ無制限アクセス]から設定することができます。
- **モバイルデータ**:モバイル ネットワーク経由のデータ通信を利用するか設定します。
- **モバイルデータ使用**:モバイル ネットワーク経由のデータ使用量をグラフで表示します。また、データ通信を使用したアプリも確認できます。

- **請求期間**: モバイル ネットワーク経由のデータ使用量について、月単位の測定開始日や警告を発するデータ使用量を設定します。

また、[データ上限の設定]をONにすると、データ使用量が上限に達した場合にデータ通信を停止することができます。上限は[データ上限]で設定できます。

- データ使用量が上限に達すると、モバイルデータが一時停止中である旨の通知が表示されます。[OK]をタッチすると、次の請求期間までデータ通信を停止します。[再開]をタッチすると、データ通信を再開します。
- **Wi-Fi データ使用量**: Wi-Fiネットワーク経由のデータ使用量をグラフで表示します。また、データ通信を使用したアプリも確認できます。
- **ネットワーク制限**: バックグラウンドでのデータ通信を制限している際、モバイル ネットワークと同様に扱われるWi-Fi ネットワークを設定します。

- 表示されるデータ使用量は目安です。実際のデータ使用量はMy docomoで確認することができます。

アクセス ポイントとテザリング

本端末をアクセスポイントとして利用することで、Wi-Fi対応機器やUSBケーブルまたはBluetooth通信で接続したパソコンなどをインターネットに接続するテザリング機能を利用することができます。

- 同時に接続できる機器数は、USBケーブルで接続したパソコン1台、Wi-Fi対応機器10台、Bluetooth機器4台の計15台です。
- Bluetoothテザリングを行うには、あらかじめ相手のBluetooth機器を登録しておいてください(※P.183「Bluetooth機能の利用」)。Bluetooth機器側の設定については、Bluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ▶[設定]▶[ネットワークとインターネット]▶[アクセス ポイントとテザリング]

2 項目を選ぶ

- **USBテザリング**: USBテザリングを利用するか設定します。
- **Wi-Fiテザリング**: Wi-Fiテザリングを利用するか設定します。
- **Wi-Fiテザリングを設定**: ネットワーク名やセキュリティなどWi-Fiテザリングについて設定します。
- **Wi-Fiテザリング簡単接続**: WPSに対応しているアクセスポイントを利用してテザリングを利用するか設定します。
- **Bluetoothテザリング**: Bluetoothテザリングを利用するか設定します。

[USBテザリング]について

- テザリング機能は、パソコンのOSがWindows 7、Windows 8.1、Windows 10、Linuxの場合にご利用いただけます。

- USBテザリング中は、本端末に取り付けられたmicroSDカードをパソコンでマウントすることはできません。
- USBテザリングの詳細については、次のサイトをご覧ください。
<http://www.android.com/tether#usb>

【Wi-Fiテザリング】について

- 本端末がアクセスポイントとして機能している場合、本端末はWi-Fi接続でインターネットにアクセスすることはできません。
- Wi-Fiアクセスポイントの設定は[Wi-Fiテザリングを設定]で行ってください。
- Wi-Fiテザリングの詳細については、次のサイトをご覧ください。
<http://www.android.com/tether#wifi>

【Wi-Fiテザリングを設定】について

- お買い上げ時は、ネットワーク名は[SH-01L_AP]、セキュリティは[WPA2 PSK]、パスワードはランダムな値が設定されています。必要に応じて設定を変更してください。

接続済みの端末

Bluetooth機能やおサイフケータイなどについて設定します。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ ▶ [設定] ▶ [接続済みの端末]

2 項目を選ぶ

- **Bluetooth**: Bluetooth機能についてはP.181「Bluetooth®機能」
- **キャスト**: キャストについてはP.189「キャスト」
- **NFC／おサイフケータイ 設定**: NFC／おサイフケータイ 設定についてはP.127「NFC／おサイフケータイ 設定」
- **USB**: パソコンと接続した際のUSB接続の用途について設定します。USB接続についてはP.187「パソコンとの接続」
- **印刷**: 印刷用アプリ(プラグイン)をインストールして、印刷機能に対応したアプリで印刷することができます。

■ 印刷用アプリ(プラグイン)の利用

インストールした印刷用アプリ(プラグイン)を設定できます。

- あらかじめ利用するプリンターに対応した印刷用アプリ(プラグイン)をインストールしておいてください。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ ▶ [設定] ▶ [接続済みの端末] ▶ [印刷]

2 印刷サービスを選ぶ

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

アプリと通知

アプリや通知について設定します。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ ▶ [設定] ▶ [アプリと通知]

2 項目を選ぶ

- **最近開いたアプリ**: 最近開いたアプリやアプリ情報については P.151「アプリ情報」
- **通知**: アプリの通知について設定します。
- **アプリの権限**: アプリの権限については P.60「利用する機能について設定」
- **デフォルト アプリ**: デフォルトで起動するアプリを設定します。
- **エリアメール**: エリアメールについては P.105「緊急速報「エリアメール」を設定する」
- **特別なアプリアクセス**: 電池の最適化やシステム設定の変更など、特別なアプリアクセスについて設定します。

■ ロック画面の通知

タッチパネルのロック画面に表示する通知について設定します。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ ▶ [設定] ▶ [アプリと通知]

2 [通知]

3 [ロック画面の通知] ▶ 通知の表示／非表示を選ぶ

- [プライベートな通知内容を非表示にする]を選択すると、ロック画面に表示する通知で、相手の電話番号や通知の件数など、詳細を表示しないようにします。

- 画面ロックを[なし]や[スワイプまたはタッチ]以外に設定しているときに利用できます。

4 [ロック画面の通知を整理]の[]／[]

- ONに設定すると、ロック画面で一度見た通知を非表示にして新しい通知を見やすくします。ただし、削除できない通知は非表示になりません。また、この機能によってステータスパネルの通知詳細情報が消去されることはありません。

アプリ情報

アプリの名前やメモリの使用状況、バージョンなどの確認、有効／無効の設定、アンインストールなどができます。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ ▶ [設定] ▶ [アプリと通知]

2 [XX個のアプリをすべて表示] ▶ アプリを選ぶ

- [最近開いたアプリ]欄に利用するアプリが表示されている場合は、アプリを選択して利用することもできます。

■ アプリの無効

アプリの動作を停止し、アンインストールせずにホーム画面に表示しないように設定します。

- アンインストールできないアプリを無効にできます。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ ▶ [設定] ▶ [アプリと通知]

2 [XX個のアプリをすべて表示] ▶ アプリを選ぶ

3 [無効にする] ▶ [アプリを無効にする]

- アプリを無効にすると、無効にされたアプリと連携している他のアプリが正しく動作しない場合があります。その場合は、アプリを有効にしてください。

■ アプリの有効

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ ▶ [設定] ▶ [アプリと通知]
- 2 [XX個のアプリをすべて表示] ▶ アプリを選ぶ
- 3 [有効にする]

省エネ&バッテリー

長エネスイッチの起動や電池の利用状況の確認などを行います。

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ ▶ [設定] ▶ [省エネ&バッテリー]
- 2 項目を選ぶ
 - **長エネスイッチ**: 長エネスイッチについては [P.152](#)「長エネスイッチ」
 - **電池**: 電池の利用状況などを確認できます。

- 電池の最適化を行うと、各アプリの電池消費を抑えるため、画面消灯中(充電中を除く)はアプリが動作しないように設定されます。電池の最適化の設定については [P.60](#)「電池の最適化の設定」

長エネスイッチ

端末の機能を制限して、電池の消費を抑えることができます。

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ ▶ [設定] ▶ [省エネ&バッテリー] ▶ [長エネスイッチ]
- 2 [OFF] / [ON]
- 3 項目を選ぶ
 - **長エネスイッチの概要**: 機能の説明を表示します。
 - **詳細設定**: 制限する機能を個別に設定します。
 - **電池残量で切替**: 設定した電池残量以下の場合、長エネスイッチを自動で [ON] にするか設定します。
 - **切替条件設定**: [電池残量で切替] で長エネスイッチを [ON] にする電池残量を設定します。

- 充電を開始すると長エネスイッチは [OFF] になります。
- [電池残量で切替] によって長エネスイッチが [ON] になっているとき、[電池残量で切替] を無効にしても長エネスイッチは [OFF] になりません。

ディスプレイ

画面表示などについて設定します。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ ▶ [設定] ▶ [ディスプレイ]

2 項目を選ぶ

- **明るさのレベル**: 明るさ調整バーをドラッグして画面の明るさを調整します。
- **明るさの自動調節**: バックライトの明るさを自動で調整するか設定します。自動で調整を行わない場合は、手動で明るさを設定してください。
- **スリープ**: バックライトの点灯時間を設定します。
- **壁紙**: ホーム画面やタッチパネルのロック画面の画像を設定します。
 - [ロックフォトシャッフル] を ON に設定すると、ディスプレイを表示させるたびにタッチパネルのロック画面の画像が自動的に切り替わるよう設定できます。
- **文字フォント設定**: 文字のサイズやフォントについて設定します。
- **表示サイズ**: 画面に表示されるアイコンなどのサイズを設定します。
- **ナビゲーションバーを隠す**: ナビゲーションバーを非表示にするか設定します。
 - ON に設定した場合は画面下部を上にはスワイプすると、ナビゲーションバーが表示されます。
- **ヒカリエモーション**: ヒカリエモーションについては P.154「ヒカリエモーション」

- **リラックス設定**: リラックス設定については P.154「リラックス設定」
- **のぞき見ブロック**: のぞき見ブロックについては P.155「のぞき見ブロック」
- **スクリーンセーバー**: スクリーンセーバーを利用するか設定します。
- **画質モード**: 画質について設定します。また、標準動画を HDR のように表示する機能 (バーチャル HDR) を設定します。
- **はっきりビュー**: 中高年の方に適した見やすい画質にするか設定します。
- **画面の自動回転**: 端末を回転させたとき、画面の表示も回転させるか設定します。

[明るさのレベル]について

- ディスプレイの明るさを上げると、連続待受時間が短くなりますので、ご注意ください。

[スリープ]について

- 点灯時間を長くすると、連続待受時間が短くなりますので、ご注意ください。

[文字フォント設定]について

- Google Playなどでダウンロードしたアプリを起動したときに、正しく表示されない場合があります。

[画質モード]について

- [リラックスビュー] が ON の場合は、画質モードの設定が反映されません。

ヒカリエモーション

着信時や充電開始時などに、ディスプレイに光の演出を表示します。

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ ▶ [設定] ▶ [ディスプレイ] ▶ [詳細設定] ▶ [ヒカリエモーション]

2 ONにする

3 項目を選ぶ

- **電話着信中**: 着信時にヒカリエモーションを動作させるか設定します。
- **電話着信パターン／カラー**: 着信時のヒカリエモーションの点滅パターンや点滅カラーについて設定します。
- **充電開始時**: 充電開始時にヒカリエモーションを動作させるか設定します。
- **ロック解除時**: タッチパネルのロック解除時にヒカリエモーションを動作させるか設定します。
- **終話時**: 通話が終了したときにヒカリエモーションを動作させるか設定します。

リラックス設定

目に優しい画質モードの利用について設定します。

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ ▶ [設定] ▶ [ディスプレイ] ▶ [詳細設定] ▶ [リラックス設定]

2 項目を選ぶ

- **リラックスビュー**: 目に優しい画質モードにするか設定します。
- **リラックスオート**: 特定の時間帯にリラックスビューにするか設定します。
- **リラックスオートの概要**: 機能の説明を表示します。
- **時間設定**: [リラックスオート]でリラックスビューにする時間帯を設定します。
 - ・ [エモパー連動]にすると、エモパーが学習したお客様の就寝前に、[リラックスビュー]がONになります。
- **画質設定**: リラックスビューの画質を設定します。

- [リラックスビュー]をONにしても、カメラ利用時は画面が通常の画質で表示されます。
ただし、撮影画面からアルバムの起動や直前に撮影した静止画／動画の表示を行った場合、画面はリラックスビューの画質で表示されます。

のぞき見ブロック

周りの人からディスプレイを見えにくくします。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ ▶ [設定] ▶ [ディスプレイ] ▶ [詳細設定] ▶ [のぞき見ブロック]

2 項目を選ぶ

- **のぞき見ブロック**: [のぞき見ブロック]をONにするか設定します。
- **表示パターン**: 表示パターンを設定します。
- **強弱設定**: 周りの人から見えにくくする効果(濃淡)を調整します。

[のぞき見ブロック]について

- 電源を切ると[のぞき見ブロック]がOFFになります。

[表示パターン]について

- 周りの人から見えにくくする効果は、選択したパターンによってそれぞれ異なります。

音

着信音・お知らせ音などについて設定します。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ ▶ [設定] ▶ [音]

2 項目を選ぶ

- **メディアの音量**: メディア音(音楽や動画など)の音量を設定します。

- **アラームの音量**: アラームの音量を設定します。
- **着信音の音量**: 着信音の音量を設定します。
- **エモパーの音量**: エモパーの音量を設定します。
- **着信時もバイブレーションON**: 着信時にバイブレータを動作させるか設定します。
- **マナーモードの詳細設定**: 優先する通知や、特定の時間帯などの通知動作について設定します。
 - マナーモードの詳細についてはP.55「マナーモード」
- **着信音**: 着信音を設定します。
- **デフォルトの通知音**: お知らせ音を設定します。
- **デフォルトのアラーム音**: アラーム音を設定します。
- **ダイヤルパッドの操作音**: ダイヤル音の有無を設定します。
- **画面ロック音**: タッチパネルのロック/ロック解除時の操作音の有無を設定します。
- **タッチ操作音**: メニューなどをタッチしたときの操作音の有無を設定します。
- **タップ操作時のバイブ**: ナビゲーションバーなどに表示されるキーをタッチしたときにバイブレータを動作させるか設定します。
- **エリアメール**: エリアメールについてはP.105「緊急速報「エリアメール」を設定する」

AQUOS便利機能

本端末に搭載されている便利な機能の設定を行います。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ ▶ 「設定」▶ 「AQUOS便利機能」

2 項目を選ぶ

- **指紋センサー**: 指紋センサーについてはP.166「指紋認証」
- **スクロールオート**: スクロールオートについてはP.157「スクロールオート」
- **エモバー**: エモバーについてはP.135「エモバー」
- **Clip Now**: Clip NowについてはP.157「Clip Now」
- **自動画面点灯**: 自動画面点灯についてはP.158「自動画面点灯」
- **かんたんモード**: 利用するホームアプリを[AQUOSかんたんホーム]に切り替えたり、フォントサイズを特大に設定するなど、見やすい画面に設定する機能がまとめられています。
 - ・ [まとめてONする]をタッチすると、個別設定を一括でONに設定することができます。
- **スマホカバー設定**: AQUOS Frosted Cover(市販品)を装着する場合に、[AQUOS Frosted Cover]をONに設定します。
 - ・ カバーの開閉によってディスプレイの表示/非表示を切り替えることができます。カバーを閉じているときにディスプレイを表示すると、画面はくもった状態となります。カバーをなぞるとなぞったところのくもりが消え、カバーを閉じたまま通知の確認や操作ができます。

- ・ [Frost Signの使い方]で、カバーの上に記号を描くと使える便利な機能を確認できます。
- ・ [AQUOS Frosted Coverの詳しい情報はこちら]でAQUOS Frosted Coverの利用方法などを確認できます。

- **ロボクル設定**: ロボクル設定についてはP.159「ロボクル設定」

AQUOS Frosted Coverについて

- 次の場合は、カバーを閉じているときでも画面はくもりません。
 - 着信時
 - カメラ起動時
 - アラーム鳴動時
 - エモバーがお話するとき
- カバーを閉じている場合、エモバーは画面表示のみのお知らせは行いません。

スクロールオート

表示中のサイトなどの画面を上下方向に自動でスクロールできません。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ ▶ 「設定」 ▶ 「AQUOS便利機能」 ▶ 「スクロールオート」

2 項目を選ぶ

- **ON/OFF設定**: スクロールオートを利用するか設定します。
- **対象アプリ設定**: スクロールオートを動作させるアプリを設定します。
- **ステータスバーへの通知**: 対象アプリが起動しているときに、お知らせアイコンで通知するか設定します。

■ 画面の自動スクロール

1 スクロールする方向に画面をドラッグ ▶ 表示された矢印に指を合わせ、指を離す

- 指を離すとスクロールを開始します。
- 約5分間動作するとスクロールを停止します。
- スクロール速度の調整: [＋] / [－]
- スクロールの停止: 画面をタッチ

- 画面をドラッグする速度が速すぎると、矢印が表示されません。
- 画面の位置によっては、指を離しても自動スクロールしない場合があります。
- 自動スクロール中は画面の左端にが表示され、スクロールの動きを表します。

Clip Now

画面の縁を指でなぞることで表示中の画面を画像(保存用スクリーンショット)として撮影できます。

また、画面を一時的に保存できる一時メモ用スクリーンショットを利用できます。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ ▶ 「設定」 ▶ 「AQUOS便利機能」 ▶ 「Clip Now」

2 項目を選ぶ

- **ON/OFF設定**: Clip Nowを利用するか設定します。
- **使い方ガイド**: Clip Nowについての説明を表示します。
- **なぞり動作設定**: 保存用スクリーンショットや一時メモ用スクリーンショットを利用するか設定します。
- **共有メニューの表示**: 一時メモを撮影したときに、共有メニューを表示するか設定します。
- **全件削除**: 撮影した保存用スクリーンショットを全件削除します。

- アプリによっては全部または一部が保存できない場合があります。

【なぞり動作設定】について

- 両方の機能を無効にすることはできません。Clip Nowを利用しない場合は、[ON/OFF設定]でClip NowをOFFにしてください。

■ 保存用スクリーンショットの利用

- 1 保存したい画面をディスプレイに表示 ▶ 画面の左上／右上から、画面の縁を右／左になぞる

■ 一時メモ用スクリーンショットの利用

- 1 一時的に保存したい画面をディスプレイに表示 ▶ 画面の左上／右上から、画面の縁を下になぞる
 - 一時メモの確認: 画面の左端または右端に表示される一時メモの一部を画面の中央にドラッグ
 - 一時メモの削除: 一時メモを[]までドラッグ

自動画面点灯

端末を持ち上げたときや手に持っているときのディスプレイ表示について設定します。

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ ▶ [設定] ▶ [AQUOS便利機能] ▶ [自動画面点灯]

2 項目を選ぶ

- **持つと画面点灯**: ディスプレイの表示が消えている場合、端末を持ち上げて静止したときに、ディスプレイを表示させるか設定します。
- **Bright Keep**: 端末を手に持っているときはディスプレイの表示が消えないようにするか設定します。

[持つと画面点灯]について

- お買い上げ時は有効になっています。
- 次の場合などは、ディスプレイが表示されないことがあります。
 - 端末を持ったまま動いている場合(乗車中)
 - 持ち上げる前や持ち上げたあとに、端末を動かしている場合
 - 垂直または水平に持ち上げた場合

[Bright Keep]について

- Bright Keepを設定し、端末を手に持っても、端末の静止状態が続いた場合や、一定時間何も操作していない場合はディスプレイの表示が消える場合があります。

ロボクル設定

ロボクル(市販品)に端末を接続すると、画面点灯時や充電開始、着信、アラームなどに合わせてロボクルが回転し、お客様の方を向きます。また、状況に合わせてエモパーがお話します。ロボクルはエモパーと連動し、エモパー動作時にはお客様の方を向いてお話します。

- エモパーをONにすると、より多くの場面でエモパーに連動してロボクルが動作します。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ ▶ [設定] ▶ [AQUOS便利機能] ▶ [ロボクル設定]

2 項目を選ぶ

- **ロボクルの動作**: 本端末をロボクルで充電しているときに、ロボクルを動作させるか設定します。
- **ロボクルの詳しい情報はこちら**: シャープのサイトに接続し、ロボクルについての詳しい情報を確認できます。

ストレージ

本体メモリやmicroSDカード、USBメモリの使用容量／合計容量の確認、保存されているデータの表示などができます。

- 保存データの管理についてはP.179「ファイル操作」

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ ▶ [設定] ▶ [ストレージ]

- 本体メモリやmicroSDカード、USBメモリの使用容量／合計容量が表示されます。
 - ・ microSDカードやUSBメモリを取り付けていない場合は、本体メモリの使用容量の詳細画面が表示されます。

2 ストレージを選ぶ

- [内部共有ストレージ]を選択すると、本体メモリの使用容量の詳細画面が表示されます。詳細画面で[ファイル]を選択すると、本体メモリに保存されているデータの一覧が表示されます。
- [SDカード]やUSBメモリ名を選択すると、保存されているデータの一覧が表示されます。
- microSDカードやUSBメモリのマウント解除: [SDカード]やUSBメモリ名の[▲]
- microSDカードやUSBメモリをマウント: [SDカード]／USBメモリ名を選ぶ ▶ [マウント]

microSDカード／USBメモリのフォーマット

microSDカードやUSBメモリを初期化します。

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ▶[設定]▶[ストレージ]
- 2 [SDカード]／USBメモリ名を選ぶ
- 3 コンテンツマネージャーのメニューを左にフリック▶[⋮]▶[ストレージの設定]▶[フォーマット]▶[消去してフォーマット]
- 4 [完了]

- 初期化を行うと、microSDカードやUSBメモリの内容がすべて消去されますのでご注意ください。

microSDカードの暗号化／暗号化解除

microSDカードを暗号化すると、microSDカード内のデータは、暗号化を実施した端末以外では利用できなくなります。通常のmicroSDカードとして使用するには、暗号化を解除する必要があります。

- 電池を十分に充電した状態で、充電しながら操作してください。
- あらかじめ画面ロックを[ロックNo.]または[パスワード]に設定しておいてください。
 - ・ 画面ロックについてはP.161「セキュリティと現在地情報」

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ▶[設定]▶[ストレージ]
- 2 [SDカード]
- 3 コンテンツマネージャーのメニューを左にフリック▶[⋮]▶[ストレージの設定]▶[暗号化]／[暗号化解除]▶[確認]
 - 画面ロックで設定した方法でロックを解除してください。
- 4 [開始]

- microSDカードの空き容量が不足していると、暗号化／暗号化解除を実行できません。
- microSDカードを暗号化した状態で[すべてのデータを消去(初期状態にリセット)]を行った場合、microSDカード内のデータを利用できなくなりますのでご注意ください。[すべてのデータを消去(初期状態にリセット)]を行う前に、暗号化解除を行ってください。
- microSDカードを暗号化した端末に、暗号化していない別のmicroSDカードを取り付けた場合、microSDカードは読み取り専用となります。
- 読み取り専用のmicroSDカードは、暗号化することで書き込みが可能となります。
- microSDカードの暗号化／暗号化解除には時間がかかる場合があります。暗号化を実行中は充電を中止したり、microSDカードを取り外したりしないでください。暗号化が中断された場合、microSDカード内のデータが失われる可能性があります。

セキュリティと現在地情報

セキュリティロックや、位置情報について設定します。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ ▶ [設定] ▶ [セキュリティと現在地情報]

2 項目を選ぶ

- **Google Play プロテクト**: アプリや本端末に不正な動作がないかスキャンする機能について設定します。
- **端末を探す**: Googleアカウントによる遠隔操作で、本端末の位置情報を検出したり、タッチパネルのロックや[すべてのデータを消去(初期状態にリセット)]を実行できるようにするか設定します。
- **セキュリティ アップデート**: 本端末のソフトウェアアップデートについて設定します。ソフトウェアアップデートについてはP.207「ソフトウェアアップデートについて」
- **画面ロック**: 電源を入れたときやディスプレイを表示させたときのタッチパネルのロック解除方法やタッチパネルのロック動作について設定します。
- **ロック画面の設定**: タッチパネルのロック画面に表示する通知やメッセージについて設定します。ロック画面の通知についてはP.151「アプリと通知」
- **顔認証**: 顔認証に使う顔を登録します。顔を登録すると、画面ロックを顔認証でも解除できるようになります。顔認証についてはP.164「顔認証」
- **指紋**: 指紋認証に使う指の指紋を登録します。指紋を登録すると、画面ロックを指紋認証でも解除できるようになります。指紋認証についてはP.166「指紋認証」

- **Smart Lock**: 画面ロックを[なし]や[スワイプまたはタッチ]以外に設定しているとき、信頼できる場所や信頼できる端末などを確認した場合は、タッチパネルのロックをスワイプまたはタッチで解除するように設定します。
- **位置情報**: 位置情報についてはP.168「位置情報」
- **パスワードを表示**: PINコードなどを入力する際、[.]が表示される前に入力した文字を表示させることができます。
- **端末管理アプリ**: アプリのデバイス管理機能を設定します。アプリによっては、デバイス管理機能を有効にしないと利用できないものがあります。
- **SIMカードロック設定**: SIMカードロック設定についてはP.169「SIMカードロック設定」
- **暗号化と認証情報**: スマートフォンの暗号化の状態を確認したり、認証情報について設定します。
- **信頼できるエージェント**: タッチパネルのロックを解除するアプリ(エージェント)について設定します。
- **画面の固定**: 選択したアプリ以外を使用できないようにします。操作方法についてはP.57「アプリ使用履歴」
- **使用履歴にアクセスできるアプリ**: アプリ使用履歴データにアクセスできるアプリを設定します。

【画面ロック】について

- 設定項目は次のとおりです。
 - なし：タッチパネルのロック画面を表示しません。
 - スワイプまたはタッチ：[⏲]をタッチしてロックを解除するように設定します。ロック画面・ホーム一括切替で[AQUOS Home]／[AQUOSかんたんホーム]を選択した場合は[⏲]を上にもスライドしてロックを解除します。
 - パターン：4つ以上の点を結ぶパターンを設定します。
 - ロックNo.：4～16桁の数字を設定します。
 - パスワード：4～16桁の英数字と半角記号を設定します。
 - ・一部の半角記号は利用できません。
- 画面ロックを[パターン]／[ロックNo.]／[パスワード]に設定している場合、各種設定を行うときにロック解除の画面が表示される場合があります。ロック解除の画面が表示された場合は、設定している方法でロックを解除してください。
- 指紋を登録している場合は指紋認証でも解除することができます。
 - ・指紋認証に5回連続して失敗すると、一定時間指紋によるロック解除ができなくなります。しばらくしてから再度操作するか、画面ロックで設定した方法でロックを解除してください。

- [パターン]／[ロックNo.]／[パスワード]の入力を間違えると、間違えた回数に応じて一定時間ロック解除ができなくなります。
 - 5回連続：30秒間
 - 10回連続：30秒間10回連続して間違えた場合、それ以降に間違えるごとに30秒間入力ができません。ロックを解除すると、カウントはリセットされます。
- 画面ロックの[⏲]をタッチすると、次の項目を設定することができます。画面ロックの設定によって、表示される項目は異なります。
 - パターンを表示する：パターンの入力時の軌跡を線で表示します。
 - 自動ロック：タッチパネルがロックされるまでの時間を設定します。
 - 電源ボタンですぐにロックする：[⏲]（電源キー）を押してディスプレイの表示を消したときに、自動ロックで設定した時間にかかわらずタッチパネルをロックするか設定します。
 - ロック画面メッセージ：タッチパネルのロック画面に表示するメッセージについて設定します。
- [パターン]／[ロックNo.]／[パスワード]を忘れた場合は、ドコモショップにお問い合わせください。

[Smart Lock]について

- Smart Lock利用中、タッチパネルのロック画面で[- ロック画面・ホーム一括切替が[AQUOS Home]／[AQUOSかんたんホーム]の場合は、[

[暗号化と認証情報]について

- 証明書を削除した場合、「信頼できる認証情報」からは証明書の参照ができなくなりますが、他の機能からは証明書の参照が可能なままとなります。証明書を完全に削除する場合は認証ストレージの消去を行ってください。
- 「認証ストレージの消去」をタッチすると、VPNの設定も削除されます。

本端末で利用する暗証番号

本端末には、便利にお使いいただくための各種機能に、暗証番号の必要なものがあります。各種端末操作の暗証番号のほかに、ネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号などがあります。用途ごとに上手に使い分けて、本端末を活用してください。

- 各種機能用の暗証番号、PINコード入力時は、[・]で表示されます。

各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」、「電話番号の一部」、「所在地番号や部屋番号」、「1111」、「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。

- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一、暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）や本端末、ドコモnanoUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。
詳しくは裏表紙の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
- PINロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とドコモnanoUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

■ ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターや「お客様サポート」でのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただけますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

- ネットワーク暗証番号の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
<https://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/password/network/>

■ PINコード

ドコモnanoUIMカードには、PINコードという暗証番号があります。この暗証番号は、ご契約時は[0000]に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます（※P.169「SIMカードロック設定」）。PINコードは、第三者によるドコモnanoUIMカードの無断使用を防ぐため、ドコモnanoUIMカードを取り付ける、または本端末の電源を入れるたびに使用者を認識するために入力する4～8桁の暗証番号です。PINコードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。

- 別の端末で利用していたドコモnanoUIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPINコードをご利用ください。設定を変更されていない場合は[0000]となります。
- PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使えなくなります。この場合は、「PINロック解除コード」でロックを解除してください。

■ PINロック解除コード(PUKコード)

PINロック解除コードは、PINコードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、お客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を、10回連続して間違えるとドコモnanoUIMカードが完全にロックされます。その場合は、ドコモショップ窓口にお問い合わせください。

■ dアカウント

dアカウントとは、スマートフォン、タブレット、パソコンなどでdポイントやdマーケットなどのドコモが提供するサービスを利用するときに必要なID／パスワードです。

■ Googleアカウント

Googleアカウントとは、Googleの各種サービスを利用するためのユーザー名／パスワードです。本端末にGoogleアカウントを設定することで、Gmailを利用してEメールを送受信したり、Google Playを利用してアプリやゲームなどのコンテンツをダウンロードしたりできます。

顔認証

顔認証は、所有者の顔を認識する認証機能です。
タッチパネルのロック解除などを行うことができます。

■ 顔認証機能利用時のご注意

- 顔認証を最適形で実現するために、顔の登録時に以下の点に注意してください。
 - 明るい場所で顔を登録してください。ただし逆光となる場所では顔を登録しないでください。
 - 衣類、髪の毛、サングラス、マスクなどで顔を覆わないでください。
 - 顔全体を登録エリアの枠内に入れた状態で撮影し、頭を動かしたり、目を閉じたりしないようにしてください。
- ロック画面で顔認証を行う際は、以下の点に注意してください。
 - 極端に暗い場所や明るい場所、逆光となる場所では、顔認証の成功率が下がる場合があります。
 - 衣類、髪の毛、サングラス、マスクなどで顔の全体、あるいは一部が覆われると、顔認証の成功率が下がる場合があります。
 - 自分に似た人やモノでもロック解除されてしまう場合があります。

■ 顔の登録

顔認証に使う顔データを登録します。

- 顔は1件のみ登録できます。
- あらかじめ画面ロックを[なし]や[スワイプまたはタッチ]以外に設定しておいてください(☞P.161「セキュリティと現在地情報」)。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ▶[設定]▶[セキュリティと現在地情報]▶[顔認証]

- 画面ロックで設定した方法でロックを解除してください。

2 [次へ]

- [持ち上げると画面点灯する機能を有効にする]にチェックを入れて[持つと画面点灯]を有効に設定することができます(☞P.158「自動画面点灯」)。

3 内容を確認▶[OK]

4 登録する顔を画面に表示する

5 顔認証のタイミングを選ぶ▶[OK]

- [見るだけですぐ]を選択すると、タッチパネルのロック画面、またはタッチパネルのロック画面で[🔒]をタッチしたあとの画面で顔認証を行い、[画面の表示(通知や時計など)]を見てから]を選択すると、タッチパネルのロック画面で[🔒]をタッチしたあとの画面で顔認証を行います。

- 画面ロックを[なし]か[スワイプまたはタッチ]に設定すると、登録した顔が削除されますので、ご注意ください。

■ 顔認証の管理

顔を登録済みの場合に顔データの削除などができます。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ▶[設定]▶[セキュリティと現在地情報]▶[顔認証]

- 画面ロックで設定した方法でロックを解除してください。

2 顔認証を管理する

- 登録した顔データの削除:[顔データの削除]▶[はい]
 - ・ 削除後、[顔データの登録]をタッチすると、顔データを登録することができます。
- 顔認証のタイミングの変更:顔認証のタイミングを選択
- 顔認証について確認:[🔒]▶[顔認証とは]
- 注意事項の確認:[🔒]▶[注意事項]

■ 顔認証機能の利用

1 設定した顔認証のタイミングの画面でディスプレイを見る

指紋認証

指紋認証は、指紋センサーを指でタッチして行う認証機能です。タッチパネルのロック解除などを行うことができます。

■ 指紋認証機能利用時のご注意

- 指紋認証は、指紋画像の特徴情報を利用して認証を行います。指紋画像の特徴情報が少ないお客様の場合は、指紋認証を利用できないことがあります。
- 認証性能(指紋センサーを正しく指でタッチした際に指紋が認証される性能)はお客様の使用状況により異なります。指の状態が次のような場合は、指紋の登録が困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。なお、手を洗う、手を拭く、認証する指を変えるなど、お客様の指の状態に合わせて対処することで、認証性能が改善されることがあります。
 - お風呂上がりなどで指がふやけている
 - 指が乾燥している
 - 指に汗や脂が多く、指紋の溝が埋まっている
 - 指が泥や油で汚れている
 - 指が汗などで濡れている
 - 手荒れや、指に損傷(切傷やただれなど)がある
 - 指の表面が磨耗して指紋が薄い
 - 太ったりやせたりして指紋が変化した
 - 登録時に比べ、認証時の指の表面状態が極端に異なる
- 指紋認証技術は、完全な本人認証・照合を保証するものではありません。当社では、本端末を第三者に使用されたこと、または使用できなかったことによって生じる損害に関しては、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 指紋センサー利用時のご注意

- ぶつけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。故障および破損の原因となることがあります。また、センサー表面を引っかいたり、ボールペンやピンなど先の尖ったものでつついたりしないでください。
- 指紋センサー表面にシールなどを貼ったり、インクなどで塗りつぶしたりしないでください。
- ほこりや皮脂などの汚れが付着すると、指紋の読み取りが困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。指紋センサー表面は時々清掃してください。
- 指を離すのが早すぎると、正常に認識できないことがあります。指紋が認証されてから、指を離してください。
- 指紋センサーに指を触れたまま指紋の登録や認証を開始すると、起動できない場合があります。指を離し、再度操作してください。

■ 指紋の登録

指紋認証に使う指の指紋を登録します。

- 指紋は5件まで登録できます。
- 読み取りに失敗する場合は、指を変えることで認証性能が改善されることがあります。
- あらかじめ画面ロックを[なし]や[スワイプまたはタッチ]以外に設定しておいてください(※P.161「セキュリティと現在地情報」)。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ ▶ [設定] ▶ [セキュリティと現在地情報] ▶ [指紋]

- ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ ▶ [設定] ▶ [AQUOS 便利機能] ▶ [指紋センサー] ▶ [指紋登録]でも指紋を設定できます。

2 [次へ]

- 画面ロックで設定した方法でロックを解除してください。

3 [次へ]

4 指紋センサーを指の腹でタッチ

- 広い範囲の指紋を登録するため、指紋センサーに触れる部分を少しずつずらしながら、パーセントの表示が100%になるまで繰り返しタッチしてください。
- 指紋を登録すると、画面ロックを指紋認証でも解除できるようになります。
 - ・ 指紋認証ができない場合は、画面ロックで設定した方法でロックを解除します。

5 [完了]

- 続けて別の指紋を登録する場合は、[別の指紋を登録]を選択してください。
- 画面ロックを[なし]か[スワイプまたはタッチ]に設定すると、登録した指紋が削除されますので、ご注意ください。

■ 指紋の管理

指紋の追加や削除、登録名の変更ができます。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ ▶ [設定] ▶ [セキュリティと現在地情報] ▶ [指紋]

- ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ ▶ [設定] ▶ [AQUOS 便利機能] ▶ [指紋センサー] ▶ [指紋登録]でも指紋を設定できます。
- 画面ロックで設定した方法でロックを解除してください。

2 指紋を管理する

- 指紋を追加: [指紋を追加] ▶ 画面の指示に従って操作
- 登録名の変更: 登録済みの指紋をタッチ ▶ 名前を入力 ▶ [OK]
- 登録した指紋の削除: 登録済み指紋の[] ▶ [削除]
 - ・ 確認画面が表示された場合は内容を確認し、[削除]を選択してください。

■ 指紋認証機能の利用

1 画面消灯中／タッチパネルのロック画面／指紋の認証画面で指紋センサーを指の腹でタッチ

- 画面消灯中に操作すると、タッチパネルのロックが解除され、ディスプレイが表示されます。
- 正しく認証されない場合は、指を指紋センサーから離し、再度操作してください。

■ ホームキーとして使う

指紋センサーをホームキーとして使うことができます。また、画面消灯中に指紋センサーをタッチして、ディスプレイを表示することができます。

- 指紋を登録していなかったり、登録した指紋と異なる指でタッチしても、ホームキーとして利用できます。
- 指紋を登録していない場合、画面消灯中に指紋センサーをタッチするとディスプレイが表示されます。
指紋を登録している場合、登録した指紋と異なる指でタッチしたときは、ディスプレイは表示されません。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ ▶ [設定] ▶ [AQUOS便利機能] ▶ [指紋センサー] ▶ [ホームキーとして使う]

■ 戻るキー／履歴キーも使う

指紋センサーを左から右へなぞることで戻るキーとして、右から左へなぞることでアプリ使用履歴キーとして使うことができます。有効に設定することで、ナビゲーションバーを非表示にして画面を広く表示することができます。

- あらかじめ[ホームキーとして使う]をONにしておいてください。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ ▶ [設定] ▶ [AQUOS便利機能] ▶ [指紋センサー] ▶ [戻るキー／履歴キーも使う]の[]／[]

- [戻るキー／履歴キーも使う]をタッチするとなぞる向きを変更することができます。

位置情報

位置情報の測位について設定します。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ ▶ [設定] ▶ [セキュリティと現在地情報] ▶ [位置情報]

2 ONにする

- 位置情報の利用についての確認画面が表示されます。[いいえ]／[はい]によって、設定されるモードが異なります。

3 項目を選ぶ

- **モード**: 位置情報を測位するモードを設定します。
- **アプリレベルの権限**: 位置情報の利用を許可するアプリを設定します。
- **スキャン**: 位置情報サービスやアプリが、位置情報の精度向上のためにWi-FiネットワークやBluetooth機器をスキャンするか設定できます。
 - ONにすると、[Wi-Fi]や[Bluetooth]をOFFにしている場合もスキャンします。
- 端末にGoogleアカウントを登録している場合は、ロケーション履歴や現在地の共有機能を利用できます。
- 最近の位置情報リクエストがある場合は、タッチするとアプリの情報を確認できます。

- 現在地を測位するためには、[位置情報]をONに設定する必要があります。ご利用のアプリによっては、アプリで位置情報に関する設定が必要な場合があります。

[モード]について

- 設定できるモードは次のとおりです。
 - 高精度:GPS、Wi-Fi、Bluetooth、モバイル ネットワークで位置情報を測位します。
 - バッテリー節約:Wi-Fi、Bluetooth、モバイル ネットワークで位置情報を測位します。
 - 端末のみ:GPSと端末のセンサーを使って位置情報を測位します。
- 設定したモードによっては、端末の消費電力が増加しますので、あらかじめご了承ください。

SIMカードロック設定

PINコードについて設定します。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ▶[設定]▶[セキュリティと現在地情報]▶[SIMカードロック設定]

2 項目を選ぶ

- **SIMカードをロック**:電源を入れたときにPINコードを入力するか設定します。
- **SIM PINの変更**:PINコードを変更します。

- 日本国内ではドコモnanoUIMカードを取り付けていない場合やPINコードロック中、PINロック解除コードの入力画面では緊急通報番号(110番、119番、118番)に発信できません。
- 設定はドコモnanoUIMカードに保存されます。

PINロックの解除

- 1** PINロック中画面でPINロック解除コードを入力
- 2** 新しいPINコードを入力
- 3** もう一度、新しいPINコードを入力

ドコモのサービス／クラウド

ドコモサービスの設定を行います。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ ▶ [設定] ▶ [ドコモのサービス／クラウド]

2 項目を選ぶ

- **dアカウント設定**: ドコモアプリで利用するdアカウントを設定します。また、端末に登録されている生体情報(指紋)を利用したdアカウント認証の設定もできます。
- **ドコモクラウド**: ドコモクラウドについて設定します。
- **ドコモアプリデータバックアップ**: 各アプリのデータバックアップ／復元の設定やデータがバックアップされたアプリの一覧を確認します。
- **ドコモアプリ管理**: アプリのアップデートの確認などについて設定します。
- **おすすめアプリ**: おすすめアプリの設定や過去に受信した通知の確認ができます。
- **おすすめ使い方ヒント**: おすすめ使い方ヒントを利用するか設定します。
- **オートGPS**: オートGPSについて設定します。
- **ドコモ位置情報**: イマドコサーチやイマドコかんたんサーチ、ケータイお探しサービスの位置情報サービス機能の設定を行います。
- **端末アプリ情報送信**: 端末アプリ情報をサーバーへ送信するか設定します。
- **会員情報／プロフィール情報設定**: ドコモサービスで利用するお客様の会員情報／プロフィール情報を確認したり、変更したりできます。

- **ドコモサービス初期設定**: ドコモサービスの初期設定を行います。
- **USBデバッグ切替**: USBデバッグを有効にするか設定します。
- **オープンソースライセンス**: オープンソースライセンスを表示します。

- ドコモのサービス／クラウドに表示されるアプリの中には無効にすることができるものがあり、無効にされたアプリは、ドコモのサービス／クラウドには表示されなくなる場合があります。
- ドコモ提供のアプリを新しくダウンロードすると、ドコモのサービス／クラウドに表示される場合があります。

ユーザーとアカウント

Googleなどのアカウントの設定

- Googleアカウントを設定すると、GmailやGoogle PlayなどのGoogleサービスがご利用になれます。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ ▶ [設定] ▶ [ユーザーとアカウント] ▶ [アカウントを追加]

2 アカウントの種類を選ぶ

3 アカウントを設定する

- ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ ▶ [設定] ▶ [ユーザーとアカウント] で表示されるメニューに、追加したアカウントが表示されます。

- アカウントが必要となるアプリを起動したときにアカウントが未設定の場合は、アカウント設定画面が表示されます。
- 設定したアカウントおよびパスワードはメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。

■ アカウントの削除

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ ▶ [設定] ▶ [ユーザーとアカウント]
- 2 アカウントを選ぶ ▶ [アカウントを削除] ▶ [アカウントを削除]
 - アカウントにより操作方法が異なります。

■ Googleアカウントのパスワードの再取得

Googleアカウントのパスワードをお忘れになった場合は、パスワードを再取得してください。

- 1 ホーム画面で
- 2 URL入力欄に「https://www.google.co.jp」を入力 ▶ [実行] ▶ [ログイン]
- 3 メールアドレスを入力 ▶ [次へ] ▶ [パスワードをお忘れの場合] ▶ 画面の指示に従って操作
 - 利用状況により操作方法が異なります。

データの同期

端末とオンラインサービスとの間でデータを同期させることができます。データを同期させると、端末やパソコンからオンラインサービス上の同じ個人情報にアクセスし、データを利用・更新することができます。

自動同期するとき

各アカウントで設定された項目を自動的に同期するか設定します。

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ ▶ [設定] ▶ [ユーザーとアカウント]
 - 同期する項目の設定: アカウントの種類を選ぶ ▶ [アカウントの同期] ▶ 項目を選ぶ

2 [自動的にデータを同期] ▶ [OK]

- 本体メモリの電話帳とオンラインサービス上の連絡先を同期する場合、Googleアカウント以外と同期する場合でも、最初にGoogleアカウントを登録してください。

手動同期するとき

- [自動的にデータを同期]がOFFのときは、選択した項目を手動で同期できます。
- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ ▶ [設定] ▶ [ユーザーとアカウント]
 - 2 アカウントの種類を選ぶ ▶ [アカウントの同期]
 - 3 同期する項目を選ぶ

ユーザー補助

ユーザー補助オプションについて設定します。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ ▶ [設定] ▶ [ユーザー補助]

2 項目を選ぶ

- **音量キーのショートカット**: ユーザー補助機能をすばやく有効にできるようにするか設定します。
- **テキスト読み上げの出力**: 端末に表示される文字を読み上げる音声について設定します。
- **フォントサイズ**: 文字のサイズを設定します。
- **表示サイズ**: 画面に表示されるアイコンなどのサイズを設定します。
- **拡大**: ディスプレイを3回タッチするか[]をタッチして拡大／縮小するか設定します。
- **大きなマウスポインタ**: ポインタを大きくするか設定します。
- **ポインタが停止したらクリック**: ポインタが停止した際の動作を設定します。
- **電源ボタンで通話を終了**:  (電源キー) を押して通話を終了するか設定します。
- **画面の自動回転**: 端末を回転させたとき、画面の表示も回転させるか設定します。
- **押し続ける時間**: ロングタッチする時間を設定します。
- **モノラル音声**: 音声再生時のチャンネルを統合するか設定します。
- **字幕**: 字幕の表示について設定します。

- **高コントラストテキスト**: 端末に表示される文字色のコントラストを高くして表示するか設定します。
- **色補正**: ディスプレイに表示されている色の補正について設定します。
- **色反転**: ディスプレイに表示されている色を反転するか設定します。
- その他のユーザー補助サービスの利用については、画面の指示に従ってください。

[電源ボタンで通話を終了]について

- [スリープ]の設定に従ってディスプレイの表示が消えた場合は、 (電源キー) を押すとディスプレイが表示されます。ディスプレイ表示中に (電源キー) を押すと、通話が終了します。

Google™

Googleの各種サービスの設定をまとめて行うことができます。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ ▶ [設定] ▶ [Google]

2 項目を選ぶ

- 以降は画面の指示に従って操作してください。
- Bluetooth機器を使用して音声検索を行うには、[検索] ▶ [音声] ▶ [Bluetoothヘッドセット] をONにします。

システム

画面に表示される言語や日時の設定など、システムにかかわる設定を行います。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ ▶ [設定] ▶ [システム]

2 項目を選ぶ

- **言語と入力**: 言語と入力については P.173「言語と入力」
- **操作**: (電源キー)を2回押してカメラを起動するか設定します。
- **日付と時刻**: 日付と時刻については P.174「日付と時刻」
- **バックアップ**: Googleアカウントを利用して、アプリのデータやWi-Fiパスワードなどを自動的にバックアップするか設定します。
- **データ引継**: データ引継については P.174「データ引継」
- **リセット オプション**: リセット オプションについては P.176「リセット オプション」
- **認証**: 技術基準適合証明書などの情報を確認できます。
- **端末情報**: 端末情報については P.177「端末情報」

言語と入力

画面に表示される言語や、文字入力、テキスト読み上げなどについて設定します。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ ▶ [設定] ▶ [システム] ▶ [言語と入力]

2 項目を選ぶ

- **言語**: 表示言語を選択します。
- **仮想キーボード**: ソフトウェアキーボードについて設定します。
- **物理キーボード**: Bluetoothなどで接続したキーボードについて設定します。
- **スペルチェック**: スペルチェックについて設定します。
- **自動入力サービス**: 自動入力サービスについて設定します。
 - ・ [設定] をタッチすると、Googleアカウントを利用した自動入力について設定できます。
- **単語リスト**: 任意の単語を単語リストに登録します。
- **ポインタの速度**: ポインタの速度を設定します。
- **テキスト読み上げの出力**: 端末に表示される文字を読み上げる音声について設定します。

【仮想キーボード】について

- 日本語を入力するときはS-Shoinを利用してください。
S-Shoinの設定については P.45「文字入力の設定」

【スペルチェック】について

- 日本語には対応していません。

日付と時刻

日時の設定や表示形式について設定します。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ ▶ [設定] ▶ [システム] ▶ [日付と時刻]

2 項目を選ぶ

- **日付と時刻の自動設定**: 日時を自動的に補正するか設定します。
- **タイムゾーンの自動設定**: ネットワークから提供されたタイムゾーンを利用するか設定します。
- **日付設定**: 日付を手動で設定します。
- **時刻設定**: 時刻を手動で設定します。
- **タイムゾーンの選択**: タイムゾーンを手動で設定します。
- **24時間表示**: 12時間制/24時間制を切り替えます。

[日付と時刻の自動設定]を有効にしたとき

- 電源を入れてもしばらく時刻が補正されない場合は、電源を入れ直してください。
- 電波状況によっては時刻を補正できないときがあります。
- 数秒程度の誤差が生じるときがあります。

データ引継

microSDカードを利用してデータを取り込んだり、本端末のデータをバックアップ/復元することができます。また、別の端末の電話帳データをBluetooth機能を利用して取り込むこともできます。

- microSDカードにバックアップ/復元できるデータは次のとおりです。
 - 電話帳
 - SMS
 - カレンダー
 - ユーザー辞書/学習辞書(S-Shoin)
 - エモパー
- microSDカードを利用したバックアップ/復元中は[機内モード]がONになります。
- 本体メモリの空き容量が少ない場合は、microSDカードにバックアップできないことがあります。
- microSDカードを利用する場合は、あらかじめmicroSDカードを挿入しておいてください。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ ▶ [設定] ▶ [システム] ▶ [データ引継]

2 項目を選ぶ

- **データ取り込み**: microSDカードやBluetooth機能を利用してデータを取り込みます。
- **SDカードにデータ保存**: microSDカードにデータを保存します。
- **機能紹介**: 使いかたを動画で確認することができます。

■ バックアップファイルの保存

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ ▶ [設定] ▶ [システム] ▶ [データ引継]

2 [SDカードにデータ保存]

3 保存するデータカテゴリを選ぶ

- [電話帳]や[カレンダー]を選択した場合は保存するアカウントの選択画面が表示されます。

4 [保存] ▶ [はい]

5 [完了]

- 電池残量が少ないときは保存できません。

■ バックアップファイルの取り込み

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ ▶ [設定] ▶ [システム] ▶ [データ引継]

2 [データ取り込み]

3 [取り込む]

4 取り込むバックアップファイルを選ぶ ▶ [追加登録] / [削除して登録]

- 確認画面が表示されます。以降は画面の指示に従って操作してください。

5 [完了]

- 電池残量が少ないときは取り込みできません。

- ユーザー辞書／学習辞書(S-Shoin)、エモパーは追加登録できません。[追加登録]を選択しても、既存のデータが削除されませんので、ご注意ください。

■ バックアップファイルの設定・管理

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ ▶ [設定] ▶ [システム] ▶ [データ引継]

2 [:] ▶ [設定]

3 項目を選ぶ

- **バックアップファイルの整理**: 保存されているバックアップデータを削除できます。
- **電話帳画像バックアップ**: 電話帳のバックアップ時に電話帳に登録された画像もバックアップするか設定します。
- **結果画面閲覧**: 最新のバックアップファイルの保存／取り込みの結果を表示します。

■ Bluetooth機能を利用して電話帳データを取り込む

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ ▶ [設定] ▶ [システム] ▶ [データ引継]

2 [データ取り込み]

3 取り込み元の端末の種類を選ぶ

- microSDカードのバックアップデータについての確認画面が表示された場合は、[スマートフォンから電話帳データを取り込む]を選択してください。

4 [次へ]

5 取り込み元の端末でBluetooth機能をONにする ▶ [次へ]

- 取り込み元の端末がAndroidの場合は、取り込み元の端末が本端末に表示されるように、取り込み元の端末を設定してください。

6 取り込み元の端末を選ぶ

7 [開始]

- ペア設定の確認画面が表示された場合は[ペア設定する]を選択してください。

8 [次へ]

9 [追加登録]／[削除して登録] ▶ [OK]

- アカウントが複数ある場合は登録するアカウントの選択画面が表示されます。

10 [OK]

リセット オプション

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ ▶ [設定] ▶ [システム] ▶ [リセット オプション]

2 項目を選ぶ

- **Wi-Fi、モバイル、Bluetooth をリセット**: Wi-Fi、モバイルデータ、Bluetoothに関する設定をすべてリセットします。
- **アプリの設定をリセット**: アプリに設定した内容をすべてリセットします。
- **すべてのデータを消去(初期状態にリセット)**: 本体メモリ内のすべてのデータをリセットします。

[すべてのデータを消去(初期状態にリセット)]について

- [SDカード内データも消去する]を有効にすると、microSDカード内のデータも同時に消去されます。
- 消去されるデータは次のとおりです。
 - 作成、保存、登録したデータ
 - 「設定」アプリで設定した内容
 - ダウンロードしたアプリ

端末情報

端末情報の確認ができます。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ ▶ [設定] ▶ [システム] ▶ [端末情報]

2 項目を選ぶ

- **端末の状態**: 電池残量や利用中のネットワークなどを確認できます。
- **センサー感度補正**: モーションセンサー、地磁気センサーの取得精度を補正します。
- **ソフトウェアアップデート**: ソフトウェアアップデートについては P.207「ソフトウェアアップデートについて」
- **法的情報**: 著作権情報や利用規約などを確認できます。
- **モデル**: モデル番号を確認できます。
- **Androidバージョン**: Androidバージョンを確認できます。
- **Androidセキュリティパッチレベル**: 搭載されているセキュリティパッチがいつ配信されたものかを確認できます。
- **ベースバンドバージョン**: ベースバンドバージョンを確認できます。
- **カーネルバージョン**: カーネルバージョンを確認できます。
- **ビルド番号**: ビルド番号を確認できます。

[センサー感度補正]について

- 補正画面が表示され、約10秒経過してから補正を行ってください。
- 補正を行う環境や同時に起動しているアプリによっては、補正に失敗することがあります。補正を行う場所を変えるか、起動中のアプリを終了させるなどしてください。

お困りのときは

「よくあるご質問」の確認や設定項目の検索など、お困りのときに利用できる機能がまとめられています。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ ▶ [設定] ▶ [お困りのときは]

2 項目を選ぶ

- **よくあるご質問**: シャープのサイトに接続し、「よくあるご質問」を確認できます。
- **設定項目を検索**: 検索入力欄にキーワードを入力すると、設定項目を検索できます。
- **使いこなしガイド**: 「使いこなしガイド」を確認できます。
- **セルフチェック**: 症状や機能を選択して、端末の診断を行います。

■ セルフチェック

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ ▶ [設定] ▶
[お困りのときは] ▶ [セルフチェック]
 - セーフモードで再起動: [セーフモードで再起動] ▶ [OK]
- 2 [チェックスタート]
- 3 [端末の症状から選択] / [端末の機能から選択]
- 4 項目を選ぶ
 - [端末の機能から選択]の場合は、項目を選んで[次へ]をタッチします。また、項目の[?]をタッチすると、診断についてのヘルプが表示されます。
- 5 [次へ]
- 6 [診断開始]
 - 診断の中止: [キャンセル] ▶ [次の項目] / [はい]
 - 診断履歴をタッチすると、結果を確認することができます。

ファイル管理

ストレージ構成

■ 本体メモリ(内部ストレージ)

端末内にデータを保存できます。

- 本体メモリのストレージ名とパスは次のとおりです。
 - ・ ストレージ名:内部共有ストレージ
 - ・ パス:/storage/emulated/0
- お買い上げ時の本体メモリのフォルダ構成と、各フォルダに保存されるデータの種類などは次のとおりです。
 - ・ 本端末の操作状況により、表示されるフォルダが異なる場合があります。

Alarms	アラーム音などが保存されます。
Android	インストールしたアプリの一時ファイルなどが保存されます。
DCIM	端末で撮影した静止画や動画が保存されません。
Download	Chromeでダウンロードしたファイルが保存されます。
Movies	動画などが保存されます。
Music	音楽データなどが保存されます。
Notifications	お知らせ音などが保存されます。
Pictures	静止画などが保存されます。
Podcasts	ポッドキャストから取り込んだ音楽データなどが保存されます。

PRIVATE	静止画や動画、音楽データなどが保存されます。
Ringtones	着信音などが保存されます。

■ microSDカード(外部ストレージ)

端末内のデータをmicroSDカードに保存したり、microSDカード内のデータを端末に取り込んだりすることができます。

- microSDカードについてはP.33「microSDカード」

ファイル操作

本体メモリやmicroSDカードに保存されたデータの管理(フォルダの作成やフォルダ／ファイルの名称変更、削除、移動、コピーなど)ができます。また、データを削除して本体メモリの空き容量を増やすことができます。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ▶[設定]▶[ストレージ]

- microSDカードを取り付けていない場合は、本体メモリの使用容量の詳細画面が表示されます。

2 ストレージを選ぶ

- [内部共有ストレージ]を選択すると、本体メモリの使用容量の詳細画面が表示されます。詳細画面で[ファイル]を選択すると、本体メモリに保存されているデータの一覧が表示されます。
- microSDカードを選択すると、保存されているデータの一覧が表示されます。

■ フォルダを作成

- 1 データ一覧画面で[⋮] ▶ [新しいフォルダ]
- 2 フォルダ名を入力 ▶ [OK]

■ フォルダ名／ファイル名を変更

- 1 データ一覧画面でフォルダ／ファイルをロングタッチ
- 2 [⋮] ▶ [名前を変更]
- 3 フォルダ名／ファイル名を入力 ▶ [OK]

■ フォルダ／ファイルを削除

- 1 データ一覧画面でフォルダ／ファイルをロングタッチ
- 2 [🗑] ▶ [OK]

■ フォルダ／ファイルを移動／コピー

- 1 データ一覧画面でフォルダ／ファイルをロングタッチ
- 2 [⋮] ▶ [移動...]／[コピー...]
- 3 移動先／コピー先で[移動]／[コピー]

■ ファイルを検索

- 1 データ一覧画面で[🔍]
- 2 検索するキーワードを入力 ▶ [Q]

■ 本体メモリの空き容量を増やす

ダウンロードしたデータやほとんど使われないアプリなどを削除して、本体メモリの空き容量を増やすことができます。

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ ▶ [設定] ▶ [ストレージ] ▶ [内部共有ストレージ] ▶ [空き容量を増やす]
 - microSDカードを取り付けていない場合は、ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ ▶ [設定] ▶ [ストレージ] ▶ [空き容量を増やす]と操作してください。
- 2 削除するデータを選ぶ
 - 以降は画面の指示に従って操作してください。

Bluetooth®機能

端末とBluetooth機器をワイヤレスで接続できます。

- すべてのBluetooth機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。
- 対応バージョンや出力についてはP.210「主な仕様」

■ 対応プロファイル(対応サービス)

- プロファイルとは、Bluetooth機器の通信手順を製品の特性ごとに標準化したものです。本端末は次のプロファイルに対応しています。
 - HSP: Headset Profile(ヘッドセットプロファイル)*1
 - HFP: Hands Free Profile(ハンズフリープロファイル)*2
 - A2DP: Advanced Audio Distribution Profile(アドバンスドオーディオディストリビューションプロファイル)*3
 - AVRCP: Audio/Video Remote Control Profile(オーディオ/ビデオリモートコントロールプロファイル)*3
 - HID: Human Interface Device Profile(ヒューマンインターフェースデバイスプロファイル)*4
 - OPP: Object Push Profile(オブジェクトプッシュプロファイル)*5
 - SPP: Serial Port Profile(シリアルポートプロファイル)*6
 - FTP: File Transfer Profile(ファイルトランスファープロファイル)*7
 - PBAP: Phone Book Access Profile(フォンのブックアクセスプロファイル)*8

- PAN: Personal Area Networking Profile(パーソナルエリアネットワークプロファイル)*9
- HOGP: HID Over GATT Profile(エイチアイディーオーバーガットプロファイル)*10

- ※1 端末に市販のBluetooth対応ヘッドセットをBluetooth接続すると、ワイヤレスで通話できます。
- ※2 端末にカーナビなど市販のBluetooth対応ハンズフリー機器をBluetooth接続すると、カーナビなどを利用してハンズフリー通話できます。
- ※3 端末に市販のBluetooth対応オーディオ機器をBluetooth接続すると、ワイヤレスで音楽などを再生できます。また、Bluetooth機器からリモコン操作できる場合もあります。ただし、データの種類によっては対応する機器が制限されます。
- ※4 端末にキーボードやマウスなど市販のBluetooth対応入力デバイスをBluetooth接続すると、Bluetooth機器から端末を操作できます。
- ※5 端末にBluetooth機器をファイル転送サービスで接続すると、Bluetooth機器との間でデータの送受信を行うことができます。
- ※6 仮想的なシリアルケーブル接続を設定し機器間を相互接続することができます。
- ※7 Bluetooth機器との間でデータの送受信を行うことができません。
- ※8 Bluetooth機器に本体メモリの電話帳データを転送することができます。電話帳データの内容によっては、相手のBluetooth機器で正しく表示されない場合があります。

- ※9 パソコンなどのネットワークに参加し、インターネット接続を共有することができます。また、端末にパソコンなどをBluetooth接続すると、Bluetoothデザリングを行うこともできます。
- ※10 端末にキーボードやマウスなどのBluetooth Smart機器をBluetooth接続すると、Bluetooth Smart機器から端末を操作できます。

- Bluetooth機器の取扱説明書もご覧ください。
- SCMS-T非対応のBluetooth機器では、音声出力できない場合があります。

Bluetooth機器取り扱い上のご注意

Bluetooth機器を利用するときは、次の事項にご注意ください。

- 良好な接続を行うために、次の点にご注意ください。
 - 端末と他のBluetooth機器とは、見通し距離約10m以内で接続してください。間に障害物がある場合や、周囲の環境（壁、家具など）、建物の構造によっては接続可能距離が短くなります。特に鉄筋コンクリートの建物の場合、上下の階や左右の部屋など鉄筋の入った壁を挟んで設置したときは、接続できないことがあります。上記接続距離を保証するものではありませんので、ご了承ください。
 - 電気製品、AV機器、OA機器などからなるべく離して接続してください。電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、できるだけ離れてください。近づいていると、他の機器の電源が入っているときは、正常に接続できなかったり、テレビやラジオの雑音や受信障害の原因になったりすることがあります。
 - 放送局や無線機などが近くにあり正常に接続できないときは、接続相手のBluetooth機器の使用場所を変えてください。周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。
 - Bluetooth機器をかばんやポケットに入れたままでもワイヤレス接続できます。ただし、Bluetooth機器と端末の間に身体を挟むと、通信速度の低下や雑音の原因になることがあります。

- Bluetooth機器が発信する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では端末の電源および周囲のBluetooth機器の電源を切ってください。

- 電車内
- 航空機内
- 病院内
- 自動ドアや火災報知機から近い場所
- ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所

Wi-Fi対応機器との電波干渉について

- Bluetooth機器と無線LAN(IEEE802.11b/g/n)は同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、無線LANを搭載した機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になることがあります。この場合、無線LANの電源を切るか、端末や接続相手のBluetooth機器を無線LANから約10m以上離してください。

Bluetooth機能の利用

- Bluetooth機器の登録・接続には、Bluetoothパスキーの入力が必要な場合があります。登録を始める前にお好きな1～16桁の数字を決めておき、端末・相手のBluetooth機器で同じ数字を入力してください。
- あらかじめ相手のBluetooth機器を登録待機状態にしておいてください。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ ▶ 「設定」 ▶ 「接続済みの端末」 ▶ 「Bluetooth」

2 ONにする

3 [新しいデバイスとペア設定する]

4 Bluetooth機器を選ぶ ▶ [ペア設定する]

- 接続確認画面が表示される場合があります。
- 相手のBluetooth機器によっては、Bluetoothパスキーを入力する場合があります。また、登録完了後、続けて接続まで行う場合があります。
- ペア設定済みのBluetooth機器の[]をタッチして相手のBluetooth機器の名前や使用目的を設定できます。

- 最大7台まで同時に接続できます。プロファイルによっては、正しく動作しない場合や、同時に接続できる機器数が異なる場合があります。
- 接続に失敗する場合、Bluetooth機器を再登録すると接続できるようになる場合があります。
- [Bluetooth]をONにすると、他のBluetooth機器からの登録要求／接続要求を受けられる状態になります。他のBluetooth機器から検索する場合は、Bluetooth画面を表示しておいてください。
- 接続待機中、Bluetooth機器からの接続要求を受けても、電波状況などにより接続できないことがあります。
- 相手のBluetooth機器の操作方法の詳細は、ご使用になるBluetooth機器の取扱説明書をお読みください(ご覧になる取扱説明書によっては、「更新」の代わりに「検索」または「サーチ」、「ペア設定」の代わりに「ペアリング」または「機器登録」などと表記されています)。

■ Bluetooth機器からの登録要求や未登録のBluetooth機器からの接続要求を受けた場合

1 Bluetooth機器からの登録要求／接続要求

2 ペア設定画面で[ペア設定する]

- ステータスバーに[※]が表示された場合はステータスバーを下にドラッグ▶[ペア設定リクエスト]▶[ペア設定する]と操作してください。
- 相手のBluetooth機器によっては、Bluetoothパスキーの入力をする場合もあります。
- 接続確認画面が表示される場合があります。

■ Bluetooth機器の登録解除

1 Bluetooth画面で登録を解除するBluetooth機器の[⚙]▶[削除]

■ Bluetooth機器の接続解除

1 Bluetooth画面で接続を解除するBluetooth機器を選ぶ▶[OK]

■ 本端末の名称変更

相手のBluetooth機器に表示される本端末の名称を変更できます。

- [Bluetooth]をONにしてから設定してください。

1 Bluetooth画面で[端末名]

2 名前を入力▶[名前を変更]

■ データ受信履歴の確認

- [Bluetooth]をONにしてから設定してください。

1 Bluetooth画面で[受信済みファイル]

2 履歴を選ぶ

- データ受信履歴の内容が表示されます。

Bluetooth通信送受信

■ データを送信

例:静止画のとき

1 ホーム画面で[アルバム]

2 送信する静止画をロングタッチ

3 [📶]▶[Bluetooth]

- 受信側のBluetooth機器を受信待ち状態にします。

4 接続するBluetooth機器を選ぶ

■ データを受信

- 1 送信側のBluetooth機器からデータ送信
- 2 ステータスバーを下にドラッグ▶着信通知の[承諾]
- 3 ステータスバーを下にドラッグ▶受信したデータを選ぶ

- データの種類によっては、全件受信できないことがあります。
- 受信中に保存先の空き容量が不足した場合は、それまでに受信したデータを保存し、受信を終了します。

NFC通信

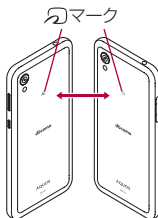
NFCとはNear Field Communicationの略で、ISO(国際標準化機構)で規定された国際標準の近接型無線通信方式です。非接触ICカード機能やReader／Writer機能、P2P機能などが本端末でご利用いただけます。

Androidビーム

Reader／Writer, P2P機能を搭載した端末との間でデータを送受信できます。

- あらかじめ[Reader／Writer, P2P]を有効にし、[Androidビーム]をONにしておいてください(※P.127「NFC／おサイフケータイ 設定」)。
- 機内モードやNFC／おサイフケータイ ロックを設定している場合は、Androidビームを利用できません。
- 電話帳、静止画、動画などを送受信できます。
- アプリによってはAndroidビームをご利用になれません。
- すべてのReader／Writer, P2P機能を搭載した端末との通信を保証するものではありません。

■ Androidビームのご利用にあたって



- 図のように受信側と送信側の端末のマークを重ね合わせてご利用ください。
- データの送受信が終わるまでは、端末を動かさないでください。
- 相手の端末によっては、データを送受信しにくいことや端末を近づけた際にディスプレイの表示が消えてしまうことがあります。そのときは、マーク同士の間隔を近づけたり遠ざけたりするか、上下左右にずらしてください。
- その他の注意事項は対向機にかざす際の注意事項と同様です（※P.126「対向機にかざす際の注意事項」）。

■ データを送信

例：電話帳のとき

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ▶[ドコモ電話帳]▶[連絡先]
- 2 名前を選ぶ
- 3 相手の端末とマークを重ね合わせる
 - [タップしてビーム]が表示されます。
- 4 画面をタッチ

■ データを受信

- 1 相手の端末とマークを重ね合わせる

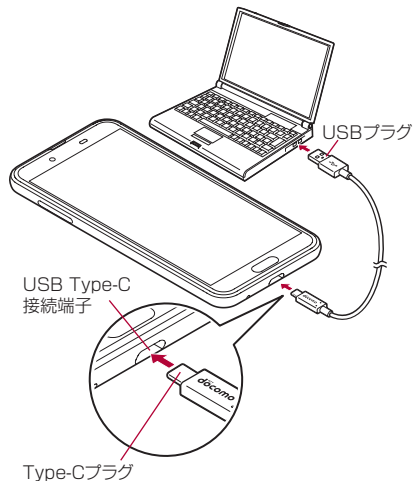
外部機器接続

パソコンとの接続

端末とパソコンを接続することで、端末を充電したり、パソコンと本体メモリまたはmicroSDカードの間でデータを転送したりできます。

USBケーブル A to C 01 (別売) を使って接続する場合は、次の操作を行います。

- 1 USBケーブル A to C 01 のType-Cプラグを、端末のUSB Type-C接続端子に水平に差し込む
 - 2 USBケーブル A to C 01 のUSBプラグをパソコンのUSBコネクタに水平に差し込む
- USB接続の用途についての確認画面が表示されます。表示されない場合は、ステータスバーを下にドラッグして、USB接続の用途についての通知を選んでください。



3 USB接続の用途を選ぶ

- **この端末を充電する**: 端末の充電のみを行います。
- **ファイルを転送する**: MTP対応のパソコンと本体メモリまたはmicroSDカードの間でデータを転送します。
- **写真を転送する(PTP)**: PTP対応のパソコンと本体メモリの間で静止画を転送します。
- **この端末をMIDIとして利用する**: 端末をMIDI入力に使用します。
- テザリング設定についてはP.149「アクセス ポイントとテザリング」

4 利用が終わったら、USBケーブル A to C 01を端末とパソコンから取り外す

- 本端末に対応するUSBケーブルをご利用ください。プラグ部の形状が異なるものは使用できません。
- USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
- 一度に大量のデータを転送した場合、転送が中断することがあります。その場合はデータを分けて転送してください。
- パソコンとデータのやりとりをしているときは、USBケーブルを取り外さないでください。データが壊れることがあります。
- 接続可能なパソコンのOSは、Windows 7、Windows 8.1、Windows 10(いずれも日本語版)です。

プリントサービスによる印刷／保存

印刷用アプリ(プラグイン)を利用して画像を印刷したり、Googleドライブなどに画像を保存したりできます。

例: アルバムを利用するとき

1 アルバムの画像表示画面で[⋮]▶[印刷]

2 各項目を設定

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

USBホスト機能

本端末にはUSBホスト機能が搭載されています。市販の周辺機器接続用USBケーブルをUSB Type-C接続端子に接続することでマウスなどのUSB機器を利用できます。

- USBホスト機能について詳しくは、周辺機器接続用USBケーブルやUSB機器の取扱説明書をご覧ください。

- すべてのUSB機器との接続を保証するものではありません。
- 電池残量が少なくなったり、端末の温度が低下したりするとUSB機器の接続を解除します。
- USBホスト機能の利用中は端末の動作が遅くなる場合があります。
- 消費電力の大きなUSB機器を接続する場合、端末の動作状態や電池残量、周囲温度によっては自動的に端末の電源が切れることがあります。

USBメモリの取り外しについて

- USBメモリの取り外しは、USBメモリをマウント解除してから行ってください(※P.159「ストレージ」)。データが壊れることや正常に動作しなくなることがあります。

キャスト

キャスト対応のテレビなどに端末の画面と音声を出します。

- Miracast対応テレビやアダプタなど、その他のMiracast対応機器と接続することもできます。
- 接続機器側の操作については、ご使用になる機器の取扱説明書をご覧ください。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ ▶ [設定] ▶ [接続済みの端末] ▶ [キャスト]

2 [] ▶ [ワイヤレスディスプレイの有効化]

- [ワイヤレスディスプレイの有効化]を有効にすると[Wi-Fi]がONになり、接続可能な機器や接続したことのある機器がリスト表示されます。

3 接続する機器を選ぶ

- 接続する機器によっては、確認画面が表示されます。内容を確認し、画面の指示に従って操作してください。
- 接続解除: 接続中の機器をタッチ ▶ [接続を解除]
- 機器の表示名を変更: 表示名を変更する機器の[] ▶ 名前を入力 ▶ [完了]
- 機器をリストから削除: 削除する機器の[] ▶ [削除]

- キャスト機能を利用する機器を設定すると、対応するアプリでキャストアイコン([])などが表示される場合があります。
- 起動しているアプリや表示しているコンテンツによっては、出力ができない場合があります。
- 起動しているアプリによっては、途中で終了する場合があります。
- 出力中は、著作権保護コンテンツを再生できないことがあります。
- 電池残量が少なくなった場合は、自動的に出力を停止します。
- 周囲の環境によっては、無線の干渉を受けて映像が乱れたり音飛びが発生したりする場合があります。また、接続に失敗したり、出力が切れてしまう場合があります。端末とテレビなどを障害物やその他の無線機器のない見通しの良い環境でご利用ください。

VPN(仮想プライベートネットワーク)

VPNの追加

VPN(Virtual Private Network)とは、外出先などから自宅のパソコンや社内のネットワークに仮想的な専用回線を用意し、安全にアクセスできる接続方法です。

- 端末からVPN接続を設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を入手してください。
- あらかじめ画面ロックを[なし]や[スワイプまたはタッチ]以外に設定しておいてください(※P.161「セキュリティと現在地情報」)。

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ ▶ [設定] ▶ [ネットワークとインターネット] ▶ [VPN] ▶ [+]
- 2 各項目を設定 ▶ [保存]

VPNの接続

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ ▶ [設定] ▶ [ネットワークとインターネット] ▶ [VPN]
- 2 接続するVPNを選ぶ
- 3 VPNの接続情報を入力 ▶ [接続]

VPNの切断

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ ▶ [設定] ▶ [ネットワークとインターネット] ▶ [VPN] ▶ 画面の指示に従って操作

海外利用

海外滞在中に本端末で電話をかけたり、国際ローミング時やネットワークサービスなどについて設定することができます。

国際ローミング(WORLD WING)の概要

国際ローミング(WORLD WING)とは、日本国内で使用している電話番号やメールアドレスはそのままに、ドコモと提携している海外通信事業者のサービスエリアでご利用になれるサービスです。電話、SMSは設定の変更なくご利用になれます。

国際ローミング(WORLD WING)の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

<https://www.nttdocomo.co.jp/service/world/roaming/>

対応ネットワークについて

本端末はLTEネットワーク、3GネットワークおよびGSM／GPRSネットワークのサービスエリアでご利用になれます。また、3G850MHz／GSM850MHzに対応した国・地域でもご利用になれます。

- 国番号・国際電話アクセス番号・ユニバーサルナンバー用国際識別番号・接続可能な国、地域および海外通信事業者は、ドコモのホームページをご確認ください。

海外で利用可能なサービス

主な通信サービス	LTE	3G	3G850	GSM (GPRS)
電話	○	○	○	○
SMS	○	○	○	○
パケット通信※	○	○	○	○

※ ローミング時にパケット通信を利用するには、[データローミング]をONにしてください(☞P.192「データローミング」)。

- 接続する海外通信事業者やネットワークによりご利用にならないサービスがあります。
- 接続している通信事業者名は、ステータスパネルで確認できます(☞P.54「ステータスパネルの利用」)。

海外でご利用になる前に

■ ご出発前の確認

海外でご利用になる際は、日本国内で次の確認をしてください。

ご契約について

- WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。詳細は裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

充電について

- 充電についてはドコモのホームページをご確認ください。

料金について

- 海外でのご利用料金(通話料、パケット通信料)は日本国内とは異なります。詳細はドコモのホームページをご確認ください。
- ご利用のアプリによっては自動的に通信を行うものがありますので、パケット通信料が高額になる場合があります。各アプリの動作については、お客様ご自身でアプリ提供元にご確認ください。

■ 事前設定

ネットワークサービスの設定について

ネットワークサービスをご契約いただいている場合、海外からも留守番電話サービス・転送でんわサービス・番号通知お願ひサービスなどのネットワークサービスをご利用になれます。ただし、一部のネットワークサービスはご利用になれません。

- 海外でネットワークサービスをご利用になるには、遠隔操作設定を[サービス開始]にする必要があります(※P.81「ネットワークサービス」)。渡航先で遠隔操作設定を行うこともできます(※P.196「ネットワークサービス(海外)」)。
- 設定／解除などの操作が可能なネットワークサービスの場合でも、利用する海外通信事業者によっては利用できないことがあります。

■ 滞在国での確認

海外に到着後、本端末の電源を入れると自動的に利用可能な通信事業者に接続されます。

接続について

[ネットワークを自動的に選択]をONに設定している場合は、最適なネットワークを自動的に選択します(※P.193「通信事業者の設定」)。

海外で利用するための設定

データローミング

海外でパケット通信を行うためには、[データローミング]をONにする必要があります。

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ ▶ [設定] ▶ [ネットワークとインターネット] ▶ [モバイルネットワーク] ▶ [データローミング]

- 確認画面が表示された場合は内容を確認し、[OK]を選択してください。

優先ネットワークタイプ

使用するネットワークを設定します。

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ ▶ [設定] ▶ [ネットワークとインターネット] ▶ [モバイルネットワーク] ▶ [詳細設定] ▶ [優先ネットワークタイプ]

2 項目を選ぶ

- **4G/3G/GSM(自動)**: 利用できるネットワークに自動的に切り替えます。
- **3G/GSM**: 3G/GSM/GPRSネットワークを利用します。
- **GSM**: GSM/GPRSネットワークを利用します。

通信事業者の設定

お買い上げ時は、自動的に利用できるネットワークを検出して切り替えるように設定されています。手動でネットワークを切り替える場合は、次の操作で設定してください。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ ▶ 「設定」 ▶ 「ネットワークとインターネット」 ▶ 「モバイルネットワーク」 ▶ 「詳細設定」

2 「ネットワークを自動的に選択」をOFFにする

- 利用可能なネットワークを検索して表示します。

3 通信事業者のネットワークを選ぶ

- 設定後、別の通信事業者のネットワークを選ぶ場合は「ネットワーク」をタッチし、通信事業者のネットワークを選びます。

「ネットワークを自動的に選択」について

- データ通信の確認画面が表示された場合は内容を確認し、[OK]を選択してください。
- ネットワークの検索でエラーが発生する場合は、「モバイルデータ」を無効にし(図P.147「モバイル ネットワーク」)、再度操作してください。
- 自動でネットワークを切り替える場合は、ONに設定してください。

日付と時刻

日付と時刻の「日付と時刻の自動設定」、[タイムゾーンの自動設定]をONにしている場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することで本端末の時刻や時差が補正されます。

- 海外通信事業者のネットワークによっては、時刻・時差補正が正しく行われない場合があります。その場合は、手動でタイムゾーンを設定してください。
- 補正されるタイミングは海外通信事業者によって異なります。
- 日付と時刻については図P.174「日付と時刻」

お問い合わせ

- 本端末やドコモnanoUIMカードを海外で紛失・盗難された場合は、現地からドコモへ速やかにご連絡いただき利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、裏表紙をご覧ください。My docomoからも利用中断の手続きは可能です。なお、紛失・盗難されたあとに発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。
- 一般電話などからご利用の場合は、滞在国に割り当てられている「国際電話アクセス番号」または「ユニバーサルナンバー用国際識別番号」が必要です。

滞在先で電話をかける／受ける

滞在国外(日本を含む)に電話をかける

1 ホーム画面で[☎]▶[ダイヤル]

2 「+」(「0」をロングタッチ)▶国番号、地域番号(市外局番)、相手先電話番号を入力▶[☎]

- 地域番号(市外局番)が「0」で始まる場合は、先頭の「0」を除いてダイヤルしてください(イタリアなど一部の国・地域では、「0」が必要な場合があります)。
- 電話番号を入力▶[:]▶[国際電話発信]▶国番号を選んでも国番号を入力できます。
 - ・ 地域番号(市外局番)の最初の「0」は削除されます。
- ビデオコールの発信:[:]▶[ビデオコール]
 - ・ ビデオコールの詳細についてはP.74「ビデオコール」

- 発信者番号を通知しても、通信事業者によっては[通知不可能]や[非通知設定]など正しく番号表示されないことがあります。

国際ダイヤルアシストを利用して電話をかける

滞在国外から他の国へ電話をかける場合、国際ダイヤルアシストを利用すると、簡単な操作で国際電話をかけることができます。

- あらかじめ国際ダイヤルアシストを設定しておいてください(P.196「国際ダイヤルアシスト」)。
- 電話番号の先頭の「0」が国番号で設定している国番号に自動的に変換されます。

1 ホーム画面で[☎]▶[ダイヤル]

2 電話番号を入力▶[☎]▶画面の指示に従って操作

滞在国内に電話をかける

滞在国内で国内電話をかけるときは、日本国内にいるときと同様の操作で電話をかけることができます。

- 同一市内でも、必ず地域番号(市外局番)から入力してください。

海外にいるWORLD WING利用者に電話をかける

海外でWORLD WING利用中の相手に電話をかけるときは、滞在国内外にかかわらず、日本への国際電話として電話をかけます。

- 1 ホーム画面で[]▶[ダイヤル]
- 2 「+」(「0」をロングタッチ)▶日本の国番号「81」、先頭の「0」を除いた相手先携帯電話番号を入力▶

海外で電話を受ける

海外でも、日本国内にいるときと同様の操作で電話を受けることができます。

- 国際ローミング中に電話がかかってきたときは、日本からの国際転送となります。発信者には日本までの通話料がかかり、着信側には着信料がかかります。

■ 相手からの電話のかけた

日本から滞在先に電話をかけてもらうときは、日本国内にいるときと同様にお客様の電話番号を入力してもらいます。

日本以外の国から滞在先に電話をかけてもらうときは、滞在先にかかわらず日本への国際電話として、国際電話アクセス番号と日本の国番号「81」を先頭に付け、お客様の電話番号から先頭の「0」を除いた電話番号を入力してもらいます。

発信国の国際電話アクセス番号-81-90(または80、70)-XXXX-XXXX

国際ローミングの設定

国際ローミングサービスを利用するときの設定を行います。

- 海外通信事業者によっては設定できない場合があります。

- 1 ホーム画面で[]
- 2 [:]▶[通話設定]
- 3 [海外設定]
- 4 項目を選ぶ

- **ローミング時着信規制**: 国際ローミング中に着信を規制することができます。
- **ローミング着信通知**: 国際ローミング中に圏外などで着信できなかった場合にSMSでお知らせします。
- **ローミングガイドランス**: 国際ローミング中に電話をかけてきた相手に、国際ローミング中であることをお知らせするガイドランスを流すことができます。
- **国際ダイヤルアシスト**: 国際ダイヤルアシストについてはP.196「国際ダイヤルアシスト」
- **ネットワークサービス**: 滞在国で利用する留守番電話サービスなどのネットワークサービスを設定します。ネットワークサービスについてはP.196「ネットワークサービス(海外)」

国際ダイヤルアシスト

1 ホーム画面で[☎]

2 [:]▶[通話設定]

3 [海外設定]

4 [国際ダイヤルアシスト]

5 項目を選ぶ

- **自動変換機能**: 国際プレフィックスまたは国番号を自動で追加します。
- **国番号**: 自動変換機能で使用する国番号を選択します。
- **国際プレフィックス**: 自動変換機能で使用する国際プレフィックスを選択します。

ネットワークサービス(海外)

滞在国で利用する留守番電話サービスなどのネットワークサービスを設定します。

- あらかじめ、遠隔操作設定を[サービス開始]にする必要があります(※P.81「ネットワークサービス」)。
- 海外から操作した場合は、滞在国から日本までの通話料がかかります。
- 海外通信事業者によっては設定できない場合があります。

1 ホーム画面で[☎]

2 [:]▶[通話設定]

3 [海外設定]

4 [ネットワークサービス]

5 目的のサービスを選ぶ

- **遠隔操作(有料)**: 遠隔操作を開始するか設定します。
- **番号通知お願サービス(有料)**: 発信者番号が非通知の電話がかかってきた場合に発信者に番号通知を依頼するガイダンスを流します。
- **ローミング着信通知(有料)**: 国際ローミング中に圏外などで着信できなかった場合にSMSでお知らせします。
- **ローミングガイダンス(有料)**: 国際ローミング中に電話をかけてきた相手に、国際ローミング中であることをお知らせするガイダンスを流すことができます。
- **留守番電話サービス(有料)**: 電波が届かないところにいたり、電源を切っている場合などに電話をかけてきた方の伝言メッセージをお預かりします(お申し込み必要)。

- **転送でんわサービス(有料)**:かかってきた電話を、あらかじめ登録した他の携帯電話などに転送することができます(お申し込み必要)。

6 画面の指示に従って操作

7 音声ガイダンスに従って操作

帰国後の確認

日本に帰国後は渡航前の設定に戻してください。

海外でパケット通信を利用した場合

- [データローミング]をOFF に設定してください(☞P.192「データローミング」)。

帰国後に自動的にドコモのネットワークに接続できない場合

- 優先ネットワークタイプを[4G/3G/GSM(自動)]に設定してください(☞P.192「優先ネットワークタイプ」)。
- [ネットワークを自動的に選択]をONに設定してください(☞P.193「通信事業者の設定」)。

トラブルシューティング(FAQ)

故障かな？と思ったら

- 故障かな？と思ったら、お客様ご自身で診断することができます。詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。
<https://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/repair/>
- ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください(※P.207「ソフトウェアアップデートについて」)。
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

■ 電源

- 本端末の電源が入らない
 - ・ 電池切れになっていませんか。(※P.35「充電」)
- 画面が動かない、電源が切れない
 - ・ **⓪(電源キー)**を8秒以上押すと、強制的に電源を切ることができます。
 - ・ バイプレータが動作したあとに手を離すと、電源が切れます。
 - ・ 強制的に電源を切るため、データや設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。

■ 充電

- 充電ができない
 - 充電ランプが点灯しない、または点滅する
 - ・ アダプタの電源プラグがコンセントまたはアクセサリソケットに正しく差し込まれていますか。
 - ・ アダプタと本端末が正しくセットされていますか。
(※P.36「ACアダプタで充電」)
 - ・ ACアダプタ(別売)をご使用の場合、ACアダプタのType-Cプラグと本端末がしっかりと接続されていますか。(※P.36「ACアダプタで充電」)
 - ・ USBケーブル A to C 01(別売)をご使用の場合、パソコンの電源が入っていますか。
 - ・ 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行くと、本端末の温度が上昇して充電が停止することがあります。その場合は、本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。(※P.35「充電時のご注意」)
 - ・ NTTドコモが指定したアダプタで充電していますか。指定したアダプタで充電しても充電ができない場合は、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。

■ 端末操作

- 操作中・充電中に熱くなる
 - ・ 操作中や充電中、また、充電しながらビデオコールや動画視聴などを長時間行った場合などには、本端末や内蔵電池、アダプタが温かくなることがありますが、動作上問題ありませんので、そのままご使用ください。(※P.35「充電時のご注意」)

- 電池の使用時間が短い
 - 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。圏外が続く場所では電源を切るか、機内モードを設定してください。☞ P.37「電源を切る」、P.145「ネットワークとインターネット」
 - 内蔵電池の使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。☞ P.210「主な仕様」
 - 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電してもお買い上げ時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。☞ P.36「内蔵電池の寿命」
 - 使用していないアプリは終了してください。
 - 使用していない無線機能はOFFにしてください。☞ P.145「Wi-Fi」、P.183「Bluetooth機能の利用」
 - 長エネスイッチを利用すると、電池の消費を抑えることができます。☞ P.152「長エネスイッチ」
- タッチしたり、キーを押したりしても動作しない
 - 端末の電源が切れていませんか。☞ P.37「電源を入れる」
- タッチしたり、キーを押したりしたときの画面の反応が遅い
 - 本端末に大量のデータが保存されているときや、本端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。☞ P.159「ストレージ」
- ドコモnanoUIMカードが認識しない
 - ドコモnanoUIMカードを正しい向きで挿入していますか。☞ P.30「ドコモnanoUIMカード」

- 時計がずれる
 - 長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。[日付と時刻の自動設定]がONになっているかを確認し、電波の良い場所で電源を入れ直してください。☞ P.174「日付と時刻」
- 端末動作が不安定
 - お買い上げ後に端末へインストールしたアプリによる可能性があります。セーフモードで起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。
 - ※ セーフモードとはご購入時の状態に近い状態で起動させる機能です。
 - セーフモードの起動方法

電源が切れている状態から電源を入れ直し、起動中の画面でタッチパネルのロック画面が表示されるまで $\square$ ($\rightarrow$)を押し続けてください。

※ 電源を入れた状態で $\square$ (電源キー)(2秒以上)▶[電源を切る]をロングタッチ▶[OK]と操作しても、セーフモードで再起動ができます。

また、セルフチェックからも、セーフモードで再起動ができます。☞ P.178「セルフチェック」

※ セーフモードが起動すると画面左下に[セーフモード]と表示されます。

※ セーフモードを終了するには、電源を入れ直してください。
 - 必要なデータを事前にバックアップした上でセーフモードをご利用ください。
 - ウィジェットによっては消去される場合があります。
 - セーフモードは通常の起動状態ではないため、通常ご利用になる場合には、セーフモードを終了しご利用ください。

- アプリが正しく動作しない(起動できない、エラーが頻繁に起こるなど)
 - ・ 無効化されているアプリはありませんか。無効化されているアプリを有効にしてから再度お試しください。P.152「アプリの有効」
 - ・ アプリの動作に必要な機能の利用を許可していますか。P.59「アプリに必要な許可」
 - ・ 電池の最適化を行っていませんか。P.60「電池の最適化」

■ 通話

- 発信ができない
 - ・ 機内モードを設定していませんか。P.145「ネットワークとインターネット」
- 着信音が鳴らない
 - ・ 着信音量を「0」にいませんか。P.155「音」
 - ・ マナーモード、機内モードを設定していませんか。P.55「マナーモード」、P.145「ネットワークとインターネット」
 - ・ 着信拒否を設定していませんか。P.82「着信拒否設定」
 - ・ 応答時間設定を「0秒」にいませんか。P.80「通話音声・伝言メモ」
 - ・ 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼出時間を「0秒」にいませんか。P.81「ネットワークサービス」
- 通話ができない(場所を移動しても[■]の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない)
 - ・ 電源を入れ直すか、ドコモnanoUIMカードを入れ直してください。P.30「ドコモnanoUIMカード」、P.37「電源を入れる／切る」

- ・ 電波の性質により、「圏外ではない」「電波状態は[■]」を表示している状態でも発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。
- ・ 着信拒否など着信制限を設定していませんか。P.82「着信拒否設定」
- ・ 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。

■ 画面

- ディスプレイが暗い
 - ・ バックライトの点灯時間を短く設定していませんか。P.153「ディスプレイ」
 - ・ ディスプレイの明るさを変更していませんか。P.153「ディスプレイ」
 - ・ [明るさの自動調節]をONに設定していませんか。ONにしている場合は、周囲の明るさによって変わります。P.153「ディスプレイ」
 - ・ [のぞき見ブロック]をONに設定していませんか。P.155「のぞき見ブロック」
 - ・ [長エネスイッチ]をONに設定していませんか。P.152「長エネスイッチ」

■ 音声

- 通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる
 - ・ 通話音量を変更していませんか。P.78「通話音量調節」

■ メール

- メールを自動で受信しない
 - ・メールのアカウントの設定で同期頻度を[自動確認しない]に設定していませんか。☞P.97「メールのアカウントの設定」

■ カメラ

- カメラで撮影した静止画や動画がぼやける
 - ・カメラで近くの被写体を撮影するときは、撮影メニューを[接写]に切り替えてください。☞P.115「撮影メニューの切替」
 - ・カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。☞P.109「カメラをご利用になる前に」
- モバイルライト点灯時に撮影した静止画や動画が白っぽくなる
 - ・カメラのレンズ周辺にケースやカバー、指などがあると、モバイルライトの光が反射して撮影した静止画や動画に悪影響を与える場合があります。

■ おサイフケータイ

- おサイフケータイが使えない
 - ・おまかせロックを設定すると、NFC／おサイフケータイ ロックの設定にかかわらずおサイフケータイの機能が利用できなくなります。
 - ・NFC／おサイフケータイ ロックを設定していませんか。☞P.126「NFC／おサイフケータイ ロック」
 - ・本端末のマークがある位置を読み取り機にかざしていませんか。☞P.27「各部の名称と機能」、P.126「対向機にかざす際の注意事項」

■ 海外利用

- 海外で本端末が使えない(電波マークが表示されている場合)
 - ・「国際ローミングサービス(WORLD WING)」のお申し込みをされていますか。「国際ローミングサービス(WORLD WING)」のお申し込み状況をご確認ください。☞P.191「国際ローミング(WORLD WING)の概要」
- 海外で本端末が使えない([)が表示されている場合)
 - ・国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱い場所にいませんか。利用可能なサービスエリアまたは海外通信事業者かどうか、ドコモのホームページをご覧ください。☞P.191「国際ローミング(WORLD WING)の概要」
 - ・ネットワークの設定や海外通信事業者の設定を変更してみてください。優先ネットワークタイプを[4G／3G／GSM(自動)]に設定してください。[ネットワークを自動的に選択]をONに設定してください。☞P.192「優先ネットワークタイプ」、P.193「通信事業者の設定」
 - ・本端末の電源を入れ直すことで回復することがあります。☞P.37「電源を入れる／切る」
- 海外でデータ通信ができない
 - ・[データローミング]をONにしてください。☞P.192「データローミング」

- 海外で利用中に、突然本端末が使えなくなった
 - ・ 利用停止目安額を超えていませんか。「国際ローミングサービス(WORLD WING)」のご利用には、あらかじめ利用停止目安額が設定されています。利用停止目安額を超えてしまった場合、ご利用累積額を精算してください。
- 相手の電話番号が通知されない／相手の電話番号とは違う番号が通知される／電話帳の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない
 - ・ 相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者から発信者番号が通知されない場合は、本端末に発信者番号は表示されません。また、利用しているネットワークや通信事業者によっては、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。

■ データ管理

- データ転送が行われない
 - ・ USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。P.187「パソコンとの接続」
 - ・ USB接続の用途が[この端末を充電する]に設定されていませんか。P.187「パソコンとの接続」
- microSDカードに保存したデータが表示されない
 - ・ microSDカードを取り付け直してください。P.33「microSDカード」
- 画像が正しく表示されない
 - ・ 画像データが壊れている場合は黒色の画像が表示されます。

■ Bluetooth機能

- Bluetooth通信対応機器と接続ができない／検索しても見つからない
 - ・ Bluetooth通信対応機器(市販品)側を機器登録待ち受け状態にしてから、本端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みの機器を削除して再度機器登録を行う場合には、Bluetooth通信対応機器(市販品)、本端末双方で登録した機器を削除してから機器登録を行ってください。P.183「Bluetooth機能の利用」
- カーナビやハンズフリー機器などの外部機器を接続した状態で本端末から発信できない
 - ・ 相手が電話に出ない、圏外などの状態で複数回発信すると、その番号へ発信できなくなる場合があります。その場合は、本端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。P.37「電源を入れる／切る」

■ 地図・GPS機能

- オートGPSサービス情報が設定できない
 - ・ 電池残量が少なくなり、オートGPSが停止していませんか。低電力時動作設定により、オートGPSが停止している場合は、オートGPSサービス情報は設定できません。この場合、低電力時動作設定を[停止しない]に設定するか、充電することで設定できるようになります。P.35「充電」、P.170「ドコモのサービス／クラウド」
 - ・ [オートGPS動作設定]が無効になっていませんか。P.170「ドコモのサービス／クラウド」

エラーメッセージ

- [SIMカードが挿入されていません - 通信サービスはありません]
 - ・ドコモnanoUIMカードが正しく差し込まれているかご確認ください。P.30「ドコモnanoUIMカード」
- [xx通を受信しましたが全てのメールを受信できませんでした]
 - ・何らかの原因ですべてのメールを受信できなかった場合に 표시됩니다。
- [空き容量わずか]
 - ・本体メモリの空き容量が低下しています。一部の機能やアプリが正常に動作しなくなる場合があります。不要なアプリのアンインストールやファイルの移動／削除を行ってください。
- [応答が無いため接続が中断されました]
[サーバーエラー 送信できませんでした]
[接続エラー 送信できませんでした]
[送信先サーバーが対応していません]
[通信エラー しばらくたってから送り直してください]
 - ・メールやSMSを利用するとき、回線設備が故障、または回線が非常に混み合っている場合に 표시됩니다。しばらくたってから送信し直してください。
- [このコンテンツを再生する権限がありません]
 - ・有効なライセンスを保持していない場合や再生期間、再生期限が終了した著作権保護コンテンツを再生しようとした場合に 표시됩니다。
- [試行回数が上限を超えました。指紋認証センサーを無効にしました。]
 - ・指紋認証に5回失敗したあと、しばらくたってから指紋認証を行う操作をして合計20回失敗した場合に表示されます。指紋認証ではロックを解除できなくなりますので、画面ロックで設定した方法でロックを解除してください。
- [所定の回数以上間違えました。しばらくしてからもう一度お試しください。]
 - ・指紋認証に5回失敗した場合に表示されます。状況に応じて、画面ロックで設定した方法でロックを解除してください。
- [しばらくお待ちください(音声サービス)]
 - ・音声回線ネットワークが非常に混み合っていますので、しばらくたってからかけ直してください。
- [しばらくお待ちください(データサービス)]
 - ・パケット通信ネットワークが非常に混み合っていますので、しばらくたってから、再度操作してください。
- [認識されませんでした]
[指を少しずらしてタッチしてください]
[指を離してから、もう一度センサーに触れてください。]
[指を離すのが早すぎます]
 - ・指紋の読み取りに失敗した場合に表示されます。
- [モバイルネットワークが利用できません。]
 - ・有効な優先ネットワークタイプに設定されているかご確認ください。P.192「優先ネットワークタイプ」
- [ライセンスの取得に失敗しました。再生できません。]
 - ・再生期限が切れた著作権保護コンテンツのライセンス更新に失敗したときに 표시됩니다。

あんしん遠隔サポート

お客様の端末上の画面をあんしん遠隔サポートセンターのオペレーターと共有することで、端末操作・設定やアプリの使いかた、パソコンなどの周辺機器との接続に関する操作サポートを受けることができます。

また、あんしん遠隔サポートご契約者様専用のQ&Aサイトのご利用や、LINEでオペレーターにお問い合わせいただくこともできます。

※LINEでのお問い合わせでは、画面共有はご利用いただけません。

- 次の場合は、あんしん遠隔サポートを利用できません。
 - ドコモnanoUIMカードが挿入されていない場合
 - 国際ローミング中
 - 機内モード中
- あんしん遠隔サポートはお申し込みが必要な有料サービスです。
- 一部サポート対象外の操作・設定があります。
- あんしん遠隔サポートの詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

■ オペレーターとの画面共有(電話でのお問い合わせ)

1 あんしん遠隔サポートセンターへ電話

あんしん遠隔サポートセンター

- ドコモの携帯電話からの場合:  (局番なしの) 15710(無料)
 - 一般電話などからの場合:  0120-783-360
- 受付時間: 午前9:00～午後8:00(年中無休)

- 本端末からあんしん遠隔サポートセンターへ電話する場合は、ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ▶「遠隔サポート」▶「電話で問い合わせる」▶  と操作してください。

2 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ▶「遠隔サポート」

3 [接続画面に進む]

4 [同意する]

5 ドコモからご案内する接続番号を入力

6 接続後、遠隔サポートを開始

■ Q&Aサイトで調べる

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ▶「遠隔サポート」

2 [Q&Aサイト／アプリで調べる]

■ LINEでのお問い合わせ

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ▶「遠隔サポート」

2 [LINEで問い合わせる]

保証とアフターサービス

保証について

- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
 - 本端末の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
 - 本端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はご自身で控えをお取りくださるようお願いいたします。
- ※ 本端末は、電話帳などのデータをmicroSDカードに保存していただくことができます。
- ※ 本端末はドコモクラウドをご利用いただくことにより、電話帳などのデータをバックアップしていただくことができます。

■ 無料修理規定

1. 保証期間内に取扱説明書などの注意にしたがった使用状態のもとで、故障が発生した場合は無料で修理いたします。（代替品と交換となる場合があります。）
2. 保証期間内でも以下の場合は無料修理対象外となる場合がございます。
 - (1) 改造（ソフトウェアの改造も含む）による故障、損傷。
 - (2) 落下や、外部からの圧力などで本端末、ディスプレイ及び外部接続端子などが破損したことによる故障、損傷、または本端末内部の基板が破損、変形したことによる故障、損傷。
 - (3) 火災、公害、異常電圧、地震、雷、風水害その他天災地変などによる故障、損傷。
 - (4) 本端末に接続している当社指定以外の機器、消耗品による故障、損傷。

- (5) 本端末内部への水の浸入による故障、損傷、本端末の水濡れシールが反応している場合、本端末に水没・水濡れなどの痕跡が発見された場合、または結露などによる腐食が発見された場合。
 - (6) ドコモ指定の故障取扱窓口以外で修理を行ったことがある場合。
3. 本保証は日本国内においてのみ有効です。
 4. 本保証は明示した期間、条件においての無料修理をお約束するものでお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
 5. お預かり品に故障箇所が複数あった場合、一部分の修理だけでは製品の品質が保証できないため、全て修理してご返却いたします。その際は無料修理対象外となる場合がございます。
 6. 修理実施の有無に関わらず、動作確認試験を実施したお預かり品は、最新のソフトウェアに更新してご返却いたします。
 7. 修理を実施した場合の修理箇所や修理実施日は、修理完了時にお渡しする修理結果票でご確認ください。

<販売元>

株式会社NTTドコモ

東京都千代田区永田町2-11-1

アフターサービスについて

■ 調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書の「故障かな?と思ったら」をご覧ください。
なってお調べください。

それでも調子が良くないときは、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」にご連絡の上、ご相談ください。

■ お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただけます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

保証期間が過ぎた場合は

ご要望により有料修理いたします。

部品の保有期間は

本端末の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間は、製造打ち切り後4年間の基本としております。

修理受付対応状況については、ドコモのホームページをご覧ください。
<https://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/repair/shop/compatible/index.html>

ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、詳細はドコモ指定の故障取扱窓口へお問い合わせください。

■ お願い

- 本端末の改造はおやめください。

- 火災・けが・故障の原因となります。

- 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。以下のような場合は改造とみなされる場合があります。

- ディスプレイ部やキー部にシールなどを貼る
- 接着剤などにより本端末に装飾を施す
- 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど

- 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。

- 本端末に付いている銘板プレートは、取り外さないでください。銘板プレートが故意に取り外されたり、付け替えられた場合など、銘板プレートの内容が確認できないときは、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア(リセット)される場合があります。お手数をおかけしますが、その場合は再度設定を実施いただくようお願いいたします。その際、設定によってはパケット通信料が発生する場合があります。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- 本端末にキャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
- 本端末は防水性能を有しておりますが、本端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、本端末の状態によって修理できないことがあります。

■ お客様が作成されたデータおよびダウンロード情報などについて

- 本端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。データの再ダウンロードにより発生するパケット通信料は、ドコモでは補償いたしかねますのであらかじめご了承ください。また、当社の都合によりお客様の端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ソフトウェアアップデート

ソフトウェアアップデートについて

ソフトウェアアップデートとは、本端末をより安全で快適にご利用いただくためにソフトウェアの更新を行う機能です。以下の内容が含まれますので、必ず最新ソフトウェアへのアップデートをお願いします。

ソフトウェアアップデートの種類としては以下の4つがあります。

- Android OSバージョンアップ
Android OSおよびプリインストールされているアプリや端末機能のバージョンアップを行うことで、機能・操作性・品質等が向上し、本端末をより快適に安心してご利用いただけます。
- 新機能追加
プリインストールされているアプリや端末機能を更新することで、機能・操作性が向上し、本端末をより快適にご利用いただけます。

- 品質改善
プリインストールされているアプリや端末機能を更新することで、品質が向上し、本端末をより快適にご利用いただけます。
- セキュリティパッチの最新化
Google社が公開しているセキュリティパッチ（脆弱性を対処するためのソフトウェア）を適用することで、本端末をより安心してご利用いただけます。

本端末に提供されている具体的なソフトウェアアップデートの内容および期間については、ドコモのホームページをご覧ください。
「ドコモのホームページ」→「お客様サポート」→「製品・サービスのご利用・ご活用情報」→「製品アップデート情報」→「提供中の製品アップデート情報」

https://www.nttdocomo.co.jp/support/utilization/product_update/list/index.html

■ ご利用条件

- Xi/FOMAでのパケット通信をご利用の場合、モバイルネットワーク設定でアクセスポイントをspモードもしくはmoperaに設定してください。
- Xi/FOMAでのパケット通信をご利用の場合、ダウンロードによる通信料金は発生しません。
- 国外でソフトウェアアップデートを行う場合は、ドコモ nanoUIMカード未挿入の状態です。
- ソフトウェアが改造されているときはアップデートができません。
- ソフトウェアアップデートは、本端末に保存されたデータを残したまま行うことができますが、お客様の端末の状態(故障・破損・水濡れなど)によってはデータの保護ができない場合があります。必要なデータは事前にバックアップを取っていただくことをおすすめします。各アプリの持つデータについて、バックアップ可能な範囲はアプリにより異なります。各アプリでのバックアップ方法は、各アプリの提供元にご確認ください。

ソフトウェアアップデートを行う

■ 更新の開始

更新を開始する方法としては以下のいずれかの操作を行います。

- 更新をお知らせする通知から
本端末のステータスバーから[ソフトウェアアップデート提供開始]、[ソフトウェアアップデート開始確認]の通知を選択し、更新を開始します。
 - 更新を促すポップアップから
更新をお知らせしてから一定期間経過後に定期的に表示される[アップデートが利用可能です]のポップアップから[OK]ボタンを押下し、更新を開始します。
 - 本体設定から
ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ▶[設定]▶[システム]▶[端末情報]▶[ソフトウェアアップデート]▶[OK]と操作し、更新を開始します。
- ※ ソフトウェアアップデートが不要な場合、[アップデートの必要はありません。このままご利用ください。]と表示されます。

■ 更新の流れ

更新は以下の流れで行われます。

詳細な操作手順は本端末の表示内容に従ってください。

1 更新ファイルのダウンロードおよびインストール

- 更新の種類によっては、更新ファイルのダウンロードとインストールが自動的に行われます。
- 更新ファイルのダウンロードとインストールの前に[今すぐ更新]／[後で]の確認画面が表示されることがあります。確認画面が表示された場合は、いずれかを選択してソフトウェアアップデートを進めてください。

- **今すぐ更新**: すぐに更新ファイルのダウンロードを開始し、ダウンロード完了後、自動でインストールを開始します。
- **後で**: 時間を指定して更新ファイルの予約ダウンロード、予約インストールを開始します。あらかじめおすすめの予約時間が指定されます。予約時刻を変更する場合は、[予約時刻変更]をタッチ後に予約時刻を指定してください。
- ※ 後から予約時刻を変更する場合は、ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ▶[設定]▶[システム]▶[端末情報]▶[ソフトウェアアップデート]▶[予約時刻変更]から予約時刻を設定してください。

2 再起動

- 更新の準備が整い次第、本端末が自動で再起動されます。
- ※ 再起動の直前に確認画面が表示されます。再起動を中止したい場合は、一定時間内にキャンセルボタンをタッチしてください。

3 更新完了の通知

- 更新が無事に完了すると、本端末のステータスバーに[ソフトウェアアップデート完了]が表示されます。
- 更新の種類がAndroid OSバージョンアップの場合は、[ソフトウェアアップデート完了]を選択すると最新の機能を紹介するページが表示されます。
- 更新の種類がAndroid OSバージョンアップの場合は、更新完了後にお客様自身でインストールされたアプリのアップデートを確認してください。アップデートを行わないと動作が不安定になることや、機能が正常に動作しなくなることがあります。

■ 注意事項

- ソフトウェアアップデート完了後は、以前のソフトウェアへ戻すことはできません。
- ソフトウェアアップデート中、本端末固有の情報(機種や製造番号など)が当社のサーバーに送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェアアップデート以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェアアップデートを行う前に、すべてのアプリを終了してください。
- ソフトウェアアップデート中でも、各種機能を利用可能です。
- ソフトウェアアップデートを行うと、一部の設定が初期化されることがありますので、再度設定を行ってください。
- PINコードが設定されているときは、書換え処理後の再起動の途中で、PINコードを入力する画面が表示され、PINコードを入力する必要があります。
- ソフトウェアアップデートに失敗し、一切の操作ができなくなった場合には、お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までご相談ください。
- 以下の場合にはソフトウェアアップデートができません。事象を解消後に再度お試しください。
 - 親機としてテザリングをしているとき
 - 日付・時刻を正しく設定していないとき
 - 必要な電池残量がないとき
 - 内部ストレージに必要な空き容量がないとき
 - 国際ローミング中
- ソフトウェアアップデート中は電源を切ったりしないでください。
- 更新ファイルのダウンロード中は電波状態の良いところで、移動せずに実行することをおすすめします。電波状態が悪い場合には、アップデートを中断することがあります。

主な仕様

■ 本体

品名		SH-01L
サイズ		高さ:約148mm、幅:約71mm、厚さ:約8.4mm(最厚部:約9.4mm)
質量		約155g
ディスプレイ	種類	TFT (IGZO)
	サイズ	約5.5inch
	発色数	16,777,216色
	解像度	横1080ピクセル×縦2160ピクセル(FHD+)
内蔵メモリ		ROM:32Gバイト*1 RAM:3Gバイト
内蔵電池	使用電池	リチウムイオン電池
	公称電圧	DC 3.85V
	公称容量	2700mAh
連続待受時間 *2*3*4	LTE	静止時:約600時間(優先ネットワークタイプ:4G/3G/GSM(自動))
	3G	静止時:約650時間(優先ネットワークタイプ:4G/3G/GSM(自動))
	GSM	静止時:約540時間(優先ネットワークタイプ:4G/3G/GSM(自動))

連続通話時間 *4*5	LTE (VoLTE)	約1240分
	LTE (VoLTE (HD+))	約1130分
	LTE (VoLTE: ビデオコール)	約440分
	3G	約900分
	GSM	約790分
充電時間		ACアダプタ 07:約145分
無線LAN	対応規格	IEEE802.11a/b/g/n*6/ ac*6*7準拠(IEEE802.11n 対応周波数帯:2.4GHz/ 5GHz)
Bluetooth *8*9	バージョン	4.2
	出力	Bluetooth標準規格 Power Class 1
	見通し距離*10	約10m
	対応プロファイル*11/ コーデック	HSP(1.2)、HFP(1.7)*12、 A2DP(1.2)*13、AVRCP (1.6)、HID(1.0)、OPP(1.2)、 SPP(1.2)、PBAP(1.2)、FTP (1.1)、PAN(PAN-NAP) (1.0)、PAN(PANU)(1.0)、 HOGP(1.0)
イヤホンマイク端子	サイズ	3.5mmステレオミニプラグ
	極数	4極

撮像素子	種類	アウトカメラ:裏面照射型 CMOS※14 インカメラ:裏面照射型 CMOS※14
	サイズ	アウトカメラ:1/2.8inch インカメラ:1/4.0inch
カメラ有効画素数		アウトカメラ:約1200万画素 インカメラ:約800万画素
カメラ記録画素数(最大時)		アウトカメラ:約1200万画素 インカメラ:約800万画素
記録ファイル形式※15	動画	MP4
	静止画	JPEG
ズーム(デジタル)	動画	アウトカメラ:最大約8.0倍 インカメラ:最大約8.0倍
	静止画	アウトカメラ:最大約8.0倍 インカメラ:最大約8.0倍
動画撮影時間		制限なし※16
動画再生	対応コーデック	H.263、H.264、H.265、VP8、VP9、MPEG-4
音楽再生	対応コーデック	AAC LC、AAC+、enhanced AAC+、enhanced low delay AAC、AMR-NB、AMR-WB、FLAC、MP3、MIDI、Vorbis、PCM/WAVE、Opus
言語	表示言語	※P.212「表示言語」
	入力言語(文字入力)	日本語、英語

伝言メモ	保存可能件数	50件
	1件あたりの最大録音時間	最大60分
発着信履歴表示件数		最大500件

- ※1 メモリ容量は、撮影した動画や静止画、ダウンロードしたアプリやデータなどの保存にすべての容量を使用することはできません。使用可能な空き容量については、「ストレージ」(※P.159)をご参照ください。
- ※2 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
- ※3 連続待受時間は、設定状況、使用環境や通話・メール・カメラなどのご利用頻度により、大きく変動します。
- ※4 各種機能のご利用頻度が多い場合、実際の時間は半分以下になることがあります。
- ※5 連続通話時間は、設定状況、使用環境や通話・メール・カメラなどのご利用頻度により、大きく変動します。
- ※6 MIMOは未対応です。
- ※7 MU-MIMO(クライアント)に対応しています。(対応商品については各社ホームページをご覧ください。)
- ※8 本端末を含むすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しております。
- ※9 Bluetooth機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、データのやりとりができない場合があります。
- ※10 通信機器間の障害物や、電波状況により異なります。
- ※11 Bluetooth対応機器同士の使用目的に応じた仕様で、Bluetoothの標準規格です。

- ※12 音声コーデックmSBC(16kHz)、CVSDに対応しています。
- ※13 音声コーデックaptX、SBC、AACに対応しています。
- ※14 CMOS(complementary metal-oxide semiconductor: 相補型金属酸化膜半導体)とは、銀塩カメラのフィルムにあたる部分を構成する撮像素子です。
- ※15 「カメラ」利用時の仕様です(※P.109「カメラについて」)。
- ※16 動画撮影時間は本端末のメモリの空き容量により異なります。

■ 表示言語

日本語、繁体中国語、簡体中国語、広東語、アフリカーンス語、アゲム語、アカン語、イナリ・サーミ語、アゼルバイジャン語(ラテン文字)、マレー語、バンバラ語、ボスニア語(ラテン文字)、ブルトン語、バサ語、カタロニア語、チェコ語、マコンデ語、ショナ語、ウェールズ語、デンマーク語、北サーミ語、ドイツ語、ルオ語、低地ソルブ語、ドゥアラ語、ヨルバ語、エストニア語、グシイ語、英語、スペイン語、バスク語、エウェ語、エウォンド語、フィリピン語、フェロー語、フランス語、フリウリ語、アイルランド語、マン島語、スコットランド・ゲール語、ガリシア語、キクユ語、ハウサ語、ペナ語、高地ソルブ語、クロアチア語、ハワイ語、ベンバ語、イボ語、ルンディ語、インドネシア語、サング語、北ンデベレ語、ズールー語、アイスランド語、イタリア語、ジョラ=フォニ語、カーポベルデ・クレオール語、カコ語、グリーンランド語、カレンジン語、コーンウォール語、ナマ語、エンブ語、ロンボ語、カンバ語、マチャメ語、メル語、キニアルワンダ語、アス語、ルワ語、サンプル語、サンバー語、スワヒリ語、タイタ語、テソ語、ランギ語、ケルン語、コイラ・チーニ語、コイラボロ・センニ語、モーリシャス・クレオール語、ウンジョ語、ラコタ語、ラトビア語、トンガ語、ルクセンブルク語、リトアニア語、リンガラ語、ガンダ語、ルヒヤ語、マサイ語、ハンガリー語、マクア・ミート語、マダガスカル語、マ

ルタ語、メタ語、ンゴンバ語、オランダ語、ノルウェー語(ブークモール)、ヤンベン語、ノルウェー語(ニーノシュク)、ウズベク語(ラテン文字)、ソガ語、オロモ語、ポーランド語、ポルトガル語、フラ語、バフィア語、ルーマニア語、チガ語、ロマンシュ語、ケチュア語、ニャンコレ語、サンゴ語、スイスドイツ語、セナ語、アルバニア語、ンジエムブーン語、スロバキア語、スロベニア語、ソマリ語、セルビア語(ラテン文字)、フィンランド語、スウェーデン語、中央アトラス・タマジクト語、カビル語、タサワク語、ヌエル語、ベトナム語、ルバ・カタンガ語、トルコ語、ヴァリス語、西フリジア語、ザルマ語、ギリシャ語、アゼルバイジャン語(キリル文字)、ベラルーシ語、ボスニア語(キリル文字)、ブルガリア語、オセチ語、キルギス語、カザフ語、マケドニア語、モンゴル語、チェチェン語、ロシア語、サハ語、セルビア語(キリル文字)、ウズベク語(キリル文字)、ウクライナ語、ジョージア語、アルメニア語、ヘブライ語、ウイグル語、ウルドゥー語、ウズベク語(アラビア文字)、パシュトゥー語、パンジャブ語(アラビア文字)、アラビア語、ペルシア語、マーザンダラーン語、標準モロッコ・タマジクト語、アムハラ語、コンカニ語、ネパール語、ボド語、マラーティー語、ヒンディー語、アッサム語、ベンガル語、パンジャブ語(グルムキー文字)、グジャラート語、オリヤー語、タミル語、テルグ語、カンナダ語、マラヤーラム語、シンハラ語、タイ語、ラオ語、チベット語、ゾンカ語、ミャンマー語、クメール語、チェロキー語、韓国語、四川イ語

携帯電話機の比吸収率(SAR)について

この機種SH-01Lの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準(※1)ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の頭部におけるSARの最大値は1.545W/kg(※2)、身体に装着した場合のSARの最大値は0.384W/kg(※3)です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話等を行っている状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。

この携帯電話機は、頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5cm以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにしてください。このことにより、本携帯電話機が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、「携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。」と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ

<http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

一般社団法人電波産業会のホームページ

<https://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html>

ドコモのホームページ

<https://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/>

シャープ株式会社のホームページ

<http://k-tai.sharp.co.jp/support/sar/>

※1 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。

※2 LTE/FOMAと同時に使用可能な無線機能を含みます。

※3 LTE/FOMAと同時に使用可能な無線機能を含みます。

Specific Absorption Rate (SAR) of Mobile Phones

This model SH-01L mobile phone complies with Japanese technical regulations and international guidelines regarding exposure to radio waves.

This mobile phone was designed in observance of Japanese technical regulations regarding exposure to radio waves (※1) and limits to exposure to radio waves recommended by a set of equivalent international guidelines. This set of international guidelines was set out by the International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP), which is in collaboration with the World Health Organization (WHO), and the permissible limits include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health condition.

The technical regulations and international guidelines set out limits for radio waves as the Specific Absorption Rate, or SAR, which is the value of absorbed energy in any 10 grams of tissue over a 6-minute period. The SAR limit for mobile phones is 2.0 W/kg. The highest SAR value for this mobile phone when tested for use near the head is 1.545 W/kg (※2) and when worn on the body is 0.384 W/kg (※3). There may be slight differences between the SAR levels for each product, but they all satisfy the limit.

The actual SAR of this mobile phone while operating can be well below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum required to reach the network. Therefore in general, the closer you are to a base station, the lower the power output of the device. This mobile phone can be used in positions other than against your head. Please keep the mobile phone farther than 1.5 cm away from your body by using such as a carrying case or a wearable accessory without including any metals. This mobile phone satisfies the technical regulations and international guidelines.

The World Health Organization has stated that "a large number of studies have been performed over the last two decades to assess whether mobile phones pose a potential health risk. To date, no adverse health effects have been established as being caused by mobile phone use."

Please refer to the WHO website if you would like more detailed information.

http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_english.htm

Please refer to the websites listed below if you would like more detailed information regarding SAR.

Ministry of Internal Affairs and Communications Website:

<http://www.tele.soumu.go.jp/e/sys/ele/index.htm>

Association of Radio Industries and Businesses Website:

<https://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html>

NTT DOCOMO, INC. Website:

<https://www.nttdocomo.co.jp/english/product/sar/>
SHARP Corporation Website:
<http://k-tai.sharp.co.jp/support/sar/>

- ※1 Technical regulations are defined by the Ministerial Ordinance Related to Radio Law (Article 14-2 of Radio Equipment Regulations).
- ※2 Including other radio systems that can be simultaneously used with LTE/FOMA.
- ※3 Including other radio systems that can be simultaneously used with LTE/FOMA.

European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.

The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the ear is 0.42 W/kg* and when worn on the body is 1.11 W/kg*.

For body-worn operation, this mobile device has been tested and meets the RF exposure guidelines when used with an accessory containing no metal and positioning the handset a minimum of 5 mm from the body. Use of other accessories may not ensure compliance with RF exposure guidelines.

As SAR is measured utilizing the devices highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network.

※ The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.

Regulatory information

In some countries/regions including Europe*, there are restrictions on the use of 5GHz WLAN that may limit the use to indoors only.

Please check the local laws and regulations beforehand.

※ The following EU and EFTA member countries:

Belgium (BE), Bulgaria (BG), Czech Republic (CZ), Denmark (DK), Germany (DE), Estonia (EE), Ireland (IE), Greece (EL), Spain (ES), France (FR), Croatia (HR), Italy (IT), Cyprus (CY), Latvia (LV), Lithuania (LT), Luxembourg (LU), Hungary (HU), Malta (MT), Netherlands (NL), Austria (AT), Poland (PL), Portugal (PT), Romania (RO), Slovenia (SI), Slovakia (SK), Finland (FI), Sweden (SE) and United Kingdom (UK), Switzerland (CH), Liechtenstein (LI), Iceland (IS), Norway (NO).

Norway: Use of this radio equipment is not allowed in the geographical area within a radius of 20 km from the centre of Ny-Alesund, Svalbard.

Hereby, SHARP CORPORATION declares that the radio equipment type SH-01L is in compliance with Directive 2014/53/EU. The full text of the EU declaration of conformity is available at the following internet address:
<http://www.sharp.co.jp/k-tai/>

Manufacturer's Address:

SHARP CORPORATION,

1 Takumi-cho, Sakai-ku, Sakai-shi, Osaka 590-8522,
Japan

● Description of accessories

Headset, Handsfree	Φ3.5 audio jack, Bluetooth
USB cable	For charging, peripherals, etc.
microSD Card	microSD/microSDHC/microSDXC
nano UIM card	docomo nano UIM card/non-docomo nano UIM cards non-docomo nano UIM cards can be used after SIM-unlocking the handset.

● Frequency range of supported bands in EU

GSM 900	Tx 880.2 to 914.8 MHz Rx 925.2 to 959.8 MHz
DCS 1800	Tx 1710.2 to 1784.8 MHz Rx 1805.2 to 1879.8 MHz
WCDMA FDD I	Tx 1922.4 to 1977.6 MHz Rx 2112.4 to 2167.6 MHz
LTE Band 1	Tx 1922.5 to 1977.5 MHz Rx 2112.5 to 2167.5 MHz
LTE Band 3	Tx 1710.7 to 1784.3 MHz Rx 1805.7 to 1879.3 MHz
Bluetooth	Tx 2402 to 2480 MHz Rx 2402 to 2480 MHz
WLAN 2.4 GHz	Tx/Rx 2412 to 2472 MHz (BW: 20 MHz only)

WLAN 5 GHz	W52(U-NII 1): Tx/Rx 5180 to 5240 MHz (BW: 20 MHz) Tx/Rx 5190 to 5230 MHz (BW: 40 MHz) Tx/Rx 5210 MHz (BW: 80 MHz) W53(U-NII 2A): Tx/Rx 5260 to 5320 MHz (BW: 20 MHz) Tx/Rx 5270 to 5310 MHz (BW: 40 MHz) Tx/Rx 5290 MHz (BW: 80 MHz) W56(U-NII 2C): Tx/Rx 5500 to 5700 MHz (BW: 20 MHz) Tx/Rx 5510 to 5670 MHz (BW: 40 MHz) Tx/Rx 5530 to 5610 MHz (BW: 80 MHz)
NFC	Tx/Rx 13.56 MHz
GNSS	GPS: Rx L1 (1575.42 MHz) GLONASS: Rx G1 (1598.0625 to 1605.375 MHz) BeiDou: Rx B1 (1561.098 MHz)

● Maximum transmit power

GSM 900	+33 dBm (Power Class4)
DCS 1800	+30 dBm (Power Class1)
WCDMA FDD I	+24 dBm (Power Class3)
LTE Band 1	+23 dBm (Power Class3)
LTE Band 3	+23 dBm (Power Class3)
Bluetooth	+12.5 dBm (Power Class1)
WLAN 2.4 GHz	+13.0 dBm
WLAN 5 GHz	+13.0 dBm
NFC	0 dB μ A/m at 10 m

FCC Notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:
(1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Information to User

This equipment has been tested and found to comply with the limits of a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

1. Reorient/relocate the receiving antenna.
2. Increase the separation between the equipment and receiver.
3. Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
4. Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.

The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. The tests are performed in positions and locations (e.g., at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model. The highest SAR value for this model handset when tested for use at the ear is 1.11 W/kg and when worn on the body, as described in this user guide, is 0.52 W/kg.

For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines. Please use an accessory designated for this product or an accessory which contains no metal and which positions the handset a minimum of 1.0 cm from the body.

The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of <https://www.fcc.gov/oet/ea/fccid> on FCC ID APYHRO00265.

Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the FCC website at <https://www.fcc.gov/general/radio-frequency-safety-0>.

FCC ID Location

The device is electronically labeled and the FCC ID can be displayed via the System & the Authentication under the Settings menu.

CAUTION

Use only optional parts specified by NTT DOCOMO.

May cause fires, burns, bodily injury, electric shock, etc. if you use a device other than specified one.

Do not throw the handset into a fire or heat it.

May cause fires, burns, bodily injury, etc.

Do not dispose of the handset in ordinary garbage.

May cause fires, burns, bodily injury, etc. Also, may damage to the environment. Take the unnecessary handset to a sales outlet such as a docomo Shop or follow the instructions by a local institution that handles used handsets.



To prevent possible hearing damage, do not listen at high volume levels for long periods.

Earphone Signal Level

The maximum output voltage for the music player function, measured in accordance with EN 50332-2, is 110.0 mV.

Avoid using the handset in extremely high or low temperatures.

Use the handset within the range of a temperature between 5°C and 35°C and a humidity between 45% and 85%. Refer to the following for details on using it at a bathroom.
P.22 “SH-01Lが有する防水／防塵性能でできること”

Charge battery in areas where ambient temperature is between 5°C and 35°C.

Do not point the illuminated light directly at someone's eyes. Especially when you use it for young children, keep sufficient distance from them.

Do not use Mobile light near people's faces. Eyesight may be temporarily affected leading to accidents etc.

■ Bluetooth function

- The Bluetooth word mark and logos are owned by the Bluetooth SIG, INC. and any use of such marks by NTT DOCOMO, INC. is under license. Other trademarks and trade names are those of their respective owners.

Inquiries

General inquiries

<docomo Information Center>

(Business hours: 9:00 a.m. to 8:00 p.m.)

 0120-005-250 (toll free)

※ Service available in: English, Portuguese, Chinese, Spanish.

※ Unavailable from part of IP phones.

(Business hours: 9:00 a.m. to 8:00 p.m. (open all year round))

From DOCOMO mobile phones

(In Japanese only)

 (No prefix) 151 (toll free)

※ Unavailable from land-line phones, etc.

From land-line phones

(In Japanese only)

 0120-800-000 (toll free)

※ Unavailable from part of IP phones.

- Please confirm the phone number before you dial.

Repairs

(Business hours: 24 hours (open all year round))

From DOCOMO mobile phones

(In Japanese only)

 (No prefix) 113 (toll free)

※ Unavailable from land-line phones, etc.

From land-line phones

(In Japanese only)

 0120-800-000 (toll free)

※ Unavailable from part of IP phones.

- Please confirm the phone number before you dial.
- For Applications or Repairs and After-Sales Service, please contact the above-mentioned information center or check the docomo Shop etc. near you on the NTT DOCOMO website and contact.
NTT DOCOMO website:
<https://www.nttdocomo.co.jp/english/>

Inquiries from overseas (In case of loss, theft, unconnected, etc.)

(Business hours: 24 hours (open all year round))
From DOCOMO mobile phones

Display “+” on the screen	-81-3-6832-6600 (toll free)
---------------------------	--------------------------------

(to enter “+”, touch and hold “0”.)

※ You can call using international call access code instead of “+”.

From land-line phones

International call access code for the country you stay	-81-3-6832-6600 (charges apply)
--	------------------------------------

- ※ You are charged a call fee to Japan.
- ※ For international call access codes, refer to DOCOMO website.
- Please confirm the phone number before you dial.
 - If you lose your handset or have it stolen, immediately take the steps necessary for suspending the use of the handset.
 - If the handset you purchased is damaged, bring your handset to a repair counter specified by DOCOMO after returning to Japan.

輸出管理規制

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令)の適用を受けます。また米国再輸出規制(Export Administration Regulations)の適用を受けます。本製品及び付属品を輸出又は再輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省又は米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権について

著作権・肖像権について

- お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードやテレビ、ビデオなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。

実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますので、ご注意ください。また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでお控えください。

商標について

- 「FOMA」、「dメニュー」、「dマーケット」、「d払い」、「dヘルスケア」、「おサイフケータイ」、「my daiz」、「mopera U」、「ビジネスmopera」、「デコメ絵文字®」、「iD」、「WORLD WING」、「公共モード」、「WORLD CALL」、「おまかせロック」、「エリアメール」、「イマドコサーチ」、「イマドコかんたんサーチ」、「マチキャラ」、「i スケジュール」、「spモード」、「Xi」、「Xi／クロッシィ」、「あんしんスキャン」、「あんしん遠隔サポート」、「eトリセツ」、「dフォト」、「はなして翻訳」、「マイマガジン」、「LIVE UX」、「スグ電」、「オフィスリンク」、「iD」ロゴ、「おサイフケータイ」ロゴ、「エリアメール」ロゴ、「ドコモあんしんスキャン」ロゴ、「ドコモ留守電」ロゴ、「ドコモ電話帳」ロゴ、「dmenu」ロゴ、「あんしん遠隔サポート」ロゴ、「マイマガジン」ロゴ、「データ保管BOX」ロゴ、「はなして翻訳」ロゴ、「dマーケット」ロゴ、「d払い」ロゴ、「dフォト」ロゴ、「ドコモデータコピー」ロゴは(株)NTTドコモの商標または登録商標です。
- キャッチホンは日本電信電話株式会社の登録商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Media®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- OracleとJavalは、Oracle Corporation及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。
文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

- microSD ロゴ、microSDHC ロゴ、microSDXC ロゴはSD-3C, LLCの商標です。



- USB Type-C™はUSB Implementers Forumの商標です。
- この製品では、シャープ株式会社が液晶画面で見やすく、読みやすくなるよう設計したLCフォントが搭載されています。LCフォント／LCFONTおよび®は、シャープ株式会社の登録商標です。
- ㊞はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
- Bluetoothとそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INCの登録商標で、株式会社NTTドコモはライセンスを受けて使用しています。
その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。
- Wi-Fi®はWi-Fi Alliance®の登録商標です。
- Wi-Fi Direct™、Miracast™、Wi-Fi Protected Setup™およびWi-Fi Protected SetupロゴはWi-Fi Alliance®の商標です。
The Wi-Fi Protected Setup Mark is a mark of the Wi-Fi Alliance.
- FacebookおよびFacebookロゴはFacebook, Inc.の商標または登録商標です。
- Instagramは米国およびその他の国におけるInstagram, LLCの商標です。
- TwitterおよびTwitterロゴはTwitter, Inc.の商標または登録商標です。

- This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)
この製品には OpenSSL Toolkit における使用のために OpenSSL プロジェクトによって開発されたソフトウェアが含まれています。
- This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)
この製品には Eric Young によって作成された暗号化ソフトウェアが含まれています。
- 文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnを使用しています。
iWnn © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2018 All Rights Reserved.
iWnn IME © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2009-2018 All Rights Reserved.
- 本製品には株式会社モリサワの書体、新ゴ R、新ゴ Mを搭載しています。
「新ゴ」は、株式会社モリサワの登録商標です。
- Qualcomm aptX is a product of Qualcomm Technologies International, Ltd.
Qualcomm is a trademark of Qualcomm Incorporated, registered in the United States and other countries, used with permission. aptX is a trademark of Qualcomm Technologies International, Ltd., registered in the United States and other countries, used with permission.
- 本製品の音声合成ソフトウェアにはHOYAサービス株式会社のVoiceTextを使用しています。VoiceTextは、Voiceware社の登録商標です。

- 本製品で使用しているクラウド音声認識技術は、Nuance Communications, Inc.のVoCon® Hybridを使用しています。
- NuanceおよびVoCon® Hybridは米国および／またはその他の国におけるNuance Communications, Inc.またはその関連会社の登録商標です。
- Google、Google ロゴ、Android、Google Play、Google Play ロゴ、Gmail、Gmail ロゴ、Google カレンダー™、Google カレンダー ロゴ、Google マップ™、Google マップ ロゴ、Google Chrome™、Google Chrome ロゴ、Google 音声検索™、Google 音声検索 ロゴ、YouTube、YouTube ロゴ、Google ドライブ、Google ドライブ ロゴ、Google™ 検索、Google 検索 ロゴ、Google フォト™は、Google LLC の商標です。
- 「AQUOS／アクオス」、「AQUOS Home」、「AQUOSかんたんホーム」、「AQUOS便利機能」、「AQUOS Frosted Cover」、「Frost Sign」、「Bright Keep」、「ワンタッチシャッター」、「あとからキャプチャー」、「インテリジェントフレーミング」、「ロボクル／ROBOQUL」、「エモパー／emopa」、「エモパーメモ」、「エモパーヘルスケア」、「エモパーク／emopark」、「バーチャルHDR」、「エスショイン／S-Shoin」、「クリップナウ／Clip Now」、「ヒカリエモーション」、「ロックフォトシャッフル」、「長エネスイッチ」、「リラックスビュー／RelaxView」、「リラックスオート」、「はっきりビュー」、「からだメイト」、「AQUOS」ロゴ、「AQUOS sense2」ロゴはシャープ株式会社の商標または登録商標です。
- その他の社名および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

その他

- 本製品はMPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づき、下記に該当するお客様による個人的で且つ非営利目的に基づく使用がライセンス許諾されております。これ以外の使用については、ライセンス許諾されていません。
 - MPEG-4ビデオ規格準拠のビデオ(以下「MPEG-4ビデオ」と記載します)を符号化すること。
 - 個人的で且つ営利活動に従事していないお客様が符号化したMPEG-4ビデオを復号すること。
 - ライセンス許諾を受けているプロバイダから取得したMPEG-4ビデオを復号すること。その他の用途で使用する場合など詳細については、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- 本製品はMPEG-4 Systems Patent Portfolio Licenseに基づき、MPEG-4システム規格準拠の符号化についてライセンス許諾されています。ただし、下記に該当する場合は追加のライセンスの取得およびロイヤリティの支払いが必要となります。
 - タイトルベースで課金する物理媒体に符号化データを記録または複製すること。
 - 永久記録および／または使用のために、符号化データにタイトルベースで課金してエンドユーザに配信すること。追加のライセンスについては、米国法人MPEG LA, LLCより許諾を受けることができます。詳細については、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。

- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために(i)AVC規格準拠のビデオ(以下「AVCビデオ」と記載します)を符号化するライセンス、および／または(ii)AVCビデオ(個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および／またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限ります)を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされていません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。
<http://www.mpegla.com>をご参照ください。
- 本書では各OS(日本語版)を次のように略して表記しています。
 - Windows 10は、Microsoft® Windows® 10(Home、Pro、Enterprise、Education)の略です。
 - Windows 8.1は、Microsoft® Windows® 8.1、Microsoft® Windows® 8.1 Pro、Microsoft® Windows® 8.1 Enterpriseの略です。
 - Windows 7は、Microsoft® Windows® 7(Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate)の略です。

オープンソースソフトウェアについて

- 本製品には、GNU General Public License(GPL)、GNU Lesser General Public License(LGPL)、その他のライセンスに基づくソフトウェアが含まれています。
当該ソフトウェアのライセンスに関する詳細は、ホーム画面で「アプリフォルダ」を選ぶ▶[設定]▶[システム]▶[端末情報]▶[法的情報]▶[サードパーティ ライセンス]をご参照ください。
- GPL、LGPL、Mozilla Public License(MPL)に基づくソフトウェアのソースコードは、下記サイトで無償で開示しています。
詳細は下記サイトをご参照ください。
<http://k-tai.sharp.co.jp/support/developers/oss/>

SIMロック解除

- 本端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。
- ご利用になれるサービス、機能などが制限される場合があります。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除の手続きの詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

1 他社のSIMカードを取り付ける

- SIMカードの取り付け／取り外しについては(※P.30「ドコモnanoUIMカード」)

2 端末の電源を入れる

3 SIMロック解除コードを入力▶[ロック解除]

索引

■ 名前から探す

あ

アイコンの見かた	51
アカウントを追加	
Gmailの設定	104
メールの設定	101
明るさの自動調節	153
明るさのレベル	153
空き容量確認	80
アクセス ポイントとテザリング	149
アクセスポイント名	147
あとからキャプチャー	121
後で	209
あなたについて	135
アプリ一覧	64
アプリ情報	151
アプリ使用履歴	57
アプリ初回起動時の確認画面について	59
アプリと通知	151
アプリなどの移動	62
アプリに必要な許可	59
アプリのアンインストール	62
アプリの権限	60
アプリの購入	123
アプリの設定をリセット	176
アプリレベルの権限	168

アプリを探す	69
アラーム	
スケジュールの設定	133
時計	130
アラームの音量	155
アルバム	118
暗号化と認証情報	161
あんしん遠隔サポート	204
安全上のご注意(必ずお守りください)	6
位置情報	168
位置情報付加	118
一括シンプル切替	45
居場所を確認	79
今すぐ更新	209
色反転	172
色補正	172
印刷	150
インテリジェントフレーミング	117
ウィジェットなどの削除	62
ウィジェットを貼り付け	62
上方向スライド	47
英語ガイド	82
絵・記・顔の連続入力	46
絵文字・記号リスト列数	45
エモパー	135
エモパー選択	135
エモパー使い方ガイド	136
エモパーの音量	155
エモパーの記憶	136
エモパーの話題	135
エモパーへの話しかけ方	136
エモパーヘルスケア	136

エモパーメモ	136
エリアメールの許可	105
エリアメールの履歴	105
遠隔操作設定	82
遠隔操作(有料)	196
応答	83
応答拒否SMS	81
応答時間設定	80
応答メッセージ確認	80
大きなマウスポインタ	172
オート	115
オートGPS	170
オープンソースライセンス	
通話設定／その他	81
ドコモのサービス／クラウド	170
オープン ネットワークの通知	146
お気に入り登録	79
お困りのときは	177
おサイフケータイ	124
「おサイフケータイ対応サービス」の利用	125
おサイフケータイ対応端末のご利用にあたって	124
押し続ける時間	172
おすすめアプリ	170
おすすめアプリを利用	69
おすすめ機能の紹介	136
おすすめ使い方ヒント	170
音	155
お問い合わせ	193
オフィスリンク設定	81
主な仕様	210
音量キーのショートカット	172

か

カーネルバージョン	177
会員情報／プロフィール情報設定	170
海外故障	85
海外設定	81
海外でご利用になる前に	191
海外で電話を受ける	195
海外で利用可能なサービス	191
海外にいるWORLD WING利用者に電話をかける	195
海外紛失・盗難等	85
海外利用	191
海外利用設定	133
開始曜日	133
ガイド線	117
ガイドの表示速度	46
顔認証	164
顔文字リセット	47
学習辞書リセット	47
拡大	172
各部の名称と機能	27
画質設定	154
画質とデータ量	117
画質モード	153
仮想キーボード	173
カナ英数キー表示	45
壁紙	153
壁紙・きせかえ	62
カメラについて	109
カメラの設定	117
カメラをご利用になる前に	109

画面の固定	161
画面の自動回転	
ディスプレイ	153
ユーザー補助	172
画面表示／アイコン	51
画面ロック	161
画面ロック音	155
からだメイト	138
かんたんモード	156
キー操作音	46
キー操作バイブ	46
キー操作バイブ時間	46
キー入力ガイド表示	45
キーボードの見かた	43
帰国後の確認	197
起動画面	133
機内モード	145
機能紹介	174
機能利用中の操作	40
基本操作	38
基本動作について	135
キャスト	189
逆光	115
キャッチホン	81
強弱設定	155
共有メニューの表示	157
切替条件設定	152
緊急速報「エリアメール」	104
緊急速報「エリアメール」を受信する	105
緊急速報「エリアメール」を設定する	105
緊急通報	74
くっきり	115

国番号	196
クラウド設定	133
グループの利用	89
携帯電話機の比吸収率(SAR)について	213
結果画面閲覧	175
言語	
Chromeの設定	108
言語と入力	173
言語と入力	173
検索エンジン	108
公共モード(電源OFF)設定	82
高コントラストテキスト	172
公衆電話着信拒否	82
構図補正した静止画の表示	120
構内IP電話設定	146
国際ダイヤルアシスト	196
国際ダイヤルアシストを利用して電話をかける	194
国際電話(WORLD CALL)	75
国際プレフィックス	196
国際ローミング(WORLD WING)の概要	191
国際ローミングの設定	195
この端末をMIDIとして利用する	188
この端末を充電する	188

さ

サービス接続先	46
最大音量を使用する	106
サイトの設定	108
サイトの表示	106
撮影画面の見かた	111

サブアドレス設定	81	白とび／黒つぶれ表示	118
残像	115	信頼できるエージェント	161
時間設定	154	水準器	118
時刻設定	174	数字キー表示(QWERTYキーボード)	45
システム	173	スキャン	168
下方向スライド	47	スグ電設定	82
自動大文字変換	46	スクリーンショットの撮影	41
自動カーソル移動	46	スクリーン セーバー	153
自動画面点灯	158	スクロールオート	157
自動スペース入力	46	スケジュール	133
自動入力サービス	173	ステータスバーへの通知	157
自動入力とお支払い	108	ステータスパネルの利用	54
自動変換機能	196	ストップウォッチ	132
字幕	172	ストレージ	159
指紋	161	ストレージ構成	179
指紋認証	166	すべてのデータを消去(初期状態にリセット)	176
写真	115	スペルチェック	173
写真サイズ	117	スマホカバー設定	156
写真や動画	97	スリープ	153
写真を転送する(PTP)	188	スレッドの削除	104
充電	35	スレッドを削除する	96
充電開始時	154	請求期間	149
終話時	154	静止画の撮影	116
受信画面および着信音確認	106	静止画を含む動画の再生	120
省エネ&バッテリー	152	世界時計	131
消音・拒否	83	セキュリティ アップデート	161
詳細設定		セキュリティと現在地情報	161
長エネスイッチ	152	接写	115
表示・キーボード設定	45	接続済みの端末	150
証明書インストール	146	接続不良のとき無効にする	146
使用履歴にアクセスできるアプリ	161	切断	83
初期設定	50	設定項目を検索	177

設定メニュー	144
設定リセット	
各種リセット	47
静止画撮影／動画撮影の共通設定	118
セルフタイマー表示	118
セルフチェック	177
全件削除	157
センサー感度補正	177
全般設定	
Gmailの設定	104
メールの設定	101
操作	173
その他	97
ソフトウェアアップデートについて	207
ソフトキーボード表示	46

た

対向機にかざす際の注意事項	126
滞在国外(日本を含む)に電話をかける	194
滞在国内に電話をかける	194
対象アプリ設定	157
タイマー	132
タイムゾーンの自動設定	174
タイムゾーンの選択	174
タイムラプス	115
ダイヤルパッド操作音	81
ダイヤルパッドの操作音	155
ダウンロード辞書	46
ダウンロード辞書を追加	46
タッチ操作音	155

タッチパネルの操作	38
タップ操作時のパイプ	155
タップ&ペイ	127
単語リスト	173
誕生日データ更新	133
端末アプリ情報送信	170
端末管理アプリ	161
端末情報	177
端末内やサイトの情報の検索	42
端末の状態	177
端末を探す	161
知的財産権について	221
着信音	
音	155
通話設定／その他	81
着信音の音量	155
着信拒否設定	82
着信拒否番号として登録	79
着信時名前非表示	83
着信時もバイブレーションON	155
着信／充電ランプ	50
着信通知	82
着信バイブレーション	81
注意事項	136
長エネスイッチ	152
長エネスイッチの概要	152
ちらつき防止	118
通信事業者の設定	193
通知	
Chromeの設定	108
アプリと通知	151
＋メッセージの設定を変更する	97

通知不可能着信拒否	82	デフォルトの通知音	155
ツールバー	45	電源ボタンで通話を終了	172
通話音声・伝言メモ	80	電源を入れる／切る	37
通話音声メモリスト	80	伝言メモ設定	80
通話設定／その他	81	伝言メモリスト	80
通話中の操作	77	転送でんわサービス	81
通話モード設定	147	転送でんわサービス(有料)	197
通話履歴から削除	79	電卓	135
使い方ガイド	157	電池	152
使いこなしガイド	177	電池残量で切替	152
つながり予測	46	電池の最適化	60
ディスプレイ	153	電話	72
データ移行	140	電話着信中	154
データ使用量		電話着信パターン／カラー	154
データ使用量	148	電話帳	85
モバイル ネットワーク	147	電話帳画像バックアップ	175
データセーバー		電話帳名前データと連携	47
Chromeの設定	108	電話帳の確認／利用	87
データ使用量	148	電話帳の削除	88
データ取り込み	174	電話帳の登録	85
データの同期	171	電話帳のバックアップ／復元	91
データの表示／非表示	119	電話帳の編集	88
データの振り分け	119	電話を受ける	76
データ引継	174	電話をかける	72
データ保管BOXへのバックアップ・復元	143	動画サイズ	117
データローミング	192	動画の撮影	116
テーマカラー・背景	97	登録外着信拒否	82
テキスト読み上げの出力		特別なアプリアクセス	151
言語と入力	173	トグル入力	46
ユーザー補助	172	時計	130
デフォルト アプリ	151	ドコモnanoUIMカード	30
デフォルトのアラーム音	155	ドコモアプリ管理	170

ドコモアプリデータバックアップ	170
ドコモ位置情報	170
ドコモクラウド	170
ドコモ故障問合せ	85
ドコモサービス初期設定	170
ドコモ総合案内・受付	85
ドコモデータコピー	140
ドコモのサービス／クラウド	170
ドコモへのお問い合わせ	85
ドコモメール	92
トラブルシューティング(FAQ)	198
取り扱い上のご注意	16

な

なぞり動作設定	157
ナビゲーションバーを隠す	153
認証	173
ネット変換エンジン	46
ネットワークサービス	
国際ローミングの設定	195
通話設定／その他	81
ネットワークサービス(海外)	196
ネットワーク制限	149
ネットワークとインターネット	145
ネットワーク評価プロバイダ	146
のぞき見ブロック	
設定	155
のぞき見ブロック	155

は

バイブレーション	105
パスワード	108
パスワードを表示	161
パソコンとの接続	187
はっきりビュー	153
バックアップ	173
バックアップファイルの整理	175
発信	83
発信者番号通知	82
発信前に番号を編集	79
発信ランキング	83
発信履歴	79
発信履歴の利用	79
番号指定拒否	82
番号通知お願いサービス	82
番号通知お願いサービス(有料)	196
ヒカリエーション	154
非常用節電モード	42
左方向スライド	47
非通知着信拒否	82
日付設定	174
日付と時刻	
海外で利用するための設定	193
設定	174
日付と時刻の自動設定	174
ビデオ	115
ビデオコール	74
表示サイズ	
ディスプレイ	153

ユーザー補助	172
表示パターン	155
ビルド番号	177
ファイル操作	179
ファイルを転送する	188
フォーカス設定	118
フォルダ名の変更	62
フォルダを作成	62
フォントサイズ	172
ブックマーク	108
ブッシュ信号の入力	73
物理キーボード	173
プライバシー	
Chromeの設定	108
+メッセージの設定を変更する	97
プライバシーポリシー	101
+メッセージ	92
+メッセージの設定を変更する	97
フリック感度	46
プリントサービスによる印刷／保存	188
プレフィックス設定	81
プロキシ設定	145
ふんわり	115
ベースバンドバージョン	177
ヘルプ	118
変換キー表示(12キーボード)	45
変換辞書の更新	46
ポインタが停止したらクリック	172
ポインタの速度	173
防水／防塵性能	22
法的情報	177
ホームアプリの情報	71

ホーム画面一覧	62
ホーム画面の設定	62
ホーム画面のバックアップと復元	70
ホーム画面の見かた	61
ホーム切替	
設定	59
ホーム切替	59
ホーム設定	63
ホームページ	108
保証とアフターサービス	205
保存先設定	118
保留	78
本端末で利用する暗証番号	163
本端末のご利用について	5
翻訳・アプリ連携設定	106

ま

マイク設定	117
マイプロフィール	90
マイマガジン	70
マップ	129
マナーモードの詳細設定	155
マルチウィンドウ	58
右方向スライド	47
ミュート(保留)	83
迷惑電話ストップサービス	82
メール／ウェブブラウザ	92
メールのアカウントの設定	97
メールの削除	101
メールの設定	101

メールの送信	98
メールの表示	
Eメール	99
Gmail	102
メールの返信／転送	
Eメール	100
Gmail	103
メッセージ	97
メッセージ受信を再通知する	105
メッセージを削除する	96
メッセージを送信する	94
メッセージを転送する	96
メッセージを読む	96
メディアの音量	155
メモ	134
モード	168
目次	2
文字削除キー動作	46
文字入力	43
文字入力のしかた	47
文字入力の設定	45
文字フォント設定	153
持つと画面点灯	158
モデル	177
モノクロ	115
モノラル音声	172
モバイルデータ	
データ使用量	148
モバイルネットワーク	147
モバイルデータ使用	148
モバイル ネットワーク	147

や

やさしい日本語表示	106
ユーザー辞書	46
ユーザー補助	172
ユーザー補助機能	108
優先ネットワークタイプ	192
輸出管理規制	221
よくあるご質問	177
よくある質問(FAQ)	136

ら

リセット オプション	176
利用者情報の送信	83
リラックスオート	154
リラックスオートの概要	154
リラックス設定	154
リラックスビュー	154
履歴	108
留守番電話サービス	81
留守番電話サービス(有料)	196
ローマ字キーボード補助	46
ローミングガイドンス	195
ローミングガイドンス(有料)	196
ローミング時スグ電無効	83
ローミング時着信規制	195
ローミング着信通知	195
ローミング着信通知(有料)	196
ロックNo.変更	127
ロック解除時	154

ロック画面の設定	161
ロック画面・ホーム一括切替	59
□ボクル設定	159
□ボクルの詳しい情報はこちら	159
□ボクルの動作	159

わ

ワイルドカード予測	46
ワンタッチシャッター	117

英数字

ACアダプタで充電	36
AIオート	115
Androidセキュリティパッチレベル	177
Androidバージョン	177
Androidビーム	
NFC／おサイフケータイ 設定	127
NFC通信	185
AQUOS便利機能	156
Bluetooth機能	181
Bluetooth機能の利用	183
Bluetooth通信送受信	184
Bluetoothテザリング	149
Bright Keep	158
Chrome	106
Chromeについて	108
Chromeにログイン	108
Chromeの設定	108
Clip Now	157

COCORO MEMBERS設定	135
DCアダプタで充電	37
dアカウント設定	170
dマーケット	122
dメニュー	122
Eメール	97
Gmail	101
Gmailの設定	104
Google	172
Google Play プロテクト	161
Googleなどのアカウントの設定	170
GPS機能の利用	128
GPS／ナビ	128
GSM	192
HDR	117
iDアプリ	127
IPアドレス	146
MACアドレス	146
microSDカード	33
microSDカード／USBメモリのフォーマット	160
microSDカードの暗号化／暗号化解除	160
microSDカードへのバックアップ・復元	141
NFC／おサイフケータイ 設定	127
NFC／おサイフケータイ ロック	126
NFC通信	185
ON／OFF設定	
Clip Now	157
スクロールオート	157
PHOTOSHOW(Webページ)	118
PINロックの解除	169
Play ストア	122
QRコード・バーコード認識	117

Reader／Writer, P2P.....	127
SDカードにデータ保存.....	174
SIM PINの変更.....	169
SIMカードロック設定.....	169
SIMカードをロック.....	169
SIMロック解除.....	225
Smart Lock.....	161
USB.....	150
USBケーブルで充電.....	37
USBテザリング.....	149
USBデバッグ切替.....	170
USBホスト機能.....	188
VPNの接続.....	190
VPNの切断.....	190
VPNの追加.....	190
Wi-Fi.....	145
Wi-Fi Direct.....	146
Wi-Fi データ使用量.....	149
Wi-Fiテザリング.....	149
Wi-Fiテザリング簡単接続.....	149
Wi-Fiテザリングを設定.....	149
Wi-Fi、モバイル、Bluetooth をリセット.....	176
WORLD CALL.....	75
WORLD WING.....	191
WPS PIN入力.....	146
WPSプッシュボタン.....	146
YouTube.....	130
3G／GSM.....	192
4G／3G／GSM(自動).....	192
24時間表示.....	174

■ 目的から探す

基本操作

電源を入れる	37
画面ロックを解除する	38
マナーモードにする	55
ホーム画面の見かた	61
ホーム画面にショートカットやウィジェットを追加する	61
文字を入力する	43
ドコモnanoUIMカードを取り付ける／取り外す	30
microSDカードを取り付ける／取り外す	33
電池の消耗を抑える	152

電話

電話をかける	72
電話を受ける	76
相手の音声を大きくする	78
電話帳に登録する	85
電話帳に登録した相手に電話をかける	87
電話の履歴を確認する	79
留守番電話(伝言メモ)を設定する／聞く	80
着信音、通知音の種類や音量を設定する	155
着信を拒否する	82

メール

SMS(+メッセージ)を使う	92
Gmailを使う	101
ドコモメールを使う	92

緊急速報エリアメールを使う	104
---------------	-----

インターネット

ホームページを見る	106
ブックマーク(お気に入り)に登録する	108

Wi-Fi

自宅や公共のWi-Fiに接続する	146
Wi-Fiのみで利用する(モバイルネットワークのデータ通信を利用しない)	147

カメラ

写真を撮影する	116
動画を撮影する	116
撮影した写真／動画を見る	118
撮影した写真／動画をメールで送る	97
撮影した写真／動画の保存先を設定する	118
バーコード(QRコード)を読み取る	117

便利な機能

便利な機能が知りたい	156
Googleマップで目的地までの道のりを調べる	129
スケジュールに登録／確認する	133
おサイフケータイで買い物をする	124
おサイフケータイをロックする	126
歩数計を使う	138
エモパーを使う	135

スクリーンショットを撮影する	41
画面が暗くなるまでの時間を変更する	153
目覚まし(アラーム)をセットする	130
本体やmicroSDカードのデータを確認する	159
テザリングを設定する	149
ディスプレイの照明を明るくする	153

バックアップ

連絡先やメールのバックアップをする	140
データを引き継ぐ	174

故障

故障かな?と思ったら	198
お問い合わせ先	H4
端末を初期化する	176

その他

スペックを確認する	210
アプリをアンインストールする	62
USBケーブルを利用してパソコンからデータを送る	187

マナーもいっしょに携帯しましょう

本端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合

航空機内や病院では、各航空会社または各医療機関の指示に従ってください。使用を禁止されている場所では、電源を切ってください。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■ 運転中の場合

運転中に本端末を手で保持しての使用は罰則の対象となります。ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合を除きます。

■ 劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにするべき公共の場所で本端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■ レストランやホテルのロビーなどの静かな場所で本端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■ 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

■ カメラ付き端末を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

歩きながらのスマートフォンの使用はやめましょう

- スマートフォンや携帯電話の画面を見つめながらの歩行は大変危険です。視野が極端に狭くなり、自分自身だけでなく、周囲の方も巻き込む事故につながることもあります。
- スマートフォンを使用する際は、安全な場所で立ち止まって使用するようにしてください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、本端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

● マナーモード(☎ P.55「マナーモード」)

本端末から鳴る音を消します。

※ただし、カメラのシャッター音は消せません。

● 公共モード(電源OFF)(☎ P.81「ネットワークサービス」)

電話をかけてきた相手に、電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスを流し、自動的に電話を終了します。

● バイブ(☎ P.155「音」)

電話がかかってきたことを、振動で知らせます。

● 伝言メモ(☎ P.80「通話音声・伝言メモ」)

電話に出られない場合に、電話をかけてきた相手の方の用件を録音します。

※その他にも、留守番電話サービス(☎ P.81「ネットワークサービス」)、転送でんわサービス(☎ P.81「ネットワークサービス」)などのオプションサービスが利用できます。



モバイルリサイクル・ネットワーク
携帯電話やその周辺機器にのみ適用。

ご不要になった携帯電話などは、自社・他社製品を問わず回収をしていますので、お近くのドコモショップへお持ちください。

※回収対象：携帯電話、PHS、電池パック、充電器、卓上ホルダ(自社・他社製品を問わず回収)

オンラインでのご利用料金・ご利用データ量・ご契約内容の確認・各種手続きなど

本端末から dメニュー▶ My docomo(お客様サポート)
パソコンから My docomo(<https://www.nttdocomo.co.jp/mydocomo/>)

- システムメンテナンスやご契約内容などにより、ご利用になれない場合があります。
- 「My docomo」のご利用には、「ネットワーク暗証番号」や「dアカウントのID／パスワード」が必要です。

海外からのお問い合わせ先(紛失・盗難・つながらない場合など)

■ドコモの携帯電話からの場合

「+」を画面表示

-81-3-6832-6600(無料)

(「+」は「0」をロングタッチします。)

※「+」発信のかわりに国際電話アクセス番号でも発信できます。

■一般電話などからの場合

滞在国の国際電話アクセス番号

-81-3-6832-6600(有料)

※日本向け通話料がかかります。

※国際電話アクセス番号については、ドコモのホームページをご覧ください。

受付時間 24時間 (年中無休)

- 番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
- 紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。
- お客様が購入された端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

総合お問い合わせ先 <ドコモ インフォメーションセンター>

■ドコモの携帯電話からの場合

 (局番なしの) **151** (無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

 **0120-800-000**

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間 午前9:00～午後8:00 (年中無休)

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモのホームページにてお近くのドコモショップなどをご確認の上、お問い合わせください。

ドコモのホームページ <https://www.nttdocomo.co.jp/>

故障お問い合わせ・修理お申込み先

■ドコモの携帯電話からの場合

 (局番なしの) **113** (無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

 **0120-800-000**

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間 24時間 (年中無休)

販売元 株式会社NTTドコモ
製造元 シャープ株式会社



マナーもいっしょに携帯しましょう。
◎公共の場所で携帯電話をご利用の際は、
周囲の方への心くばりを忘れずに。



危険です、
歩きスマホ。



キケン!
水ぬれ充電



Li-ion00

18.10(1.1版)
18K YI243①